

令和3年度
(2021年度)

事業年報

通巻第50号

公益財団法人 静岡県予防医学協会
Shizuoka Health Service Association

はじめに

令和3年度の事業年報を発刊するに当たり、ごあいさつ申し上げます。

当協会は、「みんなの健康を守る」という理念のもと、永年にわたり予防医学事業として健診・検査、保健・栄養・運動指導、普及啓発活動を推進し、県民の公衆保健の向上に努めているところであります。

さて、令和3年度の事業については、新型コロナウイルスが蔓延する中で、受診者の皆様の安心・安全確保に万全を期し、県民が安全・安心に健診を受診できるように取り組んだ結果、全体としてはほぼ予定どおり行うことができました。

また、新型コロナワクチンの接種については、複数の事業所や市町からの依頼があり、ワクチン接種専用車両を2台整備し、医療スタッフを派遣することで、ワクチン接種率の向上に寄与し、さらに地域住民を対象としたワクチン接種を積極的に実施し、自治体の要請にも応えることができました。

これもひとえに、静岡県、静岡県医師会をはじめ、地区医師会、市町、教育委員会、各事業所、その他各関係団体のご指導ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

学校保健、地域・職域保健及び人間ドックを合わせた全体の受診者数については、コロナの影響を危惧しておりましたが、令和2年度に比べて微増いたしました。

そうした中でも、主要事業のひとつである人間ドックについては、基本ドックの受診者数が年々増加し、令和3年度には13,602人となり、前年度を495人上回りました。また、利用者アンケートの結果、満足度は92%となりました。

設備投資においては、解析付心音心電計や汎用画像診断装置など機器の更新を計画的に推進し、健診検査の一層の精度向上を図りました。

なお、啓蒙事業のうち、例年開催してきた学校保健セミナー及び産業保健セミナーについては、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止させていただきました。

コロナ禍の多難な時代となりましたが、今後も、東西に長い静岡県において、東部・中部・西部に跨る5か所の事業所を有する総合健診（検診）機関としての特徴を活かしながら、県民の皆様にご満足いただけるように健（検）診体制の充実と精度の向上に一層の努力をしてまいりますので、さらに一段のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

公益財団法人 静岡県予防医学協会
理事長 横田 通夫

■ 基本理念

みんなの健康を守る

■ 基本方針

1. 予防医学事業を積極的に推進し、地域医療に貢献します。
2. 安全安心で精度の高い医療サービスの提供を目指します。
3. 公益財団法人の自覚をもって、社会的な価値のある仕事を常に模索し、全職員が創意工夫を凝らして仕事に当たります。

幸せは健康から

「円満な家庭」これこそ人間生活の中で最高の幸せではないでしょうか。しかし、私達は、この幸福が家族一人一人の健康から成りたっていることを往々にして忘れがちです。

「病気になって始めて健康のありがたさを知る」というように、いったん病気になってしまうと、かつての元気な毎日の生活がいまさらながらうらやましく、健康のありがたさが痛感されます。

社会生活をいきいきと過ごすためにも年齢を問わず、積極的な健康づくりが必要です。そのためには定期的な健診を受けて、健康であることを確かめておくことが大切です。

病気によっては症状があらわれてくるまでに、相当な期間がかかるものがあります。

また、症状がはっきりあらわれてきたときには、病状が進んでしまつて、これを治すには長い期間と多額の経費がかかります。

しかし、これらは適切な検査をすることによって、早期にその兆候をとらえて発病を予防することができるのです。

幸せな家庭を、そしてみんなが楽しめる社会をつくりだすために、私達は、自らの手で健康づくりを行い、疾病予防と健康の保持増進のためにお役に立ちたいと願うものです。

個人情報保護方針

公益財団法人静岡県予防医学協会（以下、「当会」という）は、高度情報化社会の到来と共に個人情報の利用が拡大しているという現実を重視し、個人の人格尊重の理念の下に個人情報の適正な取り扱い、保護および管理に万全を期することを社会的責務と考え、個人情報に関するご本人様の基本的な権利利益を保護するために以下のとおり方針を定めます。

- (1) 当会は、利用目的の達成に必要な限度において、ご本人様の個人情報を取得しています。ご本人様の個人情報は別紙の利用目的に利用されます。
- (2) 利用目的の達成に必要な範囲を超えてご本人様の個人情報を利用する場合は、法令の定めに従って、あらかじめ、ご本人様に通知し、ご本人様の同意をいただきます。
- (3) 当会は、一部の検査業務等を外部の第三者に委託する場合があります。この際、信頼のおける委託先を選定するとともに、個人情報が適切に取り扱われるよう委託契約書を取り交わし、必要かつ適切な監督を行います。
- (4) 当会は、ご本人様の個人情報について、ご本人様から開示、訂正、利用停止、削除等のご依頼があった場合、法令の定めに従い遅滞なく応じます。（なお、情報公開には書類作成等で手数料をいただく場合があります。）
- (5) 当会で個人情報の取扱いに従事するすべての者は、個人情報保護に関する法令、国が定める指針その他の規範並びに当会の内部規程を遵守します。
- (6) 当会は、個人情報の漏えい、滅失又はき損に対する予防並びに是正対策を講じ、個人情報の安全性、正確性の確保を図ります。
- (7) 当会は、個人情報を適正に取り扱うため、個人情報保護管理者を置き、従業員の教育、訓練を実施するとともに、当会の個人情報保護マネジメントシステムを従業員および関係事業者等に周知させ、必要かつ適切な監督を行います。
- (8) 当会は、JISQ15001：2017に準拠した個人情報保護マネジメントシステムを策定し、実施し、維持します。また、個人情報保護マネジメントシステムは適宜見直し、継続的な改善を図ります。

制定年月日：2005年3月9日
最終改訂年月日：2022年4月1日
公益財団法人 静岡県予防医学協会
理事長 横田 通夫
代表者 加藤 吉隆

当会でのご本人様の個人情報の取扱いに関する苦情及び相談は下記にご連絡ください。

〒426-0053
藤枝市善左衛門 2-11-5
公益財団法人 静岡県予防医学協会
総務課
TEL：054-636-6461
FAX：054-636-6462
E-mail：syobo-kojinsodan@shsa.net

別紙

ご本人様の個人情報の利用目的

1. ご本人様への健康管理サービスの提供に必要な利用

- (1) 健康管理サービス（健康診断、保健指導、診療及び精密検査）
- (2) 委託元から受託して行なう健康管理サービスにおける委託元や皆様への結果の報告
- (3) 他の医療機関からの照会への回答
- (4) 各種検体検査の実施及び結果等の報告
- (5) 健康管理サービス、その他保健事業にかかる料金の請求
- (6) 健康診断の予約、受付、診察、結果報告にかかわる業務
- (7) 健康診断の結果、精密検査や再検査が必要となった場合の受診勧奨及び追跡調査

2. 他の事業者等への情報提供

- (1) 当社がご本人様に提供する健康管理サービスのうち、
 - ア. 他の病院、診療所、助産所、介護サービス事業者及び産業保健スタッフ等との連携
 - イ. 他の医療機関等からの照会への回答
 - ウ. ご本人様の健康管理サービスにあたり、外部の医師等の意見及び助言を求める場合
 - エ. 検体検査業務の委託その他の業務委託
 - オ. 健康診断委託元（市町村・事業所・健康保険組合・学校等）への結果報告
- (2) 医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体・保険会社等への相談又は届出等
- (3) 関係法令等に基づく行政機関及び司法機関等への提出等
- (4) 外部審査機関への情報提供

3. 当社での利用

当社の管理運営業務

- (1) 利用にあたっては、仮名化 又は 匿名化します。
 - ア. 健康診断業務の維持・改善の基礎資料
 - イ. 当社の内部において行われる従業者教育
- (2) 利用にあたっては、匿名化します。
 - ウ. 学会・研究会等への発表

4. 認定個人情報保護団体について

※当社の健康診断結果および業務サービスに関する問い合わせ先ではありません。

- ・認定個人情報保護団体の名称
一般財団法人日本情報経済社会推進協会
- ・苦情の解決の申出先
個人情報保護苦情相談室
- ・住所、電話番号
〒 106-0032 東京都港区六本木一丁目 9 番 9 号 六本木ファーストビル内
☎ 03-5860-7565 / 0120-700-779

目 次

はじめに		3. 人間ドック	
基本理念・基本方針		1) 人間ドック	91
個人情報保護方針		4. 母子保健	
		1) 先天性代謝異常症等検査	101
第一章 事業概要		第三章 健康啓発、会議、人事等	
令和3年度事業概要	1	1. 健康啓発	105
検査・健(検)診件数の年次推移	4	2. 全国団体等への参加 (会議、研修会、研究会等)	105
第二章 検査・健(検)診事業		3. 行事・会議	105
1. 学校保健		4. 人事	106
1) 学校腎臓病検診	7	5. 総合健診センター	106
2) 学校糖尿病検診	16	第四章 研究業績	
3) 学校心臓検診	17	付 録 協 会 案 内	
4) 学校貧血検査	38	1. (公財) 静岡県予防医学協会の沿革	107
5) 脊柱側彎症検診	48	2. (公財) 静岡県予防医学協会役員名簿	110
6) 学校寄生虫卵検査	51	3. (公財) 静岡県予防医学協会組織図	111
7) 小児生活習慣病予防健診	54	4. 協会の健(検)診・検査業務内容	112
2. 地域・職域保健		5. 協会案内図	113
1) 一般健康診断及び生活習慣病健診	61		
2) 特殊健康診断	66		
3) ストレスチェック	68		
4) 喀痰細胞診による肺がん検診	70		
5) 婦人科細胞診による子宮頸がん検診	71		
6) 血液型検査	73		
7) 細菌検査	74		
8) 寄生虫卵検査	75		
9) 住民健診	76		
10) 特定健診・特定保健指導	86		
11) ワクチン接種	90		

ま え が き

- 令和3年(2021年)4月1日から令和4年(2022年)3月31日までの当協会が実施した検査・健(検)診活動についてまとめたものである。
- 大分類を四章に分け、第一章事業概要、第二章検査・健(検)診事業、第三章健康啓発、会議、人事等、第四章研究業績とした。
- 第二章の検査・健(検)診事業は、学校保健、地域・職域保健、人間ドック、母子保健の四中分類に分けた。
- 学校保健の成績表は、原則として市町単位にまとめ掲載した。
- 職域保健の定期健康診断等は、労働基準監督署管内別とした。
- 表中の集計欄「東部、中部、西部」地区の範囲は、東部は富士市、富士宮市以東、中部は静岡市以西～川根本町、島田市、牧之原市以東、西部は掛川市、菊川市、御前崎市以西の市郡とした。
- 百分率(%)は、小数点以下第1位を求めたものは第2位を四捨五入し、第2位を求めたものは第3位を四捨五入した。

第一章 事業概要

令和3年度 事業概要

令和3年度 検査・健(検)診件数の年次推移

令和3年度事業概要

事業の実績

1 健診・検査事業

1) 学校保健

(ア) 尿検査

腎臓病・糖尿病の検診は、学校保健法によって小学生から高校生までの全学年を対象に実施することが義務づけられている。

令和3年度の受検者数は220,343人であった。腎臓病二次陽性者数は981人(0.45%)、糖尿病二次陽性者数は37人(0.02%)であった。

(イ) 心臓検診

心電図検査が義務付けられた小・中学校、高等学校の各1年生と、任意で実施の他学年について心電図、心電心音図検査を実施した。特別支援学校等を含めた令和3年度の総受診者数は67,503人、要精密検査は1,744人(2.6%)であった。

(ウ) 寄生虫卵検査

寄生虫卵検査は、蟯虫検査と糞便検査を行っている。

蟯虫検査は、ウスイ式セロファンテープを用い、二日にわたって採卵する二日法で実施している。平成28年度より学校保健法の指定がなくなり、受検者数は激減した。令和3年度の受検者はいなかった。

糞便検査は、幼稚園・保育園等を対象にセロファン厚層塗抹法を実施していた。平成28年度から検査依頼がなくなっている。現在でも輸入野菜や国内産野菜での化学肥料に頼らない栽培や無農薬栽培があるため、今後も十分な注意が必要である。

寄生虫感染症対策には、集団全体での駆除と感染予防に対する衛生教育が重要である。

(エ) 小児生活習慣病予防健診

小児生活習慣病予防健診は、主に小学校は4年生、中学校は1年生、高等学校は1年生を対象に実施している(学校によっては他の学年を実施)。令和3年度は小・中学校合わせて57校3,767人実施した。今年度は高校1年生については実施していない。

健診の実施に当たっては、地元医師会等の指導のもとに健診を実施し、疾病の早期発見に努めているが、統一的なフォローアップ体制が整備されておらず、主目的であるライフスタイルの改善には、個々の保護者を含めた健康教育が必要であり、各機関の指導のもとに改善に努力する必要がある。

(オ) その他

貧血検査、脊柱側彎症検査は小・中学校及び高等学校を対象として実施した。その他、聴力及び血圧測定についても昨年度同様実施した。

2) 成人保健

(ア) 定期健康診断

出張健診を主とし、定期健康診断のほか法規等に基づく特殊健診を各事業所と連絡を密にして実施した。

(イ) 大腸がん検査

大腸がん検査は、免疫学的便潜血反応(金コロイド比色法)による検査を行っている。

令和3年度の受診者数は69,973人(男性38,743人、女性31,230人)であった。そのうち、陽性者数は4,368人(6.20%)(男性2,598人、女性1,770人)であった。陽性者には受診を促すなど、例年同様に実施した。

(ウ) 骨粗鬆症検査

主として、DEXA法(X線検査)により実施した。

(エ) その他

循環器検査、眼底検査、消化器検査等について、昨年度同様、定期健康診断の一環として実施した。

また、労働安全衛生法の改正により、労働者50人以上いる事業所では、平成27年12月から毎年1回、ストレスチェック制度の実施が義務付けられた。令和3年度は252団体26,170人が受診した。

3) その他の検査

(ア) 腸内細菌検査

主に赤痢菌、サルモネラ菌、腸管出血性大腸菌（O157）を行い、依頼に応じてさらにノロウイルス検査（外部委託）を食品取扱業者、保育従事者などから受注している。現在では、環境・食品衛生の状況がよく、赤痢菌やチフス菌の保菌者が検出されることは非常に稀となっている。

(イ) 母子保健

先天性代謝異常症や内分泌の病気の中には、発症前に発見し治療を開始すれば、障害の予防または軽減を期待できる病気がある。このような病気に対して、出生後すぐに検査を行い、早期発見・治療することにより障害を防ぐことを目的としたスクリーニングが行われている。

新生児を対象に、先天性代謝異常症及び甲状腺機能低下症・先天性副腎過形成症の検査を県・政令市の委託を受け実施している。

現在、県下の新生児数は年間 23,000 人弱であり、対象疾患は 21 疾患である。

2 総合健診センター（ヘルスポート）

健診事業の一層の充実を図るため、総合健診センター（ヘルスポート）を平成 9 年度に藤枝市に開設し、平成 24 年 1 月には新棟がオープンし 10 年が経過した。人間ドック受診者数は年々増加し、令和 3 年度には 13,602 人となった。

今後も健診精度の向上を図り、疾病の早期発見・予防医学を目的として渉外・PR 等積極的に行い、利用者の増加に努める。

3 調査研究事業

業務遂行に伴う検査情報をまとめ、学校保健に関する統計調査、適正な検査がされているかの精度管理などを目的に調査研究を進めている。

- ・健診検査データの活用による調査研究と健康づくりのための情報提供
- ・学童尿及び学童心電図における統計調査
- ・がん検診におけるプロセス指標

4 機器等の整備

健診需要の増加、保有機材の陳腐化、さらに新たな健診項目の取り組みなどに対応するた

め、健診・検査機器等の導入・更新を図っている。令和 3 年度に購入した機器の一部を以下に示す。

- ・解析付心電計一式
- ・自動血圧計
- ・無散瞳デジタル眼底カメラ
- ・オージオメーター
- ・VDT 視力計

5 啓蒙事業

予防思想普及のため、協会ホームページによる情報発信に努めるとともに、印刷物を発行又は購入して関係機関や事業所等に配布した。

1) 講演会の開催

例年開催際している学校保健セミナー及び産業保健セミナーについては、新型コロナウイルス感染予防対策の一環として中止した。

2) 印刷物の発行等

- (ア) 広報紙「けんこう静岡」（年 4 回発行）
14,000 部
- (イ) 「令和元年度事業年報」（発行） 1,000 部
- (ウ) 「予防医学ジャーナル」（配布） 864 部

6 その他

1) 関係団体との連携

静岡県（健康福祉部）、県・市町教育委員会、県・郡市医師会、予防医学事業中央会、健康教育推進本部、全国労働衛生団体連合会等関係団体と密接な連携のもとに事業の推進に努めた。

2) 精度管理・研修

日本医師会等が行う外部精度管理調査事業※参加し、精度管理に努めた。

また、例年実施している講師を招いての内部研修会、外部研修会・研究会等へ参加はコロナ禍の状況により中止としたが、リモート参加可能な外部研修会・研究会については新規知識並びに技術習得のため参加し、職員の資質向上を図った。

(※予防医学事業中央会・全国労働衛生団体連合会・日本総合健診医学会・静岡県医師会精度管理委員会等が行う精度管理調査)

令和3年度 検査・健(検)診の受診(検)者数

(主たるもの)

区 分	検査・健(検)診名	受診(検)者数	摘 要
学 校 保 健	腎臓病検診	220,343	従来法: 0 新方式: 220,343
	糖尿病検診	220,343	従来法: 0 新方式: 220,343
	心臓検診	67,503	(A方式) 10,943 人 (B方式) 56,560 人
	貧血検査	29,553	
	脊柱側彎症検診	8,684	対象:小学校 2,287、中学校 6,320、高校 77
	寄生虫卵検査	0	(蟯虫検査) 0 人
	小児生活習慣病予防健診	3,763	
地 域・職 域 保 健	一般健康診断	195,435	
	特殊健康診断	45,782	
	貧血検査	132,355	
	がん検診	204,541	(胃) 27,647 人 (肺) 137,946 人 (子宮) 9,746 人 (大腸) 11,185 人 (乳房) 11,816 人 (前立腺) 6,201 人
	ストレスチェック	26,170	高ストレス者: 3,716 人
人 間 ド ッ ク		13,602	
母 子 保 健	先天性代謝異常検査	22,886	初回検査
	甲状腺機能低下症検査	22,886	〃
	副腎過形成症検査	22,886	初回検査
そ の 他	細菌検査	75,450	(腸内細菌) 38,617 人 (O-157) 36,833 人
	寄生虫卵検査	287	(寄生虫卵検査) 239 人 (蟯虫検査) 48 人
	ワクチン接種	89,833	コロナ、インフルエンザ、B型肝炎、感染症
合 計		1,402,302	

[参 考] 令和3年度に協会が実施した学校検診検査者数

対 象 校	県内在籍 人 員	検 診 検 査 項 目					
		腎臓病	糖尿病	貧血	心臓	寄 生 虫	
						寄生虫卵 (厚層塗抹法)	蟯虫卵 (セロテープ法)
幼	67,232	23,466	23,466	0	105	0	0
小	183,673	80,985	80,985	9,992	28,063	0	0
中	98,242	45,550	45,550	17,649	16,538	0	0
高	93,920	65,570	65,570	1,037	21,429	0	0
計	443,067	215,571	215,571	28,678	66,135	0	0

- ・ 県内在籍人数は、令和3年度静岡県学校名簿(静岡県教育委員会発行)より
- ・ 保育園児の受検者は幼稚園欄に含めて掲載
- ・ 特別支援学校及び施設は除く

検査・健(検)診件数の年次推移
 NUMBER OF CLASS IN VARIOUS ITEMS OF HEALTH EXAMINATION BY THE YEAR

種目 Item	寄生虫 Helminth egg		細菌学 Microbic logical exam		尿 Urine		貧血 Anemia	心電図 Electro- cardio- gram (心音含)	血圧測定 Sphygmo- mano- metry	眼底検査 Fundus- copy	細胞診 Cyto- screening	特殊検 Occu- pational dise- asem	便潜血 Occult Blood in Feces	定期健 康診断 Regular Health Exami- nation (胸、 腹、 胃、 腸、 その他)	ストレス 外傷 程度	人間ドク Complete medical checkup	脊柱側 彎症 Scolio- sis	先天性 代謝 異常症 Inborn errors of meta- bolism	先天性 甲状腺 機能 低下症 Cretin- ism	副腎 皮質 過形成 C.A.H	神経手 細胞腫 Neuro- blastma	ホルタ 心電 図 24hrs. Analy- sis of ECG	小児 生活 習慣病 Child life style related disease	フクチ ン接種 Vacin- ation	被爆 者 hiba- kusha Atomic bomb Victims						
	厚層 塗抹法 Thick smear technic (KATOS)	ロー テープ法 Scotch tape technic	腸内 細菌 Intes- tinal bacteria	食品 感染 細菌 Food infect- ion bacteria	糖 Diaba- tes	その他 others																									
昭和34	1959	102,216	82					880																							
35	1960	164,014	1,519	160	56	82	206	367	4,785																						
36	1961	233,158	6,090	1,566	275	29	243	5,146	2,411																						
37	1962	311,151	7,995	1,157	1,260	768	204	72	2,702																						
38	1963	367,288	23,351	2,157	1,308	684	652	19,024	6,342																						
39	1964	406,874	25,768	892	3,732	2,480	3,191	19	14,894																						
40	1965	505,170	47,841	1,626	22,371	18,632	2,306	375	33,941																						
41	1966	514,255	83,334	2,154	24,195	18,226	1,690	744	77,407																						
42	1967	555,723	103,911	2,004	39,749	18,250	1,674	3,815	98,016																						
43	1968	655,589	148,404	2,241	16,399	10,526	2,864	3,819	67,818																						
44	1969	643,413	218,767	2,414	33,043	16,649	8,796	4,671	35,061																						
45	1970	695,708	212,375	3,872	74,958	43,486	9,820	14,090	37,801																						
46	1971	616,389	215,860	5,968	120,337	61,836	29,165	22,399	27,984																						
47	1972	572,919	246,057	8,561	140,058	71,715	4,610	31,233	15,225																						
48	1973	505,767	246,795	9,618	263,647	104,346	7,030	37,217	21,204																						
49	1974	295,030	309,283	11,498	854,921	192,113	4,767	53,834	23,492																						
50	1975	230,777	337,893	27,668	712,992	216,444	4,258	54,324	15,831																						
51	1976	179,365	353,472	13,658	786,683	236,161	2,299	52,809	16,199																						
52	1977	120,310	421,757	15,194	103	732,423	222,380	1,224	65,060																						
53	1978	116,610	443,512	18,768	120	817,262	244,824	2,235	66,097																						
54	1979	98,538	456,504	18,813	128	427,110	251,714	19,279	71,085																						
55	1980	86,166	445,019	18,364	91	412,751	261,173	1,118	85,493																						
56	1981	85,762	422,303	19,567	137	408,183	271,245	1,365	97,302																						
57	1982	69,038	416,266	23,950	97	413,882	278,329	1,040	97,256																						
58	1983	60,427	422,801	24,695	141	397,277	279,508	3,061	104,281																						
59	1984	38,768	395,853	126,181	77	396,308	364,108	2,563	106,941																						
60	1985	49,760	368,653	215,414	89	393,823	367,107	5,090	107,028																						
61	1986	31,709	334,172	211,851	67	394,526	380,159	9,706	108,154																						
62	1987	34,073	322,987	203,734	82	380,096	368,257	6,490	115,590																						
63	1988	36,058	312,088	201,600	74	384,619	379,882	36,058	116,832																						
平成元	1989	30,807	346,113	172,332	70	441,898	439,416	8,374	126,907																						
2	1990	16,445	340,093	154,491	73	452,328	451,461	9,406	127,924																						
3	1991	20,549	329,945	132,709	89	440,543	440,543	7,130	133,450																						
4	1992	13,731	324,382	109,059	88	447,859	434,383	9,489	130,733																						
5	1993	10,537	306,893	104,471	132	448,817	438,046	7,029	124,179																						
6	1994	12,081	286,558	103,670	144	446,790	439,616	10,958	128,122																						
7	1995	7,699	287,924	103,413	198	437,959	427,445	12,674	126,651																						
8	1996	6,471	244,681	118,779	137	432,523	439,311	12,753	127,874																						
9	1997	6,472	232,458	108,841	200	417,357	417,357	10,451	128,700																						
10	1998	5,698	231,479	99,401	152	417,357	417,357	9,500	126,943																						
11	1999	5,337	225,361	93,097	138	407,924	407,924	13,312	125,054																						
12	2000	6,050	221,691	84,926	165	410,340	410,340	16,272	115,853																						
13	2001	5,491	208,154	89,276	123	410,589	410,589	20,395	146,663																						

検査・健(検)診件数の年次推移

NUMBER OF CLASS IN VARIOUS ITEMS OF HEALTH EXAMINATION BY THE YEAR

項目 Item	年度 Year	寄生虫 Helminth egg		細菌 Microbic logical exam		尿 Urine		貧血 Anemia	血清学 (血液型) ABO Rh, HB TOXO	臨床化学 Bio-chemic 成人病 Adult diseases 肝 Hepatic function etc.	心電図 Electro cardio- gram (心音)	血圧 測定 Sphy- gmo- mano- metry	眼底 検査 Fundu- scopy	細胞診 Cytolo- screen- ing	特殊診 断 Occul- tional dis- eas- e asem	便潜血 反応 Occult Blood in Feces	定期健 康診断 Regular Health Exam- ination (胸部 胃 その他)	スリット 光度	人間ドック Complete medical checkup	脊柱 彎曲症 Scolio- sis	先天性 代謝 異常症 Inborn errors of me- tabolism	先天性 甲状腺 機能 低下症 Cretin- ism	副腎 皮質 過形成 CAH	神経腫 細胞腫 Neuro- blastma	ホルター 心電図 24hrs. Analy- sis of ECG	小児 生活 習慣病 Child life style related disease	ワクチ ン接種 Vaccina- tion	被爆者 hiba- kuha Atomic bomb Victims	
		厚層 塗抹法 Thick smear technic (Kato's)	サ ー フ ー 法 Scotch tape technic	腸内 細菌 Intes- tinal bacteria	食品 食品 Food intec- tion	蛋白 腎 Kidney diseases	糖 Diaba- tes																						その他 others
平成14	2002	4,572	205,638	103,266	157	404,720	404,720	16,703	126,879	15,513	594,534	125,033	79,806	5,298	6,444	15,174	30,823	79,764	4,425	7,639	36,172	37,067	36,933	32,442	0	18,522			
15	2003	5,679	204,716	93,561	336	410,212	410,212	17,355	120,110	16,703	587,491	124,547	85,336	8,553	5,479	17,561	31,590	82,759	4,946	7,389	36,511	36,753	36,578	29,965	0	16,914			
16	2004	2,218	171,656	78,774	341	438,125	438,125	41,899	123,149	24,496	550,041	130,102	97,805	8,551	5,017	20,976	31,646	91,667	5,509	7,511	35,593	35,775	35,732	2,607	0	17,010			
17	2005	1,725	157,916	71,943	351	422,183	422,183	59,926	122,725	26,255	625,287	131,319	99,077	9,322	4,567	23,192	31,892	94,953	6,160	9,785	33,940	33,940	33,940	471	0	16,548			
18	2006	1,732	127,474	85,742	97	377,561	412,782	5,632	124,575	26,828	667,698	131,729	101,061	8,741	5,281	23,502	31,727	100,828	6,584	8,444	34,784	34,784	34,784	677	0	14,103			
19	2007	1,071	128,257	84,936	96	408,068	407,985	5,988	127,897	26,882	695,173	134,882	105,774	8,147	4,682	25,401	30,295	101,308	6,969	10,001	35,501	35,501	35,501	674	0	12,966			
20	2008	985	127,826	86,091	86	482,357	418,618	6,264	126,208	33,601	750,422	136,360	103,597	8,118	7,276	25,918	36,242	105,402	7,718	9,843	34,818	34,818	34,818	1,804	0	10,152			
21	2009	942	143,430	80,049	79	425,859	360,175	5,820	129,395	42,710	768,824	140,839	108,123	5,945	8,071	25,946	35,801	111,569	8,149	10,001	34,033	34,033	34,033	2,014	0	9,772			
22	2010	884	141,644	78,518	74	379,839	379,746	5,866	145,701	43,939	992,734	151,683	125,581	6,257	14,640	26,478	53,460	175,563	8,520	9,937	33,897	33,897	33,897	1,577	0	10,232			
23	2011	808	138,822	76,256	101	386,452	366,378	5,644	135,323	35,185	794,135	140,840	127,121	5,877	13,120	26,058	43,881	126,690	8,784	9,822	33,514	33,514	33,514	1,409	0	9,175			
24	2012	767	118,179	76,129	58	387,825	387,794	6,102	146,622	43,653	789,431	153,905	141,991	6,353	12,108	28,999	51,055	123,994	9,285	9,675	32,425	32,425	32,425	1,487	0	8,778			
25	2013	938	116,273	75,010	53	389,098	389,071	7,935	144,977	34,276	855,731	153,152	145,993	5,109	12,650	25,049	52,869	119,045	9,878	9,650	32,018	32,018	32,018	1,431	0	8,558			
26	2014	469	108,002	76,043	26	389,199	389,130	7,531	149,326	34,689	921,913	156,516	150,150	4,992	12,492	27,405	59,910	148,521	10,989	9,476	30,197	30,197	30,197	1,001	0	8,539			
27	2015	459	105,634	73,134	22	417,919	415,764	9,988	171,869	41,210	1,379,302	177,250	174,885	18,329	15,104	30,463	77,663	160,984	11,669	9,149	28,951	28,951	28,951	0	0	8,458			
28	2016	230	32,450	72,780	18	413,438	411,160	10,691	168,786	60,069	1,425,633	177,291	176,881	19,080	18,425	36,598	78,538	163,974	11,669	9,149	28,951	28,951	28,951	0	0	8,253			
29	2017	215	5,743	71,805	17	423,344	420,975	11,963	176,535	60,031	1,524,818	185,866	184,532	19,861	17,669	34,216	79,746	165,366	12,215	9,072	27,622	27,622	27,622	0	0	6,796			
30	2018	243	203	72,548	19	423,631	421,372	11,414	217,051	62,650	1,652,211	197,942	192,184	21,412	18,666	38,971	81,636	171,125	12,617	8,389	26,450	26,450	26,450	0	0	4,549			
令和元	2019	248	201	74,630	15	423,596	421,074	11,640	220,487	62,175	1,719,084	204,847	194,523	22,235	18,505	41,598	85,439	174,132	12,938	8,688	24,894	24,894	24,894	0	0	4,052			
2	2020	237	49	71,518	15	403,770	402,794	11,480	209,594	62,775	1,682,723	199,265	185,761	22,871	16,955	43,676	83,668	165,478	13,107	8,108	23,710	23,710	23,710	0	0	4,052			
3	2021	246	70	75,498	20	398,817	398,637	10,433	207,637	62,572	1,703,983	198,557	185,550	23,246	15,745	45,782	84,475	165,583	13,602	8,684	22,886	22,886	22,886	0	0	3,763	89,833		

第二章 検査・健(検)診事業

1. 学 校 保 健
2. 地 域・職 域 保 健
3. 人 間 ド ッ ク
4. 母 子 保 健

第二章 検査・健(検)診事業

1. 学 校 保 健

- 1) 学校腎臓病検診
- 2) 学校糖尿病検診
- 3) 学校心臓検診
- 4) 学校貧血検査
- 5) 脊柱側彎症検診
- 6) 学校寄生虫卵検査
- 7) 小児生活習慣病予防健診

1) 学校腎臓病検診

図1 腎臓病・糖尿病検診のフローチャート(従来法)・・・8
表1 尿検査の方式と判定基準(従来法)・・・8
表2 年度別における受検者数と腎臓病検診の陽性率・・・9
図2 学校腎臓病・糖尿病検診のフローチャート(新方式)・・・9
表3 腎臓病・糖尿病検診成績学校別集計表(新方式)・・・10
表4 腎臓病・糖尿病検診成績学年別集計表(新方式)・・・11
表5 腎臓病・糖尿病検診成績学校別実施数(従来法+新方式)・・・12
表6 腎臓病・糖尿病検診成績表(新方式)・・・13

2) 学校糖尿病検診

3) 学校心臓検診

図1 学校生活管理指導表(小学生用)・・・18
図2 学校生活管理指導表(中学・高校生用)・・・19
表1 年度別学校数と受診者数・・・20
表2 有所見者心疾患別内訳・・・20
表3 心電図異常団体別件数・・・21
表4 精密検査受診結果管理別内訳・・・21
表5 静岡県内1年生在籍数と当協会で実施した心臓検診受診者数・・・21
図3 心臓検診のシステム・・・21
表6 先天性心疾患の所見別内訳・・・22
表7 後天性心疾患の所見別内訳・・・22
表8 心筋症・川崎病既往の内訳・・・22
表9 調査票等の内訳・・・22
表10 心音図異常の所見別内訳・・・23
表11 心電図異常の所見別内訳・・・23
表12 心臓検診成績全体集計表・・・24
表13 心臓検診成績方式別集計表・・・26

4) 学校貧血検査

表1 貧血(血液)検査成績判定基準・・・39
表2 貧血検査受検者数の年次推移・・・39
表3・4 貧血要受診者年次推移(男子・女子)・・・40
表5 事後処置調査表による小・中・高校別回答率・・・40
表6・7 事後処置調査表による回答(男子・女子)・・・40

表8・9 貧血検査成績年齢別平均値及び2SDの範囲(男性・女性)・・・41

図1・2 貧血要受診者率の年次推移(男子・女子)・・・42
図3・4 年齢・性別平均値及び2SDの範囲・・・42
表10 貧血検査成績学校別集計表・・・43
表11 貧血検査成績学年別集計表・・・44
表12 貧血検査成績表・・・44

5) 脊柱側彎症検診

表1 過去20年間の推移・・・49
図1 小学校の受診者数及び有所見者率の推移・・・49
図2 中学校の受診者数及び有所見者率の推移・・・49
表2 脊柱側彎症検診成績表・・・50

6) 学校寄生虫卵検査

表1 寄生虫卵検査成績学校別集計表・・・51
表2 蟻虫卵検査年次推移・・・52
表3 寄生虫卵検査年次推移・・・53

7) 小児生活習慣病予防健診

表1 項目別判定基準・・・55
表2 5段階判定・評価内容・・・55
表3 総合判定と指導区分・・・55
図1 判定別集計・・・56
図2 所見別集計・・・56
図3 学校数および受診者数の年次推移・・・56
表4～7 小児生活習慣病予防健診実施数の推移・・・56
表8～11 小児生活習慣病予防健診結果・・・58

1) 学校腎臓病検診

〔はじめに〕

昭和48年に学校保健法の施行規則が改正され、児童生徒の健康診断の中に尿検査が導入された。さらに、昭和53年からは規則が再改正され、検尿が毎年実施されるようになった。学校検尿は特に無症状時期の児童生徒の慢性腎炎を早期に発見し、治療を開始することで腎不全への進行を防ぐことを目的としている。

小児期にみられる腎疾患には、以下のようなものがある。

- ・急性腎炎：顔のむくみ・まぶたの腫れ・蛋白尿・血尿・高血圧などの症状が起こることで気づく。
- ・慢性腎炎：血尿や蛋白尿が1年以上続く。はっきりした症状が出ていない状況で、尿検査でたまたま見つかることが多く、学校検尿で発見される慢性腎疾患のほとんどがIgA腎症である。
- ・ネフローゼ症候群：血液中のたんぱく質が糸球体の血管壁から大量にもれるため、血中のたんぱく質濃度が低下し、コレステロール値が上昇する。
- ・尿路感染症：尿道や膀胱から大腸菌・緑膿菌などが腎臓の腎盂に進入して炎症を起こす。学童期の腎尿路疾患で最も多い。

〔検査法〕

採尿は早朝第一尿の中間尿をお願いしている。早朝第一尿の採取は、健康な人でも排出される体位性・運動性による蛋白尿を除外するため、中間尿は尿道に繁殖した細菌を除外するためである。

検査項目は蛋白と潜血であり、試験紙法にて判定している。

〔判定〕 新方式

一次・二次検査の判定基準

蛋白は (+) 30mg/dl 以上

潜血は (+) 0.06mg/dl 以上

〔判定〕 従来法

一次検査の判定基準

蛋白は (+) 30mg/dl 以上

潜血は (+) 0.06mg/dl 以上

を陽性として二次検査の対象となる。

二次検査の判定基準

蛋白は (±) 15mg/dl 以上

潜血は (±) 0.03mg/dl 以上

を「所見あり」として尿沈渣を実施している。

試験紙と尿沈渣の結果により、「異常なし」「経過観察」「要受診」と判定している。(図1、表1参照)

平成25年に「静岡県 医師会学校保健対策委員会 学校腎臓病検診結果検討小委員会」において、「学校検尿指針」が全面改訂され、学校腎臓病検診システムが確立された。(図2参照)

令和3年度では全ての学校で新方式を採用した。

〔結果〕

令和3年度の腎臓病検診一次検査受検者数は、220,343人であった。

全体の一次陽性率は3.05% (昨年度3.29%) 学校別の一次陽性率は、幼稚園0.64%、小学校1.10%、中学校5.30%、高等学校4.74%であった。また、全体の二次陽性率は0.45% (昨年度0.47%)

一次陽性率、二次陽性率は昨年度と比較して大きな変動はみられなかった。

〔まとめ〕

小児期の腎臓病の約半数は慢性に経過する腎臓病であり、生活指導法や治療法の進歩により早期からの適切な生活管理と治療を行うことで、その一部は治癒し、悪化を防ぐことができるようになってきた。大規模かつ定期的に行われている学校検尿制度は、児童生徒の腎臓病を早期発見するための重要な役割を果たしてきたといえる。学校検尿を侮らず、正しい方法で採尿を行い、「要受診」といわれたら医療機関でしっかり診ていただきたい。

(米山 実香)

図1 学童腎臓病・糖尿病検診のフローチャート(従来法)

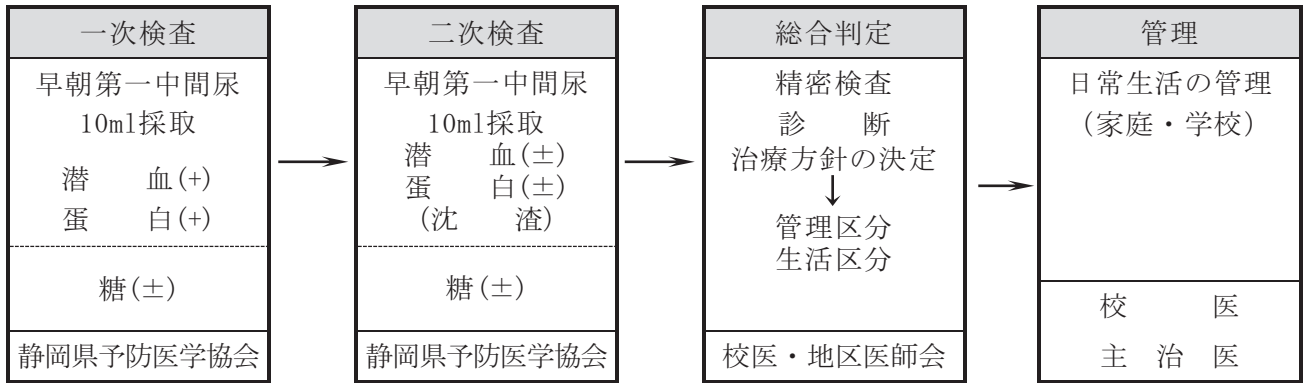


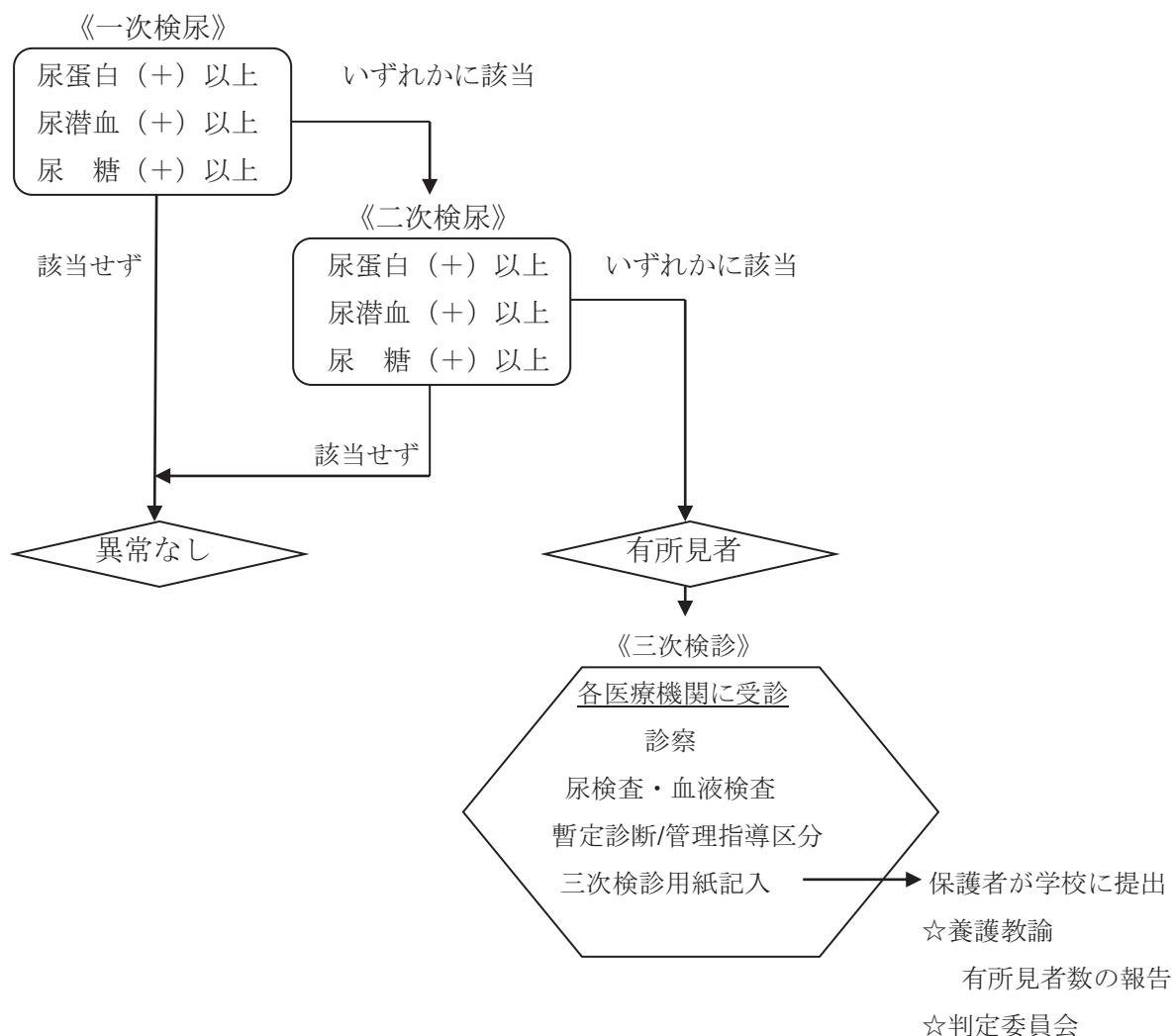
表1 尿検査の方式と判定基準(従来法)

項 目		一次検査	二次検査 (一次検査の7~10日後)		
		全員を対象	一次検査 陽性者を対象	判 定 基 準	
				経過観察	要 受 診
腎 臓 病 検 診	潜血	早朝第一尿 試験紙法 (+)以上を 二次検査へ	早朝第一尿 潜血・蛋白の どちらかが 試験紙法(±)以上 の場合を 沈渣鏡検する	経過観察 要受診基準を 満たさないもの	①試験紙法(±)~(+)で、 沈渣に以下の所見が見られる場合 赤血球 5個/各視野 以上 白血球 5個/各視野 以上 小円形上皮細胞 1個/数視野 以上 卵円形脂肪体 1個/全視野 以上 硝子円柱 5個/全視野 以上 その他の円柱 1個/全視野 以上 異常結晶 (+) (DHA・ロイシン・チロシン・シスチン コレステロール・ヒパルビン等) *但し異型細胞(+)は 要精密検査と判定する ②沈渣の所見がなくても、 試験紙法(2+)以上の場合
	蛋白	早朝第一尿 試験紙法 (+)以上を 二次検査へ			

表2 年度別における受検者数と腎臓病検診の陽性率

年度	新方式				従来法				
	一次検査		二次検査		一次検査		二次検査		
	受検者数	陽性率	受検者数	陽性率	受検者数	陽性率	受検者数	陽性率	要受診率
平成26	201,597	1.75	3,509	0.22	47,649	2.52	1,143	0.41	0.35
27	202,727	2.07	4,176	0.31	48,031	2.67	1,219	0.44	0.35
28	202,330	2.64	5,259	0.40	40,765	4.31	1,702	0.68	0.41
29	200,676	2.91	5,724	0.46	40,801	4.74	1,881	0.96	0.55
30	197,996	2.62	5,035	0.40	40,781	5.02	1,981	0.75	0.42
令和元	198,947	3.05	5,953	0.48	35,311	4.93	1,690	0.92	0.58
2	226,214	3.29	7,294	0.47	703	3.98	28	1.14	0.57
3	220,343	3.05	6,621	0.45	0	0	0	0	0

図2 学校腎臓病・糖尿病検診のフローチャート（新方式）



緊急受診システム

対象：尿蛋白（4+）以上または尿糖（3+）以上（すでに医療機関で管理中の児は除く）

- 緊急報告は、協会より迅速に各市町教育委員会と各学校に連絡する。
- 緊急受診用紙と一緒に三次検診セット渡す。各学校は対象児が既に管理中かどうかを把握した後、初めての場合は学校から保護者に至急連絡し、可及的速やかに医療機関への受診を勧める。

表 3 腎臓病・糖尿病検診成績集計表（新方式）

区分 団体名	一 次 検 査										二 次 検 査												
	受検者数					陽性者数 (%)					受検者数					陽性者数 (%)							
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
幼 保 園	潜血			35	(0.29)	78	(0.68)																
	蛋白			14	(0.12)	22	(0.19)																
	潜・糖	11,938	11,528	23,466	7	(0.06)	2	(0.02)															
小 学 校	潜血			73	(0.18)	405	(1.03)																
	蛋白			128	(0.31)	257	(0.65)																
	潜・糖	41,567	39,418	80,985	6	(0.01)	25	(0.06)															
中 学 校	潜血			85	(0.37)	1,224	(5.44)																
	蛋白			645	(2.80)	377	(1.67)																
	潜・糖	23,038	22,512	45,550	17	(0.07)	68	(0.30)															
高 等 学 校	潜血			136	(0.40)	1,455	(4.57)																
	蛋白			948	(2.81)	435	(1.36)																
	潜・糖	33,699	31,871	65,570	33	(0.10)	98	(0.31)															
大 専 門 学 校	潜血			1	(4.76)	2	(1.82)																
	蛋白			1	(4.76)	2	(1.82)																
	潜・糖	21	110	131																			
特 別 支 援 学 校	潜血			21	(0.76)	42	(3.10)																
	蛋白			56	(2.01)	11	(0.81)																
	潜・糖	2,781	1,357	4,138	3	(0.11)	4	(0.29)															
施 設	潜血			3	(0.47)	9	(0.66)																
	蛋白			3	(0.11)	2	(0.15)																
	潜・糖			2	(0.62)	6	(3.30)																
合 計	潜血			352	(0.31)	3,212	(3.00)																
	蛋白			1,794	(1.58)	1,105	(1.03)																
	潜・糖	113,365	106,978	220,343	59	(0.05)	198	(0.19)															
合 計	潜血			14	(0.01)	10	(0.01)																
	蛋白			14	(0.01)	10	(0.01)																
	潜・糖	113,365	106,978	220,343	102	(0.09)	98	(0.09)															

※糖尿病検診の陽性者＝「糖」＋「腎・糖」の陽性者

※下段は構成比です。

表 4 腎臓病・糖尿病検診成績学年別集計表（新方式）

学年	一 次 検 査																二 次 検 査															
	受検者数				陽性者数 (%)				潜血				蛋白				潜・蛋				糖				腎・糖							
	受検者数		陽性者数 (%)		潜血		蛋白		潜・蛋		糖		腎・糖		受検者数		陽性者数 (%)		潜血		蛋白		潜・蛋		糖		腎・糖					
	男	女	計	男	女	計	男	女	男	女	計	男	女	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
小																																
1年	6,574	6,094	12,668	19	53	72	34	7	41	14	2	16	1	3	4	17	48	65	5	15	20	4	11	15	1	3	4					
				(0.29)	(0.87)	(0.57)	(0.17)	(0.11)	(0.23)	(0.03)	(0.03)	(0.05)	(0.02)	(0.05)	(0.07)	(0.08)	(0.25)	(0.16)	(0.08)	(0.25)	(0.16)	(0.06)	(0.18)	(0.02)	(0.02)	(0.05)	(0.02)					
2年	6,802	6,478	13,280	22	49	71	25	7	32	18	3	21	3	3	6	18	48	66	5	13	18	4	9	13	2	1	3	1				
				(0.32)	(0.76)	(0.53)	(0.16)	(0.10)	(0.20)	(0.01)	(0.05)	(0.05)	(0.04)	(0.05)	(0.09)	(0.07)	(0.20)	(0.14)	(0.07)	(0.20)	(0.14)	(0.06)	(0.14)	(0.03)	(0.01)	(0.02)	(0.02)					
3年	7,031	6,488	13,519	28	67	95	33	11	44	33	3	36	3	1	4	26	64	90	7	15	22	4	12	16	2	3	5					
				(0.40)	(1.03)	(0.70)	(0.20)	(0.16)	(0.18)	(0.01)	(0.01)	(0.02)	(0.04)	(0.02)	(0.06)	(0.10)	(0.23)	(0.16)	(0.10)	(0.23)	(0.16)	(0.06)	(0.18)	(0.03)	(0.01)	(0.01)	(0.02)					
4年	6,901	6,781	13,682	33	80	113	28	19	47	45	3	48	2	4	6	32	77	109	9	18	27	4	10	14	5	2	7	1				
				(0.48)	(1.18)	(0.83)	(0.16)	(0.11)	(0.13)	(0.01)	(0.04)	(0.04)	(0.03)	(0.06)	(0.09)	(0.13)	(0.27)	(0.20)	(0.13)	(0.27)	(0.20)	(0.06)	(0.15)	(0.07)	(0.03)	(0.01)	(0.04)					
5年	7,111	6,759	13,870	38	167	205	80	23	103	75	5	80	4	7	11	34	159	193	6	29	35	1	13	14	4	15	19	1				
				(0.53)	(2.47)	(1.48)	(0.14)	(0.11)	(0.12)	(0.11)	(0.07)	(0.08)	(0.06)	(0.10)	(0.13)	(0.08)	(0.43)	(0.25)	(0.08)	(0.43)	(0.25)	(0.01)	(0.19)	(0.06)	(0.02)	(0.01)	(0.03)					
6年	7,117	6,807	13,924	86	294	380	16	205	221	72	4	76	5	5	10	79	289	368	13	43	56	4	19	23	9	17	26	2				
				(1.21)	(4.32)	(2.73)	(0.22)	(3.01)	(1.96)	(0.06)	(0.18)	(0.07)	(0.07)	(0.07)	(0.12)	(0.18)	(0.81)	(0.40)	(0.18)	(0.63)	(0.40)	(0.06)	(0.28)	(0.13)	(0.25)	(0.03)	(0.03)					
中学校																																
1年	7,623	7,431	15,054	213	582	795	383	167	550	153	3	156	4	6	10	203	562	765	45	73	118	16	39	55	28	30	58	1				
				(2.79)	(7.83)	(5.28)	(5.29)	(2.19)	(2.06)	(0.04)	(0.39)	(0.05)	(0.08)	(0.03)	(0.01)	(0.26)	(3.71)	(2.43)	(0.59)	(0.98)	(0.78)	(0.21)	(0.52)	(0.37)	(0.40)	(0.04)	(0.01)					
2年	7,792	7,590	15,382	248	573	821	25	425	450	119	6	125	3	11	14	242	545	787	51	60	111	16	28	44	32	25	57	2				
				(3.18)	(7.55)	(5.34)	(0.32)	(5.60)	(2.75)	(1.57)	(0.08)	(0.21)	(0.04)	(0.14)	(0.03)	(0.31)	(3.54)	(2.43)	(0.65)	(0.79)	(0.72)	(0.21)	(0.37)	(0.41)	(0.33)	(0.07)	(0.03)					
3年	7,619	7,485	15,104	306	542	848	23	405	428	105	8	113	9	7	16	294	523	817	51	62	113	11	21	32	35	31	66	3				
				(4.02)	(7.24)	(5.61)	(0.30)	(5.41)	(3.47)	(1.40)	(0.11)	(0.31)	(0.12)	(0.09)	(0.03)	(0.39)	(3.42)	(2.43)	(0.67)	(0.83)	(0.75)	(0.14)	(0.28)	(0.46)	(0.41)	(0.04)	(0.09)					
高等学校																																
1年	11,096	10,506	21,602	488	796	1,284	68	518	586	170	10	180	15	10	25	491	705	1,196	91	81	172	21	36	57	65	34	99	1				
				(4.51)	(7.01)	(5.73)	(0.62)	(4.93)	(3.66)	(1.62)	(0.09)	(0.34)	(0.14)	(0.10)	(0.02)	(0.45)	(3.23)	(2.43)	(0.82)	(0.77)	(0.80)	(0.19)	(0.34)	(0.59)	(0.32)	(0.06)	(0.01)					
2年	11,390	10,808	22,198	343	676	1,019	30	499	529	139	9	148	8	3	11	331	649	980	59	81	140	14	40	54	35	34	69	2				
				(3.01)	(6.25)	(4.59)	(0.26)	(4.62)	(2.52)	(1.29)	(0.08)	(0.27)	(0.12)	(0.07)	(0.01)	(0.29)	(2.57)	(2.43)	(0.52)	(0.75)	(0.63)	(0.12)	(0.37)	(0.31)	(0.31)	(0.05)	(0.04)					
3年	11,150	10,503	21,653	322	609	931	36	435	471	124	13	137	18	18	36	312	574	886	52	65	117	19	36	55	26	20	46	2				
				(2.89)	(5.80)	(4.30)	(0.32)	(4.14)	(2.27)	(1.18)	(0.12)	(0.30)	(0.16)	(0.17)	(0.02)	(0.27)	(2.57)	(2.43)	(0.47)	(0.62)	(0.54)	(0.17)	(0.34)	(0.23)	(0.19)	(0.08)	(0.01)					
4年	123	54	177	7	6	13	2	3	5	2	1	3	1	1	2	6	4	10	1	1	2				1	1	2					
				(5.69)	(11.11)	(7.34)	(1.63)	(5.56)	(3.25)	(3.70)	(0.81)	(1.85)				(0.81)	(1.85)	(1.13)	(0.81)	(1.85)	(1.13)				(0.81)	(1.85)	(1.13)					

※下段は構成比です。

表 5 腎臓病・糖尿病検診成績学校別実施数（従来法+新方式）

区分 団体名	一 次 検 査								
	総受検者数			従来法受検者数			新方式受検者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
幼 保 園	11,938	11,528	23,466				11,938	11,528	23,466 (100.00)
小 学 校	41,567	39,418	80,985				41,567	39,418	80,985 (100.00)
中 学 校	23,038	22,512	45,550				23,038	22,512	45,550 (100.00)
高 等 学 校	33,699	31,871	65,570				33,699	31,871	65,570 (100.00)
大 専 門 学 校	21	110	131				21	110	131 (100.00)
特 別 支 援 校	2,781	1,357	4,138				2,781	1,357	4,138 (100.00)
施 設	321	182	503				321	182	503 (100.00)
合 計	113,365	106,978	220,343				113,365	106,978	220,343 (100.00)

※下段は構成比です。

表6 腎臓病・糖尿病検診成績表（新方式）

区分 市町名	一 次 検 査										二 次 検 査										
	受 検 者					陽 性 者					受 検 者					陽 性 者					
	男	女	計	%	計	男	女	計	%	計	男	女	計	%	計	男	女	計	%	計	
熱海市	1	24	16	40																	
伊豆市	7	136	140	276	2	1.43	2	0.72													
下田市	3	88	87	175																	
伊豆の国市	10	955	351	706	3	0.85	2	0.57	5	0.71	3	1									
沼津市	9	451	425	876	2	0.44	3	0.71	5	0.57	2										
三島市	1	104	111	215																	
富士市	3	115	115	230	1	0.87	1	0.43													
賀茂郡 東伊豆町	2	19	35	54	1	2.86	1	1.85													
河津町	1	28	31	59																	
西伊豆町	2	49	45	94																	
西伊豆町	2	21	23	44																	
東 部 計	43	1,462	1,464	2,916	5	0.34	9	0.62	14	0.48	5	6	3	5	8	13	3	0.21	3	0.10	
静岡市	59	3,135	2,964	6,099	17	0.54	27	0.91	44	0.72	11	23	4								
島田市	5	485	488	993	1	0.20	11	2.21	12	1.21	1	7	4								
焼津市	6	122	102	224	2	1.96	2	0.89													
藤枝市	5	413	393	806	2	0.50	3	0.73	5	0.62	1	3	1								
牧之原市	12	398	409	807	2	0.50	3	0.73	5	0.62	1	3	1								
橋原郡 吉田町	1	59	76	135	1	1.69	1	1.32	2	1.48											
中 部 計	88	4,822	4,442	9,064	21	0.45	48	1.08	69	0.76	13	39	6	9	17	45	62	2	0.04	10	0.23
浜松市	91	2,817	2,700	5,517	15	0.53	25	0.93	40	0.73	9	19	6								
磐田市	31	1,449	1,407	2,856	4	0.28	9	0.64	13	0.46	2	6	1								
掛川市	5	239	239	478	1	0.42	3	1.26	4	0.84											
菊川市	3	242	217	459	1	0.41	2	0.82	3	0.65	1										
袋井市	7	252	240	492	3	1.19	2	0.83	5	1.02	2	1									
磐井町	18	767	746	1,513	6	0.78	5	0.67	11	0.73	3	3	1								
周智郡 森町	5	88	83	171	1	1.20	1	0.88													
西 部 計	160	5,854	5,632	11,486	30	0.51	47	0.83	77	0.67	17	33	8	10	25	43	68	7	0.12	10	0.18
西 部 計	231	11,938	11,528	23,466	56	0.47	104	0.90	160	0.68	35	78	14	22	47	96	143	9	0.08	23	0.20

小学校（市町別）

区分 市町名	一 次 検 査										二 次 検 査										
	受 検 者					陽 性 者					受 検 者					陽 性 者					
	男	女	計	%	計	男	女	計	%	計	男	女	計	%	計	男	女	計	%	計	
熱海市	7	433	449	882	1	0.23	9	2.00	10	1.13	6										
伊豆市	10	1,239	1,160	2,399	8	0.65	19	1.64	27	1.13	2	11	5	6							
下田市	7	388	370	758	1	0.26	7	1.89	8	1.06	1	4									
伊豆の国市	7	501	502	1,003	5	1.00	6	1.20	11	1.10	5	5									
伊豆の国市	6	1,182	1,099	2,281	5	0.42	27	2.46	32	1.40	16	3	11								
沼津市	1	234	275	509	1	0.43	7	2.55	8	1.57	4	1									
富士宮市	22	3,437	3,267	6,704	19	0.55	59	1.81	78	1.16	6	26	8	29	2	4	2				
賀茂郡 東伊豆町	2	156	188	344	1	0.64	6	3.19	7	2.03	3										
賀茂郡 東伊豆町	3	150	132	282	2	0.67	2	1.52	3	1.06	2	1									
南伊豆町	3	135	152	287	2	1.32	2	0.70	2	0.70	2	1									
松崎町	1	86	93	179	2	2.15	2	1.12	2	1.12	1	1									
西伊豆町	3	100	96	196	1	1.00					1	1									
東 部 計	72	8,041	7,783	15,824	43	0.53	146	1.88	189	1.19	11	74	23	61	39	141	180	7	0.09	28	0.36
静岡市	3	639	695	1,333	2	0.31	6	0.86	8	0.60	1	2									
中 部 計	3	638	605	1,333	2	0.31	6	0.86	8	0.60	1	2	4	1	6	7	1	3	0.43	3	0.23
浜松市	99	21,710	20,327	42,037	119	0.55	390	1.92	509	1.21	46	239	65	127	112	7	12				
磐田市	22	4,596	4,445	9,041	24	0.52	64	1.44	88	0.97	8	42	13	18	1	3	2				
菊川市	9	1,302	1,304	2,606	9	0.69	18	1.38	27	1.04	1	5	7	12							
御前町	3	548	541	1,089	2	0.36	6	1.11	8	0.73	2	2									
袋井市	12	2,768	2,476	5,244	15	0.54	52	2.00	67	1.28	5	25	8	22	1	4					
湖西町	3	1,513	1,449	2,962	11	0.73	20	1.38	31	1.05	1	11	9	7	1	2					
周智郡 森町	3	451	398	849	1	0.22	8	2.01	9	1.06	5	1									
西 部 計	154	32,888	30,940	63,828	181	0.55	558	1.80	739	1.16	61	329	105	192	4	19	11	18	166	538	704
西 部 計	229	41,567	39,418	80,985	226	0.54	710	1.80	936	1.16	73	405	128	257	6	25	18	23	206	685	891

中学校 (市町別)

Table with columns for district, school type, and various health metrics (blood pressure, vision, etc.) for middle schools across different municipalities.

高等学校 (市町別)

Table with columns for district, school type, and various health metrics (blood pressure, vision, etc.) for high schools across different municipalities.

大学・専門学校

区分 市町名	一 次 検 査										二 次 検 査									
	受 検 者					陽 性 者					受 検 者					陽 性 者				
	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%
東 部	5	56	61	1	20.00	2	3.57	3	4.92											
中 部	5	16	54	70	5	9.26	5	7.14	2											
西 部	21	110	131	1	4.76	7	6.36	8	6.11	2										
總 計	31	172	203	1	4.93	15	7.39	16	7.88	4										

特別支援学校

区分 市町名	一 次 検 査										二 次 検 査									
	受 検 者					陽 性 者					受 検 者					陽 性 者				
	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%
東 部	8	688	696	31	4.51	14	3.79	45	4.26	5										
中 部	10	847	857	27	3.19	24	6.00	51	4.09	10										
西 部	14	1,246	1,260	38	3.05	30	5.10	68	3.71	6										
總 計	32	2,791	2,823	96	3.45	68	5.01	164	3.96	21										

施設

区分 市町名	一 次 検 査										二 次 検 査									
	受 検 者					陽 性 者					受 検 者					陽 性 者				
	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%
東 部	2	112	114	4	3.57	6	7.69	10	5.26	2										
中 部	1	8	9	4	12	3	3.00	4	1.33											
西 部	9	201	210	1	0.50	3	3.00	4	1.33	2										
總 計	12	321	333	5	1.56	9	4.95	14	2.78	4										

2) 学校糖尿病検診

〔はじめに〕

平成4年度に糖尿病の早期発見を目的として法律が改正され、学校検尿での尿糖検査が義務付けられた。

令和3年度より、すべての学校糖尿病検診で新方式が採用された。「学校腎臓病・糖尿病検診のフローチャート（新方式）図2」を参照のこと。

糖尿病の種類

・1型糖尿病

膵臓のβ細胞というインスリンを作る細胞が自己免疫やウイルス感染により壊れ、からだの中のインスリンの量が足りなくなってしまう。小児や若年成人に多くみられる。初期は特徴的な症状に乏しいこともあり、学校検尿で見つかることも多い。

・2型糖尿病

インスリンの量が少なくなってしまうものと、肝臓や筋肉などがインスリン作用を感じなくなるために、ブドウ糖が取り入れられなくなって起こるものがある。過食や運動不足などによる場合が多く、ゆっくりと発症し、成人から中年に多くみられる。

わが国の糖尿病の90%以上は2型である。日本人は欧米人に比べてやせ型で農耕民族であるために、インスリン分泌予備能力は欧米人に比べて劣っている。この状態で高カロリーを摂取すると血糖値の上昇が起こりやすと考えられる。

近年は、生活習慣や食生活の変化から肥満傾向の子どもが増え、子どもの2型糖尿病が増加している。多くは軽微な症状のため、学校検尿や健診で発見される。

・糖尿病でない腎性糖尿

血糖値が正常であるにもかかわらず、尿糖排泄閾値が低いために、尿中にブドウ糖が漏れ出してしまいう状態。精密検査を受けて診断される。

糖尿病の自覚症状

口渇・多飲・多尿・体重減少他

糖尿病の主な合併症

- ・網膜症による失明
- ・糖尿病腎症による腎不全

- ・神経障害による手足のしびれ

〔検査法〕

糖尿病検診は腎臓病検診と同時に実施しているため、早朝尿で検査を行っている。試験紙法で判定している。

〔判定〕

試験紙法にて（+）100mg/dl以上を陽性。

〔結果〕

令和3年度の糖尿病検診の受検者数は、220,343人であった。

今年度の一次陽性率は0.10%（昨年度0.11%）、二次陽性率は0.02%（昨年度0.02%）であった。

学校別の一次陽性率は、幼稚園0.04%、小学校0.05%、中学校0.11%、高等学校0.14%であった。

新方式では腎臓病・糖尿病が同じ集計表に記載されているため、学校腎臓病検診の「腎臓病・糖尿病検診成績学校別集計表（新方式）」を参照のこと。

〔まとめ〕

令和元年の国民健康・栄養調査で、「糖尿病が強く疑われる者」の割合は14.6%（男19.7%女10.8%）であった。「糖尿病の可能性を否定できない者」の割合は12.7%（男12.4%女12.9%）であった。

（糖尿病が強く疑われる者とはヘモグロビンA1cが6.5%以上または糖尿病の治療が有と回答した者。可能性を否定できない者は6.0%以上6.5%未満の者。）

糖尿病の人は、糖尿病でない人に比べ、狭心症、心筋梗塞や脳梗塞を起こす危険が2～3倍高いと言われている。

検診は早期発見のよい機会である。「要受診」と言われたら、医療機関でしっかり診ていただきたい。

（近藤 雅美）

3) 学校心臓検診

〔はじめに〕

昭和 48 年の学校保健法施行規則の改正に伴い学校における心臓検診が推奨され、平成 6 年の学校保健法施行規則の一部改正によって小・中学校、高等学校 1 年生全員の心電図検査が義務付けられた。平成 14 年度に学校生活管理指導表が作成され、静岡県では平成 25 年度から静岡県医師会の指導により県下統一書式の使用を開始した。

学校心臓検診の主な目的は、①心疾患の早期発見、②突然死の防止、③心疾患の適切な管理指導である。

当協会では、平成 18 年度より一部の小・中学校において、専門医療機関受診の際に診療情報提供書を作成し追跡調査を行っている。また一次検診で不整脈や心筋疾患を正しくスクリーニングするために、平成 29 年度には省略 4 誘導心電図（I、aVF、V₁、V₆）を実施していた地区の検査を標準 12 誘導心電図へ移行した。

〔検査方法〕

当協会では一次検診として心臓検診調査票（問診票）、標準 12 誘導心電図を実施している。検査方法については、小・中学校は主に教育委員会ごと、高等学校は学校ごとに指定され、一部の学校では心音図も実施している。

〔判定〕

当協会の検診システムは A 方式と B 方式がある。A 方式は一次検診（心臓検診調査票、心電図）の判定後、二次検診（専門医診察、安静時心電図、必要に応じて負荷心電図等）を実施し、総合判定を行ってから専門医療機関を受診する。B 方式は一次検診の判定後、専門医療機関を受診する。

（図 3）

〔結果〕

令和 3 年度に当協会が心臓検診を実施した小・中学校、高等学校は 507 校（A 方式 148 校、B 方式 359 校）、受診者数 66,030 人（A 方式 10,943 人、B 方式 55,087 人）で、管理中 511 人（0.8%）、要精密 1,688 人（2.6%）であった。

小・中学校、高等学校別に比較すると、小学校は 252 校（A 方式 94 校、B 方式 158 校）、受診者数 28,063 人（A 方式 6,764 人、B 方式 21,299 人）で、管理中 220 人（0.8%）、要精密 650 人（2.3%）であった。検診システム別では A 方式の要二次検診 145 人（A 方式の 2.1%）、要精密 70 人（A 方

式の 1.0%）であった。B 方式の要精密 580 人（B 方式の 2.7%）であった。

中学校は 150 校（A 方式 54 校、B 方式 96 校）、受診者数 16,538 人（A 方式 4,179 人、B 方式 12,359 人）で、管理中 80 人（0.5%）、要精密 443 人（2.7%）であった。検診システム別では A 方式の要二次検診 112 人（A 方式の 2.7%）、要精密 66 人（A 方式の 1.6%）であった。B 方式の要精密 377 人（B 方式の 3.0%）であった。

高等学校は 105 校（B 方式のみ）、受診者数 21,429 人で、管理中 211 人（1.0%）、要精密 595 人（2.8%）であった。

その他に特別支援学校 31 校、大学・専門学校 3 校、幼稚園 1 園、施設 2 軒実施した。特別支援学校の受診者数は 1,199 人、管理中 82 人（6.8%）、要精密 50 人（4.2%）であった。

総受診者数は 67,503 人で、昨年度より 2,228 人減少した。（表 1 および全体集計表）

〔まとめ〕

最近ではほとんどの先天性心疾患は入学前に診断・治療され、専門医の管理を受けていることが多く、心肺蘇生法や AED（自動体外式除細動器）の普及が児童生徒の救命につながる時代となった。一方、心臓検診の目的を達成するための課題として、『心臓検診調査票の正確性』、『小学 4 年生での検診実施』があげられる。調査票は児童生徒本人が記入するのではなく、遺伝や症状を理解した保護者等が正確に記入することが望ましい。また学年がすすむにつれて増加する不整脈や心筋疾患を早期発見するために、小学 1 年生と中学 1 年生の間にもう一度検診を受けることが望ましいとされており、当協会でも小学 4 年生で実施している学校が多い。

心疾患がある児童生徒が過度の運動・生活制限をされることなく、よりよい学校生活を送るためには、主治医、保護者、学校、学校医に加え、児童生徒自身が病態を把握し、学校生活管理指導表を適切に活用して個々に合った管理をすることが重要である。

我々検診機関も心疾患の早期発見に貢献するために、専門医と連携して精度の高い検診を行い、児童生徒が安心・安全で充実した学校生活を送ることができるよう努力を重ねていきたい。

（瀧口 真由美）

図1 学 校 生 活 管 理 指 導 表 (小学生用)

① 診断名(所見名)		理学的所見	学校名
		胸部レントゲン	年・組・番
		心電図(12誘導)	年 月 日
		運動負荷心電図	氏名
		ホルター心電図	年 月 日生 (歳)
		心エコー	年 月 日
② 指導区分		③ 運動クラブ活動	受診日
要管理	(A・B・C・D・E)	可・禁	受診医療機関
管理不要		【 () クラブ () 年 () カ月後 または異常があるとき 可・禁】	医師名
			印
			【指導区分:A・・・在宅医療・入院が必要 B・・・登校はできるが運動は不可 C・・・軽い運動は可 D・・・中等度の運動まで可 E・・・強い運動も可】
体育活動	運動強度	軽い運動 (C・D・Eは "可")	中等度の運動 (D・Eは "可")
体ほぐしの運動	1・2年生	体のバランスポールをやる運動遊び (体操、立つなど)	体を移動する運動遊び (走、走る、跳ぶ、はねるなどの動きで構成される遊び)
多様な動きをつくる運動遊び	3・4年生	体のバランスポールをやる運動 (壁転が、起きる、立つ、倒れるなど)	(走、走る、跳ぶ、はねるなどの動きで構成される遊び)
多様な動きをつくる運動	5・6年生	体の素早く動かす運動 (壁転が、起きる、立つ、倒れるなど)	力試しの運動(人を押す、引く動きや力比べをする動き)
体ほぐしの運動	1・2年生	体の素早く動かす運動 (ストレーチングを含む)、軽いウォーキング	時間やコースを決めて行う全身運動 (短なわ、真なわ跳び、棒なわ)
体ほぐしの運動	3・4年生	いろいろな歩き方、ゴム跳び遊び	全力でのかけっこ、折り返しリレー遊び
走、跳の運動遊び	5・6年生	ウォーキング、軽い立ち幅跳び	全力でのかけっこ、周回リレー、小型ハードル走
走、跳の運動	1・2年生	その場でボールを投げたり、ついたり、構ったりしながら行う的当て遊び	全力での短距離走、ハードル走
陸上運動系	3・4年生	基本的な操作 (パス、キック、キック、ドリブル、シュート、パッティングなど)	助走をした走り幅跳び、助走をした走り高跳び
陸上運動系	5・6年生	ゲーム、ボールゲーム、鬼遊び(低学年) ゴール型・ネット型・ベースボール型ゲーム (中学年)	ゲーム(試合)形式
ボール運動系	1・2年生	器械・器具を使った運動遊び	マット、鉄棒、跳び箱を使った運動遊び
器械・器具を使った運動遊び	3・4年生	基本的な動作 (前転、後転、膝立ち、ブリッジなどの部分的な動作)	連続技や組合せの技
器械・器具を使った運動遊び	5・6年生	跳び箱(前回り下りなどの部分的な動作) 鉄棒(前回り下りなどの部分的な動作)	水につかっているリレー遊び、バブリング・ボビングなど
器械・器具を使った運動遊び	1・2年生	水に濡れる遊び (水かけっこ、水につかっている電車ごっこなど)	補助具を使ったクロール、平泳ぎのストロークなど
水遊び	3・4年生	浮く運動(体しり込み、背泳ぎ、くらげ泳ぎなど)	クロール、平泳ぎ
浮く、泳ぐ運動	5・6年生	泳ぐ動作(はたき、かえるなど)	リズム遊び(弾む、回る、ねじる、スキップなど)
水泳	1・2年生	まねっこ遊び(鳥、昆虫、恐竜、動物など)	変化のある動きをつなげる表現(ロック、サンパなど)
表現リズム遊び	3・4年生	その場での即興表現	強い動きのある日本の民謡
表現運動系	5・6年生	雪遊び、氷上遊び、スキー、スケート、水辺活動	スキースケートの滑走など
雪遊び、氷上遊び、スキー、スケート、水辺活動		体力の必要な長時間の活動を除く文化活動	体力を相当使って吹く楽器(トランペット、トロンボーン、オーボエ、バスーン、ホルンなど)、リズムのかなり強い曲の演奏や指揮、行進を伴うマーチングバンドなど
文化活動		体力の必要な長時間の活動を除く文化活動	
学校行事、その他の活動		▼運動会 体育祭、球技大会、スポーツフェスティバル以上の運動強度に達する。 ▼指導区分" E " 以外の児童の遠足、宿泊学習、修学旅行、林間学校、臨海学校などの参加について不明な場合は学校医・主治医と相談する。 ▼陸上運動系、水泳系の距離(学習指導要領参照)については、学校医・主治医と相談する。	
その他注意事項			

(軽い運動) 同年齢の平均的児童にとって、ほとんど息がはずまない程度の運動。
 定義 《中等度の運動》 同年齢の平均的児童にとって、少し息がはずむが痛みなく程度程度の運動。ハートナーがいれば楽に会話ができる程度の運動。
 《強い運動》 同年齢の平均的児童にとって、息がはずむが息苦しさを感じるほどの運動。
 * 体づくり運動: レジスタンス運動(等尺運動)を含む。

図2 学校生活管理指導表 (中学・高校生用)

① 診断名(所見名)		理学的所見	
胸部レントゲン		正常	
心電図(12誘導)		正常	
運動負荷心電図		正常	
ホルター心電図		正常	
心エコー		正常	
② 指導区分 要管理 (A ・ B ・ C ・ D ・ E)	③ 運動部活動 可 ・ 禁 【 () 部 または異常があるとき ただし、 可 ・ 禁	④ 次回受診 () 年 () 月 () 日 または異常があるとき	受診日 年 月 日 受診医療機関 医師名 印
【指導区分・A・・・登校はできるが運動は不可 C・・・軽い運動は可 D・・・中等度の運動まで可 E・・・強い運動も可】			
体育活動	運動強度	中等度の運動 (D・Eは "可")	強い運動 (Eのみ "可")
* 体づくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	仲間と交流するための手軽な運動、基本的な運動 基本の運動(投げる、打つ、捕る、蹴る、跳ぶ)	最大限の持久運動、最大限のスピードでの運動、最大筋力での運動
器械運動	(マット、跳び箱、鉄棒、平均台)	準備運動、簡単なマット運動、パランス運動、簡単な跳躍	演技、競技会、発展的な技
陸上競技	(競走、跳躍、投てき)	基本動作、立ち幅跳び、負荷の少ない投てき、 軽いジャンピング(走ること不可)	長距離走、短距離走の競走、競技、タイムレース
水泳	(クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ)	水慣れ、浮く、伏し泳ぎ、けし伸びなど	競泳、遠泳(長く泳ぐ)、タイムレース、スタート・ターン
球技	バスケットボール ハンドボール サッカー ラグビー バレーボール 卓球 テニス バドミントン ソフトボール 野球	基本動作 (パス、シュート、ドリブル、フエント、リフティング、 トラッピング、スローイング、キッキング、ハンドリングなど)	簡易タイムレース、ゲーム、試合・競技
武道	柔道、剣道、相撲	基本動作 (投球、捕球、打撃など)	応用練習、試合
ダンス	創作ダンス、フォークダンス 現代的なリズムのダンス	基本動作(振り身、素振り、さばきなど)	各種のダンス発表会など
野外活動	雪遊び、氷上滑り、スキー、 スケート、キャンプ、登山、 遠泳、水辺活動	基本動作を生かした動きの激しさを伴わないダンスなど スキー、スケートの歩行やゆっくりに滑走平地歩きのハイキング、水に浸かり遊ぶなど	登山、遠泳、潜水、カヌー、ボート、サーフィン、ウインドサーフィンなど
文化的活動	体力の必要な長時間の活動を除く文化活動	右の強い活動を除くほとんどの文化活動	体力を相当使って歌く楽器(トランペット、トロンボーン、オーボエ、バスーン、ホルンなど)、リズムのかなり速い曲の演奏や指揮、行進を伴うマーチングなど
学校行事、その他の活動	▼運動会、体育祭、球技大会、スポーツフェスタなどは上記の運動強度に準ずる。 ▼指導区分・"E" 以外の生徒の遠足、宿泊学習、修学旅行、林間学校、臨海学校などの参加について不明な場合は学校医、主治医と相談する。		
その他注意すること			

《軽い運動》 同年齢の平均的生徒にとって、ほとんど息がはずまない程度の運動。
 《中等度の運動》 同年齢の平均的生徒にとって、少し息がはずむが息苦しくない程度の運動。パートナーがいれば楽に会話ができる程度の運動。
 《強い運動》 同年齢の平均的生徒にとって、息がはずむが息苦しさを感ずるほどの運動。
 * 体づくり運動、レジスタンス運動(等尺運動)を含む。

表 1 年度別学校数と受診者数

	年度	学校数			受診者数 a			要精密検査者数 b			% (b/a)		
		A方式	B方式	計	A方式	B方式	計	A方式	B方式	計	A方式	B方式	計
小学校	平成30	96	161	257	7,318	22,170	29,488	63	781	844	0.86	3.52	2.86
	令和元	96	161	257	6,892	22,057	28,949	75	692	767	1.09	3.14	2.65
	2	96	161	257	6,809	21,869	28,678	60	598	658	0.88	2.73	2.29
	3	94	158	252	6,764	21,299	28,063	70	580	650	1.03	2.72	2.32
中学校	30	55	103	158	4,312	12,123	16,435	57	491	548	1.32	4.05	3.33
	令和元	54	103	157	4,229	12,492	16,721	55	472	527	1.30	3.78	3.15
	2	54	102	156	4,254	12,675	16,929	59	400	459	1.39	3.16	2.71
	3	54	96	150	4,179	12,359	16,538	66	377	443	1.58	3.05	2.68
高等学校	30	0	109	109	0	24,674	24,674	0	817	817	0	3.31	3.31
	令和元	0	109	109	0	23,831	23,831	0	737	737	0	3.09	3.09
	2	0	105	105	0	22,654	22,654	0	688	688	0	3.04	3.04
	3	0	105	105	0	21,429	21,429	0	595	595	0	2.78	2.78
その他	30	0	40	40	0	1,671	1,671	0	87	87	0	5.21	5.21
	令和元	0	39	39	0	1,541	1,541	0	71	71	0	4.61	4.61
	2	0	37	37	0	1,470	1,470	0	54	54	0	3.67	3.67
	3	0	37	37	0	1,473	1,473	0	56	56	0	3.80	3.80
合計	30	151	413	564	11,630	60,638	72,268	120	2,176	2,296	1.03	3.59	3.18
	令和元	150	412	562	11,121	59,921	71,042	130	1,972	2,102	1.17	3.29	2.96
	2	150	405	555	11,063	58,668	69,731	119	1,740	1,859	1.08	2.97	2.67
	3	148	396	544	10,943	56,560	67,503	136	1,608	1,744	1.24	2.84	2.58

表 2 有所見者心疾患別内訳

	年度	受診者数	先天性心疾患		後天性心疾患		心電図異常		心音図異常		心電心音図異常		心筋症		川崎病既往		調査票異常	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
小学校	平成30	29,488	95	0.32	11	0.04	532	1.80			23	0.08	1	0.003	92	0.31	90	0.31
	令和元	28,949	107	0.37	7	0.02	488	1.69					1	0.003	78	0.27	86	0.30
	2	28,678	88	0.31	10	0.03	390	1.36			6	0.02	4	0.01	92	0.32	68	0.24
	3	28,063	82	0.29	13	0.05	384	1.37	1	0.004	12	0.04	2	0.007	102	0.36	55	0.20
中学校	30	16,435	54	0.33	7	0.04	407	2.48	4	0.02	19	0.12	1	0.006	10	0.06	46	0.28
	令和元	16,721	45	0.27	10	0.06	402	2.40	2	0.01	3	0.02	1	0.006	7	0.04	57	0.34
	2	16,929	35	0.21	6	0.04	363	2.14	3	0.02	6	0.04			1	0.01	45	0.27
	3	16,538	42	0.25	7	0.04	339	2.05	3	0.02	8	0.05	1	0.006	5	0.03	38	0.23
高等学校	30	24,674					753	3.05	31	0.13	14	0.06			1	0.004	21	0.09
	令和元	23,831					688	2.89	29	0.12	3	0.01					17	0.07
	2	22,654	1	0.004			660	2.91	7	0.03	4	0.02					18	0.08
	3	21,429	1	0.005			540	2.52	21	0.10	3	0.01					33	0.15

表3 心電図異常団体別件数

*重複所見を含む

順位	小学校 (心電図異常 431人)			中学校 (心電図異常 382人)			高等学校 (心電図異常 626人)		
	所見	人数	%	所見	人数	%	所見	人数	%
1	不完全右脚ブロック	170	39.44	不完全右脚ブロック	97	25.39	心室性期外収縮	106	16.93
2	心室性期外収縮	72	16.71	心室性期外収縮	72	18.85	左室肥大	92	14.70
3	WPW	24	5.57	上室性期外収縮	30	7.85	不完全右脚ブロック	81	12.94
4	上室性期外収縮	22	5.10	ST-T異常	24	6.28	上室性期外収縮	60	9.58
5	左軸偏位	18	4.18	WPW	19	4.97	ST-T異常	35	5.59
5				QT延長	19	4.97			

表4 精密検査受診結果管理別内訳

対象名	精検対象者	要医療	要観察	管理不要	未回収・不明
幼稚園	3		1	2	
小学校	650		37	159	454
中学校	443		36	113	294
高等学校	595		70	294	231
大学・専門学校	2			2	
特別支援学校	50		13	20	17
施設	1			1	
計 (%)	1,744		157 (9.00)	591 (33.89)	996 (57.11)

1 ; (A方式は二次、B方式は一次検診にて要精検となった生徒の追跡調査結果)

表5 静岡県内1年生在籍数と当協会で実施した心臓検診受診者数と割合 (%)

	校数及在籍生徒数		心電心音図実施数		心電図のみ実施数		実施数合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
小学校	502	28,663	0	0	252 (50.2)	13,955 (48.7)	252 (50.2)	13,955 (48.7)
中学校	291	32,326	6 (2.1)	306 (0.9)	144 (49.5)	16,140 (49.9)	150 (51.5)	16,446 (50.9)
高等学校	160	29,911	10 (6.3)	2,314 (7.7)	95 (59.4)	18,930 (63.3)	105 (65.6)	21,244 (71.0)
計	953	90,900	16 (1.7)	2,620 (2.9)	491 (51.5)	49,025 (53.9)	507 (53.2)	51,645 (56.8)

図3 心臓検診のシステム

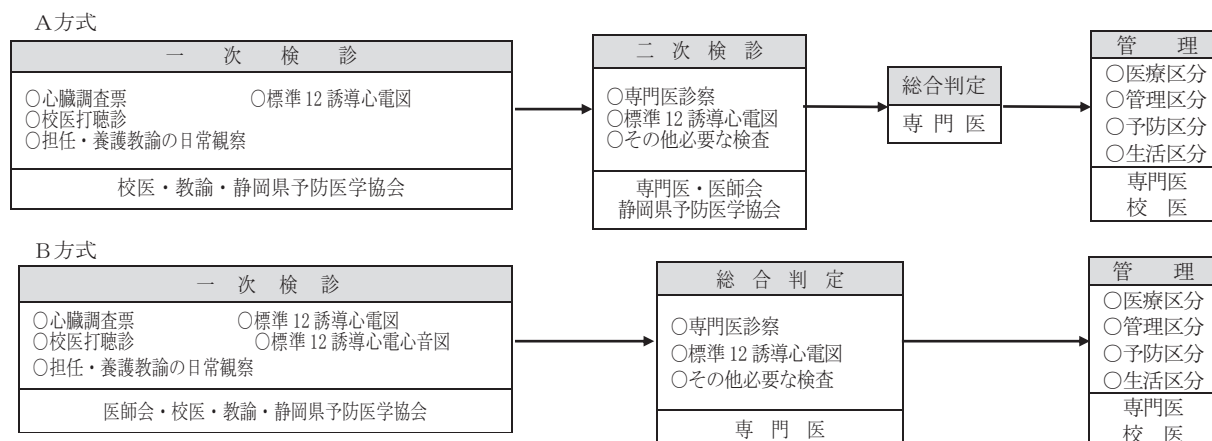


表6 先天性心疾患の所見別内訳

区 分	小学校		中学校		高等学校		その他	
	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式
心室中隔欠損症		38 (16)		16 (8)				3 (2)
心房中隔欠損症	1	18 (8)		10 (7)				
肺動脈狭窄症		7 (1)		3				
フアロー四徴症		5 (4)		3 (3)				
大動脈弁狭窄症		3		1 (1)				
心内膜欠損症		1 (1)		1 (1)				
兩大血管右室起始症		1 (1)		1 (1)				
大血管転位症		1 (1)						
総肺静脈還流異常		3 (3)						
大動脈縮窄症				1 (1)				
大動脈二尖弁症		1						
動脈管開存症		3 (3)		5 (3)				1 (1)
卵円孔開存症		2		1				
左心低形成症候群				1 (1)				
右胸心				1				
僧帽弁逸脱		1		1				
右室流出路狭窄		1 (1)						
三心房		1 (1)						
冠動静脈瘻		1						
冠動脈起始異常				1				
弁膜症						1		
計	88 (40)		46 (26)		1		4 (3)	

() 内の数字はその診断項目の手術済み数を示す。

表7 後天性心疾患の所見別内訳

区 分	小学校		中学校		高等学校		その他	
	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式
僧帽弁閉鎖不全症		6 (2)		4 (2)				
大動脈弁閉鎖不全症		2 (1)		1 (1)				
肺動脈閉鎖不全症								
三尖弁閉鎖不全症								
僧帽弁逆流		2		2				
弁膜症				1				
三尖弁逆流		2						
大動脈弁逆流		3		1				
肺動脈性肺高血圧		1						
計	16 (3)		9 (3)					

() 内の数字はその診断項目の手術済み数を示す。

表8 心筋症・川崎病既往の内訳

区 分	小学校		中学校		高等学校		その他	
	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式
心筋症		2		1				
川崎病既往		102		5				
計	104		6					

表9 調査票等の内訳

区 分	小学校		中学校		高等学校		その他	
	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式
心雑音		11		2		1		1
調査票	1	37	3	23		32		2
不整脈		6		10				
計	55		38		33		3	

表10 心音図異常の所見別内訳

区 分	小学校		中学校		高等学校		その他	
	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式
収縮期雑音						19		8
収縮期クリック				1		4		
II音分裂				2		3		3
心雑音	13		8					
III音								
無害性雑音								
拡張期雑音								
その他								
計	13		11		26		11	

(A方式の心音図異常は医師の聴診による)

表11 心電図異常の所見別内訳

区 分	小学校		中学校		高等学校		その他	
	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式
洞 性	頻 脈	5		1		12		
	徐 脈			1		8		
房 室	解 離	5		2		3		
左 脚	不 完 全			1				
	完 全	1						
右 脚	不 完 全	9	161	8	89	81		9
	完 全	2	11	3	14	28		4
房室ブロック	(第1度)		4	1	4	18		2
	(第2度)	1	1	1	3	15		
	(第3度)		2		2			
期外収縮	上 室 性	7	15	8	22	60		2
	心 室 性	12	60	16	56	106		6
W P W		2	22	2	17	18		2
L G L				3		1		
Q T 延 長		2	4		19	8		1
異常 P 波			2		5	14		
異常 Q 波		6	6		8	5		2
Q S 型		2		1		2		
S T ・ T 異常		3	10	5	19	35		4
肥 大	右	8	6	1	6	2		3
	左	5	6	4	7	92		3
軸偏位	右	1	7	1	12	15		
	左	6	12	5	9	10		
軸 (不定軸・軸偏位・回転)			3			2		
調律 (結節性・接合部・補充)			1		1	9		
洞 性 不 整 脈			7		3	14		
洞 房 ブ ロ ッ ク			1			1		
R 波 増 高 不 良					5	1		
ブルガダ症候群						18		
心室内伝導障害								
陰 性 T 波		1				6		2
平 低 T 波	1							1
左 房 負 荷				1				
心室内ブロック		2			1	23		2
洞不全症候群			1			2		
左 脚 前 枝 ブ ロ ッ ク						3		1
移動性ペースメーカー						2		
低 電 位			1					2
異 所 性 心 房 調 律				3		2		
左 室 高 電 位						1		
その他	5	2	6	4		11		
計	431		382		626		46	

心臓検診成績全体集計表(B方式)

B方式集計

Table with columns for inspection methods (幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校, 大学・専門学校, 特別支援学校, 施設) and various medical examination results including symptoms, ECG, chest X-ray, and echocardiography.

浜松市立小・中は
不参加しない。
小395, 中222

* () 内数字は、「他学年」、「他学年」(昨年度未受診者・今年度未受診者・今年度編入者・毎年度受診する必要がある者などで、今年度の対象学年外であるが、検診を併せて実施した学校数)

有所見者の疾患別内訳

Detailed breakdown table of diseases found during the cardiac examination, categorized by school type and listing specific conditions like congenital heart disease, hypertension, and arrhythmias.

* () 内数字は、「先天性心疾患」「後天性心疾患」の有所見者のうち、手術済み者数を示す。

表13 心 臓 検 査 成 績 方 式 別 集 計 表

幼稚園	区分	検査方法	受診者数		管理中		要精密検査の心疾患別内訳										調査票による受診結果					未回収	不明		
			男	女	男	女	要 観 察	要精密検査		先天性心疾患	後天性心疾患	心電図異常	心音図異常	心電心音図異常	川崎病後遺症	心筋症		調査票異常等	A	B	C			D	E
			計	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男			女	男
	1	B方式12誘導	49	56	105	0	2	0	3	0	3	0	3					1						1	2
	1	幼稚園合計	49	56	105	0	2	0	3	0	3	0	3					1						1	2

小学校	区分	検査方法	受診者数		管理中		要精密検査の心疾患別内訳										調査票による受診結果					未回収	不明												
			男	女	男	女	要 観 察	要精密検査		先天性心疾患	後天性心疾患	心電図異常	心音図異常	心電心音図異常	川崎病後遺症	心筋症		調査票異常等	A	B	C			D	E										
			計	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男			女	男	女	男	女							
	94	A方式12誘導	3,399	3,354	6,753	66	40	106	0	37	32	69	1		27	28	1										1					16	42	11	
	94	計	3,399	3,354	6,753	66	40	106	0	37	32	69	1		27	28	1										1					16	42	11	
	A方式12誘導	5	6	11			0		0	0	1	1					1															1			
	9	計	3,404	3,360	6,764	66	40	106	0	37	33	70	1		27	29	1										1					17	42	11	
	158	B方式12誘導	10,961	10,335	21,296	59	55	114	0	347	233	580	41	40	8	5	216	112				60	42	2	20	34						20	117	443	
	158	計	10,961	10,335	21,296	59	55	114	0	347	233	580	41	40	8	5	216	112				60	42	2	20	34						20	117	443	
	B方式12誘導	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0																							
	1	計	10,963	10,338	21,301	59	55	114	0	347	233	580	41	40	8	5	216	112				60	42	2	20	34							20	117	443
	252	小学校合計	14,367	13,696	28,063	125	95	220	0	384	266	650	41	41	8	5	243	141	1			60	42	2	20	35						37	159	454	

* 「1学校数」() は、「他学年」の検診を実施した学校数 (内数)

* 浜松市については事後処置調査票を回収しないため、B方式12誘導の要精密検査計=調査票による受診結果+管理不要+未回収・不明とならない。

中学校区分	校数	受診者数		管理中		要観察		要精密検査		先天性心疾患		後天性心疾患		心電図異常		心音図異常		川崎病後遺症		心筋症		調査票異常等		調査票による受診結果					未回収 不明
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	A	B	C	D	E	
		計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	
A方式12誘導	54	2,114	2,050	4,164	20	18	38	0	29	36	65	22	32	1	5	2	2	1	1	14	30	20							
計	54	2,114	2,050	4,164	20	18	38	0	29	36	65	22	32	1	5	2	2	1	1	14	30	20							
A方式12誘導	6	7	8	15	0	0	0	0	14	29	6.67	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1							
計	6	7	8	15	0	0	0	0	14	29	6.67	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1							
A方式計	54	2,121	2,058	4,179	20	18	38	0	30	36	66	23	32	1	5	2	2	1	1	14	30	21							
B方式12誘導	90	6,156	5,820	11,976	20	22	42	0	214	147	361	3	4	168	104	5	1	15	19	1	16	73	270						
B方式2心音12誘導	6	134	172	306	0	0	0	0	5	9	14	4	6	2	1							3	8	3					
計	96	6,290	5,992	12,282	20	22	42	0	219	156	375	4	10	172	110	5	1	15	19	1	16	73	270						
B方式計	96	6,290	5,992	12,282	20	22	42	0	219	156	375	4	10	172	110	5	1	15	19	1	16	73	270						
B方式12誘導	3	22	55	77	0	0	0	0	2	0	2	2	2	2	2														
B方式2心音12誘導	0	0	0	0	0	0	0	0	9	09	2.60																		
計	3	22	55	77	0	0	0	0	2	0	2	2	2	2	2														
B方式計	96	6,312	6,047	12,359	20	22	42	0	221	156	377	4	10	174	110	5	1	15	19	1	16	73	273						
中学校合計	150	8,433	8,105	16,538	40	40	80	0	251	192	443	4	19	142	119	5	1	17	21	2	133	113	294						
(9)									2.98	2.37	2.68																		

* 「学校数」() は、「他学年」の検診を実施した学校数 (内数)

** 浜松市については事後処置調査票を回収しないため、B方式12誘導の要精密検査計=調査票計-調査票による受診結果+管理不要+未回収・不明とならない。

高等学校

区分 検査方法	要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果					未 回 取 明											
	受診者数		管理		要観察		要精密検査		先天性心疾患		後天性心疾患		心電図異常		川崎病後遺症		心筋症		調査票異常等		A	B	C	D	E				
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		計	男						女	計	男	女
A 方式計			0																										
B方式12誘導	95	9,889	18,930	101	79	180	0	336	162	498	1	329	143								9	18			2	61	238	197	
B方式2心音12誘導	10	1,161	2,314	11	19	30	0	50	95	85		37	20	12	8	1	2				1	5			6	47	32		
計	105	11,050	21,244	112	98	210	0	386	197	583	1	366	163	12	8	1	2				10	23			2	67	285	229	
B方式(他学年)																													
B方式12誘導	3	105	72	177	1	0	0	10	1	11		10	1														1	9	1
B方式2心音12誘導	3	5	3	8	0	0	0	0	1	1																		1	
計	6	110	75	185	1	0	0	10	2	12		10	1														1	9	2
B 方式計	105	11,140	21,289	113	98	211	0	396	199	595	1	376	164	12	9	1	2				10	23			2	68	294	231	
高等学校合計	105	11,140	21,289	113	98	211	0	396	199	595	1	376	164	12	9	1	2				10	23			2	68	294	231	

大学・専門学校

区分 検査方法	要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果					未 回 取 明											
	受診者数		管理		要観察		要精密検査		先天性心疾患		後天性心疾患		心電図異常		川崎病後遺症		心筋症		調査票異常等		A	B	C	D	E				
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		計	男						女	計	男	女
B 方式12誘導	3	63	82	145	0	2	2	0	2	2		1																	2
大学・専門学校合計	3	63	82	145	0	2	2	0	2	2		1									1							2	

特別支援学校

区分 検査方法	要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果					未 回 取 明										
	受診者数		管理		要観察		要精密検査		先天性心疾患		後天性心疾患		心電図異常		川崎病後遺症		心筋症		調査票異常等		A	B	C	D	E			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		計	男						女	計	男
B 方式計	31	793	406	1,199	43	39	82	0	36	14	50	2	22	12	6	5					1				1	12	20	17
特別支援学校合計	31	793	406	1,199	43	39	82	0	36	14	50	2	22	12	6	5					1				1	12	20	17

施設

区分 検査方法	要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果					未 回 取 明										
	受診者数		管理		要観察		要精密検査		先天性心疾患		後天性心疾患		心電図異常		川崎病後遺症		心筋症		調査票異常等		A	B	C	D	E			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		計	男						女	計	男
B 方式計	2	15	9	24	0	1	1	0	1	1		1																1
施設合計	2	15	9	24	0	1	1	0	1	1		1									1						1	

* 「学校数」() は、「他学年」の検診を実施した学校数(内数)

A方式 中学校 (12誘導)

市町村名	対象学年			一次検査			二次検査結果			医師の診察・聴打診										調査票による																					
	校数	受診者数		管理中		要二次検査		要観察		要精密検査		先天性心疾患		後天性心疾患		心電図異常		心音異常		川崎病後遺症		心筋症		調査票異常等		受診結果															
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	A	B	C	D	E											
熱海市	4	74	85	159	0	0	0	5	2	7	0	0	3	1	4	1	1	2																							
伊東市	5	208	222	430	1	2	3	3	8	11	0	3	6	9			3	5	1													3	4	2							
下田市	4	73	73	146			0	2	4	6	0	1	1	2					1					1								1	1								
伊豆市	4	101	107	208	2	2	4	5	4	9	0	1	3	4			1		2												2	2	2	2							
伊豆の国市	3	200	200	400	1	2	3	5	6	11	0	5	5	10			4	5													1	6	3	3							
富士宮市	13	572	551	1,123	6	7	13	11	18	29	0	8	9	17					5	9	3													4	5	8					
御殿場市	6	427	393	820	3	2	5	9	13	22	0	3	6	9					3	6														4	2	3					
裾野市	5	240	221	461	4	2	6	2	0	2	0	1	0	1					1													1		1							
東都市計	44	1,895	1,862	3,747	17	17	34	42	55	97	0	25	31	56			18	28	1	5	2														14	23	19				
賀茂郡東伊豆町	2	32	37	69			0	2	3	5	0	1	3	4			1	2																		3	1				
河津町	1	25	39	64			0	2	0	2	0	0	0	0			1																								
南伊豆町	2	24	25	49	2	0	2	0	2	2	0	0	2	2																								2			
松崎町	1	21	7	28			0	1	0	1	0	1	0	1					1																		1				
西伊豆町	1	21	17	38			0	4	7	11	0	4	7	11					1																		1				
駿東郡小山町	3	96	73	169	1	1	2	1	1	2	1	1	2	3																											
東郡計	10	219	198	417	3	1	4	7	7	14	0	4	5	9			4	4																				7	1		
東郡計	54	2,114	2,050	4,164	20	18	38	49	62	111	48	60	108	156			22	32	1	5	2																	14	30	20	
A方式12誘導中学校計	54	2,114	2,050	4,164	20	18	38	49	62	111	48	60	108	156			22	32	1	5	2																		14	30	20
(他学年)																																									
東郡計	6	7	8	15	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1			1																						1	1	
他学年計	6	7	8	15	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1			1																						1	1	

B方式 幼稚園 (12誘導)

区分 市町村名	対象 学年 数	受診者数				管理中		有所見者内訳				要精密検査の心疾患別内訳										調査票による受診結果				
		要観察		要精密検査		男	女	男	女	先天性 心疾患	後天性 心疾患	心電図異常	心音異常	川崎病 後遺症	心筋症	調査票 異常等	A	B	C	D	E	管理 不要	不明			
		男	女	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	計		
浜松市	1	49	56	105	2	2	0	3	0	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	2			
B方式12誘導 幼稚園計	1	49	56	105	2	2	0	3	0	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	2			
																							1	2		

B方式 小学校 (12誘導)

区分 市町村名	対象 学年 数	受診者数				管理中		有所見者内訳				要精密検査の心疾患別内訳										調査票による受診結果				
		要観察		要精密検査		男	女	先天性 心疾患	後天性 心疾患	心電図異常	心音異常	川崎病 後遺症	心筋症	調査票 異常等	A	B	C	D	E	管理 不要	不明					
		男	女	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	計		
静岡市	3	1.4	210	231	441	10	4	0	10	2	12	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
島田市	14	1.4	672	613	1,285	17	17	0	9	13	22	0	0	9	13	0	0	0	0	0	0	0	3	13		
中部計	17	882	844	1,726	27	11	0	19	15	34	0	0	19	15	0	0	0	0	0	0	0	0	3	13		
浜松市	98	1.4	7,063	6,642	13,705	5	4	0	228	171	399	41	38	75	103	61	57	41	2	18	26	0	4	395		
磐田市	22	1.4	1,464	1,429	2,893	18	19	0	53	22	75	1	0	48	18	0	2	0	2	2	4	0	0	7		
袋井市	12	1.4	950	824	1,774	27	14	0	17	12	29	1	0	16	7	0	1	1	0	3	0	0	3	20		
湖西市	6	1.4	463	470	933	16	9	0	26	12	38	1	0	26	10	0	0	0	0	1	0	0	0	6		
西部市計	138	9,940	9,365	19,305	85	43	0	324	217	541	41	40	8	5	193	96	60	42	2	20	34	0	0	16		
周智郡 森町	3	1.4	139	126	265	2	1	0	4	1	5	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
西部郡計	3	139	126	265	2	1	0	4	1	5	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
西部計	141	10,079	9,491	19,570	87	44	0	328	218	546	41	40	8	5	197	97	60	42	2	20	34	0	0	17		
B方式12誘導 小学校計	158	10,961	10,335	21,296	114	55	0	347	233	580	41	40	8	5	216	112	60	42	2	20	34	0	0	20		
(他学年)																										
中部計	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
他学年計	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

* 浜松市については事後処置調査票を回収しないため、要精密検査計=調査票による受診結果+管理不要+未回収・不明とならない。

B方式 中学校 (12縣選)

市町村名	学区数		対象学年		受診者数		管理		中		要 観 察			要 精 密 検 査				要 精 密 検 査 の 心 疾 患 別 内 訳										調 査 票 に よ る 受 診 結 果					未 回					
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	先天性 心疾患	先天性 心疾患	後天性 心疾患	心電図異常	心音図異常	心電図異常	川崎病 後遺症	心筋症	異常等	男	女	計	A	B	C	D	E	不明		
富士宮市	39	35	74	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
裾野市	0	81	81	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
富士市	2	8	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東 部 計	41	124	165	0	2	2	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡市	458	376	834	1	3	4	0	8	3	11	1	8	3	11	1	8	3	11	1	8	3	11	1	8	3	11	1	8	3	11	1	8	3	11	1	8	3	11
島田市	397	345	742	5	4	9	0	10	6	16	0	10	6	16	0	10	6	16	0	10	6	16	0	10	6	16	0	10	6	16	0	10	6	16	0	10	6	16
中 部 計	855	721	1,576	6	7	13	0	18	9	27	0	18	9	27	0	18	9	27	0	18	9	27	0	18	9	27	0	18	9	27	0	18	9	27	0	18	9	27
浜松市	3,722	3,478	7,200	2	1	3	0	135	68	203	0	135	68	203	0	135	68	203	0	135	68	203	0	135	68	203	0	135	68	203	0	135	68	203	0	135	68	203
磐田市	780	710	1,490	5	5	10	0	39	30	69	0	39	30	69	0	39	30	69	0	39	30	69	0	39	30	69	0	39	30	69	0	39	30	69	0	39	30	69
袋井市	409	422	831	4	3	7	0	9	4	13	0	9	4	13	0	9	4	13	0	9	4	13	0	9	4	13	0	9	4	13	0	9	4	13	0	9	4	13
菊川市	19	42	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湖西市	245	256	501	2	4	6	0	11	6	17	0	11	6	17	0	11	6	17	0	11	6	17	0	11	6	17	0	11	6	17	0	11	6	17	0	11	6	17
西 部 市 計	5,175	4,908	10,083	13	13	26	0	194	138	332	0	194	138	332	0	194	138	332	0	194	138	332	0	194	138	332	0	194	138	332	0	194	138	332	0	194	138	332
周智郡森町	85	67	152	1	0	1	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2
西 部 郡 計	85	67	152	1	0	1	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2
西 部 計	5,260	4,975	10,235	14	13	27	0	196	138	334	0	196	138	334	0	196	138	334	0	196	138	334	0	196	138	334	0	196	138	334	0	196	138	334	0	196	138	334
B方式12縣選 中学校計	6,156	5,820	11,976	20	22	42	0	214	147	361	0	214	147	361	0	214	147	361	0	214	147	361	0	214	147	361	0	214	147	361	0	214	147	361	0	214	147	361
(他学年)																																						
東 部 計	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中 部 計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西 部 計	22	54	76	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2
他 学 年 計	22	55	77	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2
合 計	22	55	77	0	0	0	0	9.09	2	2.00	0	9.09	2	2.00	0	9.09	2	2.00	0	9.09	2	2.00	0	9.09	2	2.00	0	9.09	2	2.00	0	9.09	2	2.00	0	9.09	2	2.00

*浜松市については事後処置調査票を回収しないため、要精密検査計＝調査票による受診結果＋管理不要＋未回収・不明とならない。

B方式 中学校 (2心音12誘導)

区分 市町村名	学校数	対象学年		受診者数		管理中		要観察		要精密検査		要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果					
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	A	B	C	D	E	不明		
		計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計		
藤枝市	2	48	43	91	0	0	0	2	4	6	2	3	1	1															
中部計	2	48	43	91	0	0	0	2	4	6	4.17	9.30	6.59	4.17	9.30	6.59													
浜松市	4	86	129	215	0	0	0	3	5	8	3.49	3.88	3.72	3.49	3.88	3.72													
磐田市	1			0	0	0	0	0	0	0																			
西部計	4	86	129	215	0	0	0	3	5	8	3.49	3.88	3.72	3.49	3.88	3.72													
B方式2心音12誘導 中学校計	6	134	172	306	0	0	0	5	9	14	3.73	5.23	4.58	3.73	5.23	4.58													
(他学年)																													
浜松市				0	0	0	0	0	0	0																			
西部計				0	0	0	0	0	0	0																			
他学年計				0	0	0	0	0	0	0																			

B方式 高等学校 (12誘導)

区分 市町村名	学校数	対象学年		受診者数		管理中		要観察		要精密検査		要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	A	B	C	D	E	不明	
		計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	
熱海市	1	39	32	71	0	0	0	0	0	0																		
沼津市	7	795	778	1,573	4	11	0	23	3	26	2.89	0.39	1.65	2.89	0.39	1.65												
三島市	1	37	42	79	1	2	0	0	0	0																		
富士宮市	4	391	453	844	2	3	0	13	5	18	3.32	1.10	2.13	3.32	1.10	2.13												
富士市	7	724	603	1,327	6	16	0	27	10	37	3.73	1.66	2.79	3.73	1.66	2.79												
御殿場市	1			0	0	0	0	0	0	0																		
裾野市	1	0	77	77	0	0	0	0	0	0																		
東部市計	21	1,986	1,985	3,971	34	14	0	63	18	81	3.17	0.91	2.04	3.17	0.91	2.04												

B方式 高等学校 (12縣導)

市町村名	対象学年数		受診者数		管理中		有所見者内訳		要精密検査の心疾患別内訳										調査票による受診結果										
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	要精密検査	先天性心疾患	後天性心疾患	心電図異常	心音図異常	心電図異常	心電心音図異常	川崎病後遺症	心筋症	調査票異常等	A	B	C	D	E	未管理	不明			
賀茂郡 東伊豆町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
田方郡 函南町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
駿東郡 小山町	2	53	106	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
東 部 郡 計	53	53	106	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
東 部 計	2,039	2,038	4,077	20	14	34	0	63	19	82	62	17	70	36	4	10	1	14	10	57	1	14	10	57	1	14	10		
静 岡 市	22	2,249	4,449	15	18	33	0	72	46	118	70	36	11	3	14														
島 田 市	4	385	278	663	7	2	9	0	11	3	11	3	2	0	2														
焼 津 市	1	104	50	154	0	1	1	0	2	0	2	0	2	0	2														
藤 枝 市	1	180	0	180	1	0	1	0	2	0	2	0	2	0	2														
中 部 市 計	2,918	2,528	5,446	23	21	44	0	87	49	136	85	39	125	46	3	2	4	10	15	70	50	1	15	70	50	1	15	70	
中 部 計	2,918	2,528	5,446	23	21	44	0	87	49	136	85	39	125	46	3	2	4	10	15	70	50	1	15	70	50	1	15	70	
浜 松 市	25	3,019	2,633	5,652	35	33	68	0	128	48	176	125	46	3	2														
磐 田 市	6	637	720	1,357	6	6	12	0	27	19	46	26	16	1	3														
掛 川 市	4	461	358	819	8	1	9	0	8	6	14	8	6	6															
袋 井 市	2	190	179	369	0	2	2	0	6	8	14	6	7	7	1														
御 前 崎 市	1	65	58	123	1	0	1	0	0	1	1	1																	
菊 川 市	2	225	362	587	2	1	3	0	6	9	15	6	9	9															
湖 西 市	3	202	109	311	4	1	5	0	8	1	9	8	1	1															
西 部 市 計	4,799	4,419	9,218	56	44	100	0	183	92	275	179	85	179	85	4	6	31	154	90	31	154	90	31	154	90	31	154	90	
周 智 郡 森 町	1	113	76	189	2	0	2	0	3	2	5	3	2	2															
西 部 郡 計	113	76	189	2	0	2	0	3	2	5	3	2	3	2	3	2	3	2	5	1	4	1	4	1	4	1	4	1	
西 部 計	4,912	4,495	9,407	58	44	102	0	186	94	280	182	87	182	87	4	6	32	158	90	32	158	90	32	158	90	32	158	90	
B方式12縣導	9,869	9,061	18,930	101	79	180	0	336	162	498	329	143	329	143	9	18	2	61	238	197	2	61	238	197	2	61	238	197	
高 等 学 校 計																													

B方式 高等学校 (12歳未満) 他学年

市町村名	対 象 学 校 数		受 診 者 数		管 理 中		有 所 見 者 内 訳		要精密検査の心疾患別内訳											調査票による受診結果																		
	校 数	学年	男	女	計	男	女	計	要 観 察	要精密検査		先天性 心疾患	後天性 心疾患	心電図異常		心電図異常	心電図異常		川崎病 後遺症	心筋症		調査票 異常等	A	B	C	D	E	未 回 診 要 認 明										
										男	女			計	男		女	男		女	男								女	男	女							
沼津市	1	他	11	9	20	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1					
富士宮市		他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
東都市	1	他	11	9	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
田方郡函南町		他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
駿東郡小山町		他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
東郡 郡 計	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
東 都 部 計	1	他	11	9	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
静岡市		他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
島田市		他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
中部市 計	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
中部 市 計	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
浜松市	1	他	0	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
磐田市	1	他	94	39	133	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
西 都 部 計	2		94	63	157	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他学年 計	3		105	72	177	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

B方式 高等学校 (2心血管12歳未満)

市町村名	対 象 学 校 数		受 診 者 数		管 理 中		有 所 見 者 内 訳		要精密検査の心疾患別内訳											調査票による受診結果																				
	校 数	学年	男	女	計	男	女	計	要 観 察	要精密検査		先天性 心疾患	後天性 心疾患	心電図異常		心電図異常	心電図異常		川崎病 後遺症	心筋症		調査票 異常等	A	B	C	D	E	未 回 診 要 認 明												
										男	女			計	男		女	男		女	男								女	男	女									
島田市	1	1	157	24	181	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
藤枝市	2	1	264	202	466	2	4	6	0	14	6	20	14	5	14	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
中部 市 計	3		421	226	647	4	5	9	0	16	6	22	16	5	16	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
浜松市	7	1	740	927	1,667	7	14	21	0	34	29	63	21	15	12	8	1	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
磐田市	1				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
袋井市	1				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西 都 部 計	7		740	927	1,667	7	14	21	0	34	29	63	21	15	12	8	1	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
B方式2心血管12歳未満 高等学校 校 計	10		1,161	1,153	2,314	11	19	30	0	50	35	85	37	20	12	8	1	2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	

B方式 高等学校 (2心音12誘導) 他学年

区分 市町村名	学校数	対象学年		受診者数		管理中		有所見者内訳						要精密検査の心疾患別内訳						調査票による受診結果																
		男	女	男	女	男	女	計	要観察	要精密検査	先天性心疾患	後天性心疾患	心電図異常	心音異常	心電図異常	心電音異常	川崎病後遺症	心筋症	調査票異常	A	B	C	D	E	未 回 取 明											
		男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女								
島田市			0			0		0																												
藤枝市	1	3	0	3	0	3																														
中部	計 1	3	0	3	0	3																														
浜松市	2	2	3	5	5	0		0	0	1	1			1																			1			
磐田市				0		0																														
西部	計 2	2	3	5	5	0		0	0	1	1			1																				1		
他学年計 3		5	3	8	8	0		0	0	1	1			1																					1	

B方式 大学・専門学校 (12誘導)

区分 市町村名	学校数	対象学年		受診者数		管理中		有所見者内訳						要精密検査の心疾患別内訳						調査票による受診結果																	
		男	女	男	女	男	女	計	要観察	要精密検査	先天性心疾患	後天性心疾患	心電図異常	心音異常	心電図異常	心電音異常	川崎病後遺症	心筋症	調査票異常	A	B	C	D	E	未 回 取 明												
		男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
静岡市				0		0																															
中部	計 0			0		0																															
浜松市	2	62	74	136	0	1		1	0	0	2			1																					2		
磐田市	1	1	8	9	0	1		1	0	0	0																										
西部	計 3	63	82	145	0	2		2	0	0	2			1																						2	
B方式12誘導 大学専門学校計 3		63	82	145	0	2		2	0	0	2			1																						2	

B方式 特別支援学校

市区町村名	学年	受診者数		管理数		有所見者内訳		要精密検査の心疾患別内訳													調査票による受診結果												
		男	女	計	男	女	計	先天性心疾患	後天性心疾患	心電図異常			心電図異常			川崎病後遺症			調査票異常等			A	B	C	D	E	不要	不明					
										男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計								男	女	計		
沼津市	4	40	40	80	1	3	4	0	0	2	3	5																		2	3		
富士宮市	1	16	7	23			0	0	0	0	0	0																					
富士市	1	61	36	97	5	2	7	0	0	4	4	4																				2	
御殿場市	1	29	25	54	0	2	2	0	0	2	1	3																				3	
東部市計	7	146	108	254	6	7	13	0	0	8	4	12																				2 5 5	
田方郡函南町	1	9	3	12			0	0	0	3	0	3																				3	
東部郡計	1	9	3	12	0	0	0	0	0	3	0	3																				3	
真部市	8	155	111	266	6	7	13	0	0	9	4	15																				2 5 8	
静岡市	7	168	77	245	8	11	19	0	0	9	2	11																				4 5 2	
島田市				0			0	0	0	0	0	0																					
焼津市	1	10	8	18	1	0	1	0	0	0	0	0																					
藤枝市	1	57	32	89	6	1	7	0	0	0	0	0																					
牧之原市				0			0	0	0	0	0	0																					
中部市計	9	235	117	352	15	12	27	0	0	9	2	11																				4 5 2	
浜松市	8	221	91	312	9	12	21	0	0	9	4	13																				1 4 6 2	
磐田市	2	14	6	20	1	0	1	0	0	0	0	0																				1	
掛川市	1	62	24	86	6	3	9	0	0	1	1	2																				2	
袋井市	1	64	35	99	5	1	6	0	0	2	1	3																				1 2	
御前崎市	1	13	7	20	0	1	1	0	0	0	0	0																					
湖西市	1	29	15	44	1	3	4	0	0	0	2	5																				5	
西部市計	14	403	178	581	22	20	42	0	0	16	8	24																				1 6 10 7	
西部市	14	403	178	581	22	20	42	0	0	16	8	24																				1 6 10 7	
B方式 施設	31	793	406	1,199	43	39	82	0	0	36	14	50																				1 12 20 17	
										4.94	3.45	4.17																					

B方式 施設

市区町村名	学年	受診者数		管理数		有所見者内訳		要精密検査の心疾患別内訳													調査票による受診結果												
		男	女	計	男	女	計	先天性心疾患	後天性心疾患	心電図異常			心電図異常			川崎病後遺症			調査票異常等			A	B	C	D	E	不要	不明					
										男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計								男	女	計		
伊東市	1	14	9	23	0	1	1	0	0	1	0	1																				1	
真部市	1	14	9	23	0	1	1	0	0	7.14	0	4.35																					1
浜松市				0			0	0	0																								
磐田市	1	1	0	1			0	0	0																								
西部市計	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0																					
B方式 施設計	2	15	9	24	0	1	1	0	0	6.97	0	4.17																					1

4) 学校貧血検査

〔はじめに〕

学校貧血検査は、成長著しいこの時期において、健康状態を把握する指標の一つとして有意義な検査である。

当協会で令和3年度に実施した学校貧血検査は29,553人であり、そのうち把握しているだけでも170人の貧血と診断された児童を見つけている。本検査は、自動血球計数機 XE-2100L(シスメックス製)にておこない、赤血球数(RBC)、血色素量(HGB)、赤血球容積比(HCT)といった赤血球系の貧血検査に加え、白血球数(WBC)についても検査をしている。また、これらの測定値から平均赤血球容積(MCV)、平均赤血球血色素量(MCH)、平均赤血球血色素濃度(MCHC)を算出し、貧血の種類の鑑別に役立てている。

〔成績〕

当協会の貧血検査の判定基準を表1に示した。赤血球数では性差が、血色素量と赤血球容積比では性差と年齢差が見られるので、性別及び学年別の基準の設定を行っている。

貧血検査受検者数の年次推移を表2に示した。令和3年度の学校保健関係は29,553人と、昨年度に比べ1,849人の減少となった。平成26年度以降、児童数の減少などが影響し持続的な減少傾向を示している。成人保健関係は132,355人と、昨年度に比べ2,036人の増加となり、総数161,908人の内訳は、学校保健関係が全体の18.3%、成人保健関係が81.7%という比率であった。

表3・4は、貧血検査受検者のうち要受診となった対象者(以下、要受診者)の年次推移を男女別に示したものである。この要受診者の比率をグラフにしたのが、図1・2である。令和3年度の要受診者の比率は、小学生では男子0.4%、女子0.7%、中学生では男子1.1%、女子3.1%、高校生では男子0.8%、女子3.5%の割合であった。小学生に比べ、中学生・高校生では要受診者の出現頻度が高く、特に女子に高い傾向が認められた。

〔追跡調査結果〕

表5は、要受診者が医療機関で受診後、診断結果を記載した事後処置調査表の回答率を示したものである。今年度は、全体で44.7%の回答率が得られた。診断結果を把握することで、本検査の意義を客観的に評価でき、さらに高精度の検査に繋げることが可能となる。

表6・7は、事後処置調査表による回答を男女別に赤血球系低値及び高値、白血球数高値及び低値の4つに分類しまとめたものである。回答の内訳をみると、男女合わせた要受診者の総数590人のうち赤血球系低値が370人であり、これは全体の62.7%を占めている。また、受検者数に対する要受診者の比率を算出してみると、赤血球系低値は男子全体の14,219人中のうち44人(0.3%)、女子全体の14,297人のうち326人(2.3%)であり、赤血球系高値は男子全体で14人(0.1%)、女子全体で35人(0.2%)であった。白血球数高値は男子全体で68人(0.5%)、女子全体で101人(0.7%)であり、白血球数低値は男子全体で3人(0.02%)、女子全体で3人(0.02%)と、赤血球系低値以外は要受診者の比率に男女差はあまりみられなかった。

また、医療機関に受診した者について調べると、赤血球系低値では男子全体で27人、そのうち異常なしが1人(3.7%)、要治療が20人(74.1%)、経過観察と診断された者は6人(22.2%)であった。一方、女子全体では148人のうち異常なしが9人(6.1%)、要治療が114人(77.0%)、経過観察と診断された者は22人(14.9%)、その他が3人(2.0%)であった。

赤血球系高値では、男女24人のうち、異常なしが16人(66.7%)、経過観察が8人(33.3%)であった。

白血球数高値では、男女61人のうち、異常なしが44人(72.1%)、経過観察が13人(21.3%)、要治療が1人(1.6%)であった。

白血球数低値では、男女6人のうち、異常なしが3人(50.0%)、経過観察が1人(16.7%)、要治療が1人(16.7%)、その他が1人(16.7%)であった。

この結果から、特に赤血球系低値で受診した男女175人のうち134人(76.6%)が要治療(貧血)と診断され、経過観察とされた者が28人(16.0%)となり、これらを合わせると当協会にて調査した医療機関に受診した者のうち92.6%は治療もしくは生活上の改善が必要といえる。このことは、現在用いている基準値が適正に設定されているものと考えられる。

〔年齢別平均値及び2SDの範囲〕

表8・9は、令和元年度の検査成績を男女別学年・年齢別に分け、平均値と標準偏差(SD)を計算し、基準範囲(平均値±2SD)として表したものである。

また、図3・4は、そのうちの白血球数と血色素量をグラフにしたものである。

白血球数の基準値は、小学3年生以下の年齢で他の年代より高めになる傾向が認められていたため、判定基準もやや高めに設定してある。

血色素量の平均値は、学年・年齢と性別ごとに差がみられ、特に男子は成長期にあたる中学1年生から高校1年生にかけて著しい上昇傾向が認められた。

〔まとめ〕

学校保健における貧血検査の要受診率は、近年ほぼ横這いの状態である。これは、食育が注目される一方で、朝食を抜いたり、ダイエットをする、間食により食事が取れなくなるなど、十分な栄養摂取が出来ていない子どもがいることなども原因のひとつと推測される。

今回の追跡調査結果を今後の保健指導に活用していただき、また充実した学校生活を送るために、学校からの受診勧奨に役立てていただければ幸いである。

(高田 雅紀)

表1 貧血(血液)検査成績判定基準

(平成19年3月1日より)

種目 性別・年齢		判定区分 (単位)	血色素量 (HGB)	赤血球容積比 (HCT)	赤血球数 (RBC)	赤血球恒数 (MCV) fL (MCH) % (MCHC) %	白血球数 (WBC)
			g/dl	%	μl		μl
男	中学3年以上	要受診 要注意 正常	11.9以下・18.1以上 12.0~13.4 13.5~18.0	35.9以下・54.1以上 36.0~39.9 40.0~54.0	<正常範囲> 400~570万	・MCV 小学6年以下 要受診 69.0以下 111.0以上 要注意 { 100.1 ~ 110.9 { 69.1 ~ 74.9 正常 75.0 ~ 100.0 中学1年以上 要受診 69.0以下 111.0以上 要注意 { 100.1 ~ 110.9 { 69.1 ~ 80.9 正常 81.0 ~ 100.0	・大学・短大等以上 要受診 { 2,900以下 { 10,100以上 要注意 { 3,000~ 3,400 { 9,100~10,000 正常 3,500~ 9,000
	中学1・2年	要受診 要注意 正常	11.4以下・17.1以上 11.5~12.4 12.5~17.0	34.9以下・51.1以上 35.0~36.9 37.0~51.0			・小学3年~高校 要受診 { 2,900以下 { 12,000以上 要注意 { 3,000~ 3,400 { 10,100~11,900 正常 3,500~10,000
	小学生	要受診 要注意 正常	10.9以下・16.1以上 11.0~11.4 11.5~16.0	32.9以下・48.1以上 33.0~34.4 34.5~48.0			・MCH <正常範囲> 25.0~35.0 ・MCHC <正常範囲> 31.0~35.4
女	大学・短大等以上	要受診 要注意 正常	9.9以下・16.1以上 10.0~11.9 12.0~16.0	31.9以下・48.1以上 32.0~34.9 35.0~48.0	<正常範囲> 370~510万	~ 計算式 ~ $M C V = \frac{H C T}{R B C} \times 1000$ $M C H = \frac{H G B}{R B C} \times 1000$ $M C H C = \frac{H G B}{H C T} \times 100$	・小学2年以下 要受診 { 2,900以下 { 12,500以上 要注意 { 3,000~ 3,400 { 11,100~12,400 正常 3,500~11,000
	中学校・高等学校	要受診 要注意 正常	10.9以下・16.1以上 11.0~11.9 12.0~16.0	31.9以下・48.1以上 32.0~34.9 35.0~48.0			
	小学校	要受診 要注意 正常	10.9以下・16.1以上 11.0~11.4 11.5~16.0	32.9以下・48.1以上 33.0~34.4 34.5~48.0			

表2 貧血検査受検者数の年次推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
学校保健関係	45,990	44,537	40,490	39,636	35,872	34,973	31,402	29,553	18.3%
成人保健関係	103,336	112,687	113,182	121,575	129,071	134,267	130,319	132,355	81.7%
合計	149,326	157,224	153,672	161,211	164,943	169,240	161,721	161,908	100.0%

表3 貧血要受診者年次推移 (男子)

年度	小学校		中学校		高等学校				
	受診者数	率	受診者数	率	受診者数	率			
平成14	2,306	11	0.5	8,056	69	0.9	16,778	140	0.8
15	2,352	9	0.4	7,411	59	0.8	15,024	115	0.8
16	2,387	9	0.4	7,071	62	0.9	14,544	121	0.8
17	2,512	3	0.1	6,584	56	0.9	13,122	106	0.8
18	2,209	5	0.2	7,417	49	0.7	12,870	125	1
19	1,209	2	0.2	8,117	82	1	13,409	88	0.7
20	1,411	3	0.2	8,384	59	0.7	13,051	106	0.8
21	1,312	3	0.2	7,454	55	0.7	13,214	85	0.6
22	1,298	1	0.1	7,186	68	1	13,162	95	0.7
23	1,345	15	1.1	7,393	97	1.3	13,470	179	1.3
24	1,244	10	0.8	7,179	107	1.5	13,050	195	1.5
25	1,231	3	0.2	7,242	62	0.9	13,156	58	0.4
26	1,207	17	1.4	7,384	109	1.5	13,398	175	1.3
27	1,205	14	1.2	7,166	121	1.7	12,781	185	1.4
28	1,279	13	1	6,779	98	1.4	12,350	171	1.4
29	1,222	12	1	6,333	103	1.6	11,504	162	1.4
30	1,092	13	1.2	5,055	77	1.5	11,265	161	1.4
令和元	845	12	1.4	4,989	75	1.5	10,868	149	1.4
2	443	7	0.8	5,171	62	1.2	9,459	100	1.1
3	452	2	0.4	4,585	49	1.1	9,182	77	0.8

表4 貧血要受診者年次推移 (女子)

年度	小学校		中学校		高等学校				
	受診者数	率	受診者数	率	受診者数	率			
平成14	2,219	12	0.5	8,633	268	3	18,268	761	4.2
15	2,262	10	0.4	8,271	228	2.8	16,860	602	3.6
16	2,245	9	0.4	7,882	255	3.2	15,567	631	4.1
17	2,436	5	0.2	7,189	225	3.1	14,503	623	4.3
18	2,098	8	0.4	7,884	194	2.5	13,643	586	4.3
19	1,173	4	0.3	8,636	195	2.3	13,641	551	4
20	1,329	1	0.1	9,049	224	2.5	13,171	511	3.9
21	1,176	3	0.3	8,376	197	2.4	13,629	523	3.8
22	1,252	1	0.1	8,140	178	2.2	13,317	458	3.4
23	1,184	9	0.8	8,510	244	2.9	13,757	592	4.3
24	1,190	14	1.2	8,304	257	3.1	13,242	618	4.7
25	1,174	2	0.2	8,104	168	2.1	12,917	427	3.3
26	1,171	12	1	8,466	262	3.1	13,019	543	4.2
27	1,117	15	1.3	8,251	295	3.5	12,678	517	4.1
28	1,200	13	1.08	7,371	240	3.3	11,280	506	4.5
29	1,113	10	0.9	7,057	276	3.9	11,167	473	4.2
30	1,060	6	0.6	5,688	165	2.9	10,519	408	3.9
令和元	856	8	0.9	6,008	186	3.1	10,255	377	3.7
2	391	0	0.0	5,893	181	3.1	9,084	317	3.5
3	423	3	0.7	5,407	165	3.1	8,467	294	3.5

表5 事後処置調査表による小・中・高校別回答率

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	要受診者数	回答率(率)	要受診者数	回答率(率)	要受診者数	回答率(率)	要受診者数	回答率(率)	要受診者数	回答率(率)	要受診者数	回答率(率)
小学校	332	16(80.0)	379	19(86.3)	19	14(73.7)	20	15(75.0)	7	3(42.9)	5	1(20.0)
中学校	202(60.8)	329	221(58.3)	242	128(52.9)	261	153(58.6)	243	129(53.1)	214	102(47.7)	
高等学校	649	350(53.9)	635	635(48.3)	569	261(45.9)	526	289(51.1)	417	191(45.8)	371	161(43.4)
計	1,001	568(56.7)	1,036	547(52.8)	830	403(48.6)	807	437(54.2)	667	323(48.4)	590	264(44.7)

表6 事後処置調査表による回答 (男子)

区分	受診者数	要受診者の内訳		回答者 〔医師に 受診した者〕	回答内容 (診断内容)							
		赤血球系低値	赤血球系高値		異常なし	経過観察	増多症	感染症	減少症	その他		
小学校	452	2	1	1								
中学校	4,585	49	1	1	1	6	2	2	2			
高等学校	9,182	77	1	1	18	14	2	5	2			1
合計	14,219	128	2	2	27	20	4	9	8			1

表7 事後処置調査表による回答 (女子)

区分	受診者数	要受診者の内訳		回答者 〔医師に 受診した者〕	回答内容 (診断内容)							
		赤血球系低値	赤血球系高値		異常なし	経過観察	増多症	感染症	減少症	その他		
小学校	423	3	1	1								
中学校	5,407	165	1	1	49	35	9	2	2			1
高等学校	8,467	294	1	1	99	79	13	3	2			2
合計	14,297	462	3	3	148	114	22	7	4			3

表8 令和3年度 貧血検査成績年齢別平均値及び2SDの範囲 (男性) (含:定期健康診断) 学校保健関係

Table with columns for age group (学年区分), WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, and MCHC. Each parameter is broken down into '対象者(人)' (Number of subjects), '平均' (Average), and '2SD' (2 standard deviations).

成人保健関係

Table with columns for age group (年齢), WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, and MCHC. Each parameter is broken down into '対象者(人)' (Number of subjects), '平均' (Average), and '2SD' (2 standard deviations).

※平成19年度より、学校保健関係は学年・性別毎判定基準値方式へ変更の為、成人保健関係と分離

表9 令和3年度 貧血検査成績年齢別平均値及び2SDの範囲 (女性) (含:定期健康診断) 学校保健関係

Table with columns for age group (学年区分), WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, and MCHC. Each parameter is broken down into '対象者(人)' (Number of subjects), '平均' (Average), and '2SD' (2 standard deviations).

成人保健関係

Table with columns for age group (年齢), WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, and MCHC. Each parameter is broken down into '対象者(人)' (Number of subjects), '平均' (Average), and '2SD' (2 standard deviations).

※平成19年度より、学校保健関係は学年・性別毎判定基準値方式へ変更の為、成人保健関係と分離

〈学 校 保 健〉

図1 貧血要受診者率の年次推移（男子）

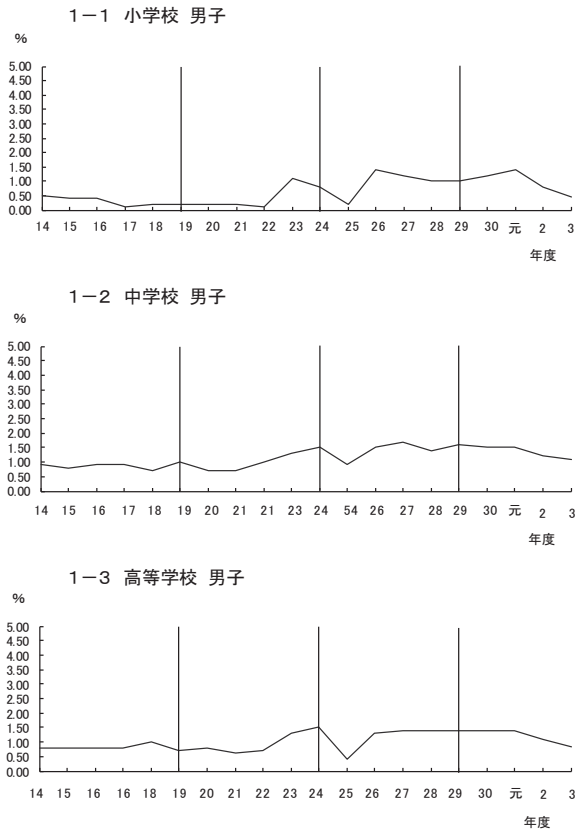


図2 貧血要受診者率の年次推移（女子）

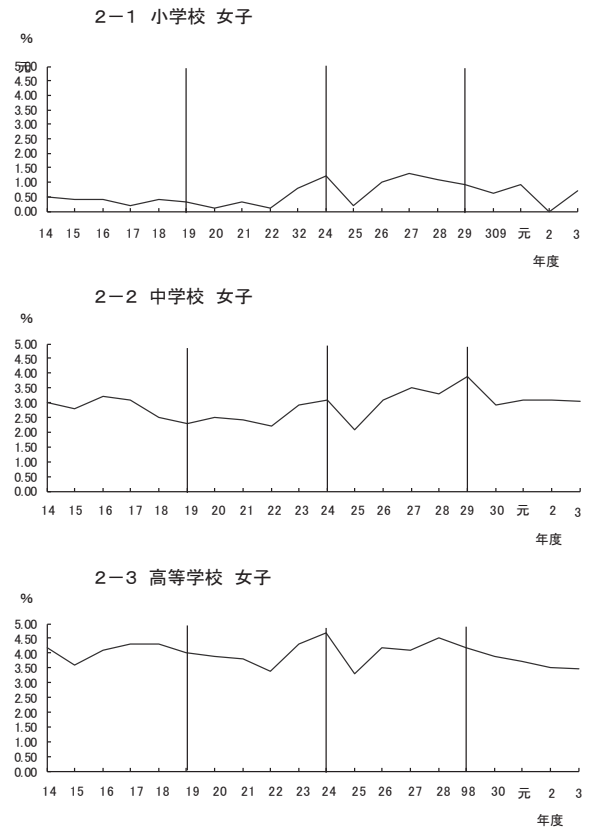


図3 令和3年度 年齢・性別平均値及び2SDの範囲(白血球数) (含:定期健康診断)

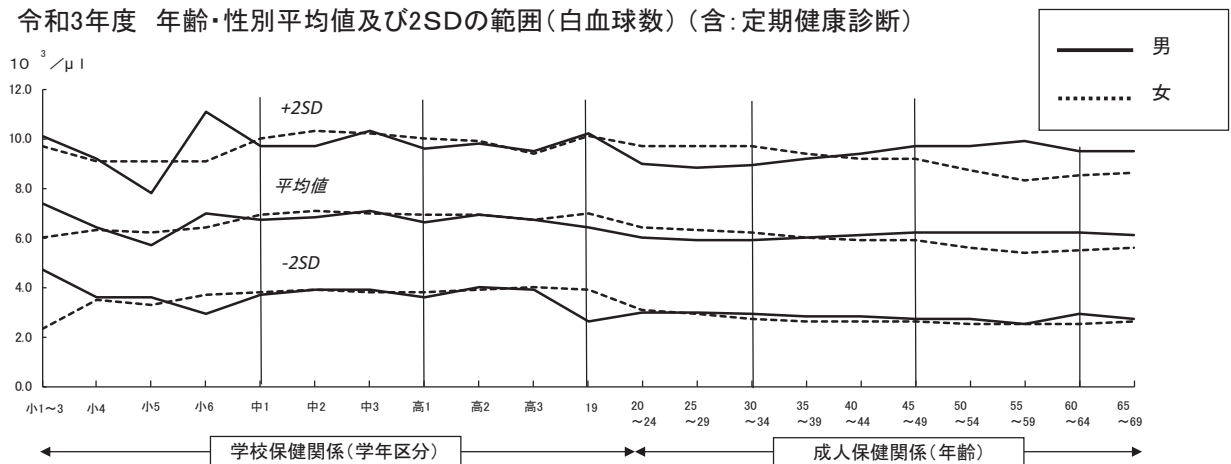
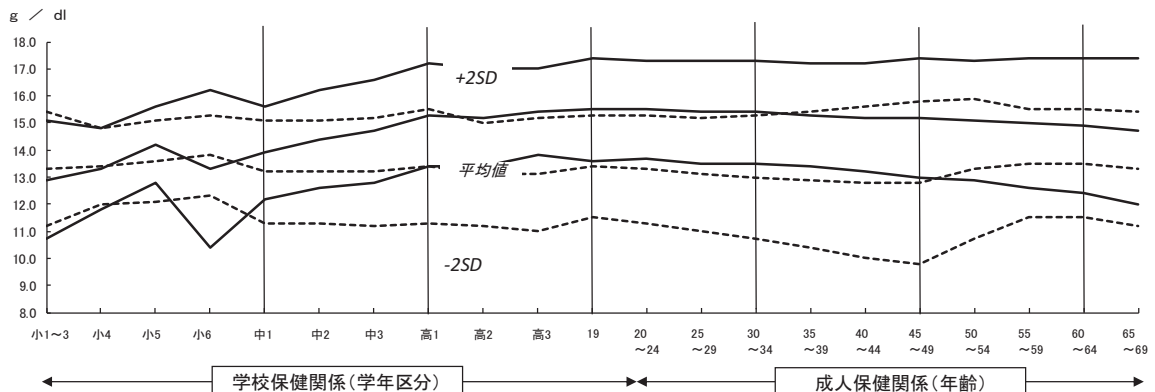


図4 令和3年度 年齢・性別平均値及び2SDの範囲(血色素量) (含:定期健康診断)



※平成19年度より、学校保健関係は学年・性別毎判定基準値方式へ変更の為、成人保健関係と分離

表 10 貧血検査成績学校別集計表

区分 団体名	学校数	貧血検査										貧血以外の要受診者と調査表による受診結果															
		受検者数					調査表による受診結果					受診結果					受診結果										
		人数	人数 (%)	要受診人数 (%)	異常なし (%)	貧血症 (%)	経過観察 (%)	その他 (%)	不明 (%)	赤系血球値	異常なし	増多症	経過観察	その他	不明	白血球値	異常なし	増多症	感染症	経過観察	その他	不明	白血球値	異常なし	減少症	経過観察	その他
小学校	男	452																									
	女	423	1 0.2																								
	計	875	1 0.1																								
中学校	男	4,585	347 7.6	16 0.3	1 0.0	6 0.1	2 0.0	7 0.2	15 0.3	6 0.1	2 0.0	2 0.0	2 0.0	2 0.0	27 0.6	12 0.3	12 0.3			3 0.1	12 0.3						
	女	5,407	361 6.7	107 2.0	4 0.1	35 0.6	9 0.2	1 0.0	58 1.1	15 0.3	6 0.1	6 0.1	1 0.0	1 0.0	43 0.8	14 0.3	14 0.3			2 0.0	26 0.5						
	計	9,992	708 7.1	213 2.1	5 0.1	41 0.4	11 0.1	3 0.0	73 0.7	30 0.3	12 0.1	7 0.1	3 0.0	3 0.0	70 0.7	26 0.3	26 0.3			5 0.0	38 0.4						
高等学校	男	9,182	296 3.2	28 0.3	14 0.2	4 0.0	10 0.1	8 0.1	19 0.2	6 0.1	6 0.1	19 0.2	1 0.0	1 0.0	57 0.6	11 0.1	11 0.1			3 0.0	41 0.4						
	女	8,467	504 6.0	218 2.6	5 0.1	81 1.0	13 0.2	119 1.4	27 0.3	8 0.1	8 0.1	4 0.0	4 0.0	1 0.0	97 1.1	18 0.2	18 0.2			8 0.1	68 0.8						
	計	17,649	800 4.5	436 2.5	10 0.1	162 0.9	26 0.1	218 1.2	46 0.3	26 0.1	14 0.1	14 0.1	2 0.0	2 0.0	154 0.9	29 0.2	29 0.2			11 0.1	116 0.7						
特別支援学校 施設	男	693	46 6.6	9 1.3	1 0.1	5 0.7	3 0.4	1 0.1	2 0.3	2 0.3	2 0.3	2 0.3	2 0.3	2 0.3	6 0.9	2 0.3	2 0.3			1 0.1	3 0.4						
	女	344	34 9.9	7 2.0	1 0.3	4 1.2	4 1.2	2 0.6	2 0.6	2 0.6	2 0.6	2 0.6	2 0.6	2 0.6	6 1.7	3 0.9	3 0.9			2 0.6	1 0.3						
	計	1,037	80 7.7	16 1.5	2 0.2	9 0.9	7 0.7	7 0.7	7 0.7	7 0.7	7 0.7	7 0.7	7 0.7	7 0.7	12 1.2	5 0.5	5 0.5			3 0.3	4 0.4						
合計	男	14,912	689 4.6	53 0.4	25 0.2	9 0.1	18 0.1	16 0.1	16 0.1	16 0.1	16 0.1	16 0.1	16 0.1	16 0.1	74 0.5	21 0.1	21 0.1			9 0.0	43 0.3						
	女	14,641	900 6.1	333 2.3	10 0.1	120 0.8	22 0.2	180 1.2	37 0.2	37 0.2	37 0.2	37 0.2	37 0.2	37 0.2	107 0.7	28 0.2	28 0.2			7 0.0	69 0.5						
	計	29,553	1,589 5.4	386 1.3	11 0.0	145 0.5	31 0.1	198 0.7	53 0.2	53 0.2	53 0.2	53 0.2	53 0.2	53 0.2	181 0.6	49 0.2	49 0.2			16 0.0	112 0.4						

表 11 貧血検査成績学年別集計表

区分 団体名	実施学年	貧血検査										貧血以外の要受診者と調査表による受診結果																								
		要受診					検査					受診結果					受診結果																			
		人数	%	人数	%	人数	異常なし	貧血症	経観過察	その他	不明	赤血球値	異常なし	増多症	経観過察	その他	不明	白血球値	異常なし	増多症	経観過察	その他	不明	白血球値	異常なし	増多症	経観過察	その他	不明							
小学校	4	445		416	0.2	1	0.2					1					1						1													
	5	7																																		
中学校	1	423	0.2	423	1	0.2						1					1						1													
	2	2,886	8.4	2,431	11	0.4	1	3	2	5	2	14	5	2	17	2	7	26	14	5	2	7	26	8	1	26	14	5	2	2						
高等学校	1	3,541	236	6.7	62	1.8	2	25	8	1	26	14	5	2	7	26	14	5	2	7	26	8	1	26	14	5	2	7	26	17	2					
	2	1,134	46	4.1	2	0.2						1			1	6	4	1	6	4	1	6	4	1	6	4	1	6	4	1	6	4				
合計	3	565	58	10.3	3	0.5						1			7	3						7	3													
	4	693	43	6.2	21	3.0	1	2	1	17	1	1	1	1	8	5						8	5													
中等学校	1	4,585	347	7.6	16	0.3	1	6	2	7	6	2	2	2	27	12						3	6	2	2	3	6	2	2	1	26	2				
	2	5,407	361	6.7	107	2.0	4	35	9	1	58	15	6	2	7	43	14					2	7	43	14	2	2	1	26	2	2	1	26	2		
高等学校	1	8,654	284	3.3	26	0.3					9	8	2	4	38	7						4	38	7												
	2	8,031	467	5.8	204	2.5	4	72	10	118	18	6	1	11	56	10						3	2	41												
合計	1	396	11	2.8	2	0.5					6				1	1						1														
	2	289	26	9.0	7	2.4					1				1							1														
中等学校	3	132	1	0.8																																
	4	147	11	7.5	7	4.8	1	3	3																											
高等学校	1	9,182	296	3.2	28	0.3					14	4			10	8						2	4	40	7											
	2	8,467	504	6.0	218	2.6	5	81	13	119	19	6	2	11	57	11						5	1	27	2											
合計	1	14,219	643	4.5	44	0.3	1	20	6	17	14	4	4	6	68	19						8	1	40	3											
	2	14,297	866	6.1	326	2.3	9	116	22	1	178	35	12	19	101	25						5	3	68	2											

表 12 貧血検査成績表

区分 市町村名	実施学年	貧血検査										貧血以外の要受診者と調査表による受診結果																									
		要受診					検査					受診結果					受診結果																				
		人数	%	人数	%	人数	異常なし	貧血症	経観過察	その他	不明	赤血球値	異常なし	増多症	経観過察	その他	不明	白血球値	異常なし	増多症	経観過察	その他	不明	白血球値	異常なし	増多症	経観過察	その他	不明								
伊豆の国市	4.5	195		202	1	0.5																															
	4.5	238		204	1	0.5																															
東部	15	433	1	0.2	1	0.2																															
	4	19		17																																	
中部	4	17																																			
	市	17																																			
西部	19	452	1	0.2	1	0.2																															
	市	423																																			

中学校

区分 市町村名	学校数	実施学年	貧血検査										貧血以外の要受診者との調査表による受診結果											
			受検者数		要注意		要受診		検査による受診結果		受診結果		受診結果		受診結果		受診結果		受診結果					
			人数	%	人数	%	人数	%	異常なし	貧血症	経過観察	その他	不明	赤系白血球値	異常なし	増多症	経過観察	その他	不明	白血球値	異常なし	減少症	経過観察	その他
伊東市	5	1	164	4.24	1	0.6					1	1							1	1				
伊豆市	4	2,3	183	11.60	1	0.5					1	2							2	1				
伊豆の国市	3	1,2	79	5.63	3	3.8		2											1					
沼津市			201	10.50															2	1				
富士宮市	14	1,2,3	200	7.35	7	3.5													2	1				1
富士市	1	1	35	1.29																				
裾野市	5	1,2	549	20.36	10	1.8		4											6	5	2			13
賀茂郡河津町	1	1	2																					
真部計	33		206	8.39	8	3.9																		
静岡市	1	3	282	23.82	5	1.8		1	2										2	3	1			
藤枝市	2	1,2	24	3.125	1	4.2																		
榛原郡川根本町	2	1	39	5.128	1	2.6																		
中部計	5		710	29.41	2	0.3		1	8	1	10	12	3						1	3	1			1
浜松市	51	1,2,3	1,340	71.53	20	1.5		1	8	1	10	12	3						7	16	1			14
磐田市	11	1,2,3	122	6.49	4	3.3																		
袋井市	4	2	49	6.122																				
周智郡森町	2	1,2,3	44	3.68																				
西部計	68		10																					
総計	106		59	6.102																				
			184	9.49	4	2.2																		
			2,125	202.95	9	0.4		1	2	2	4	2	1											
			2,178	164.75	45	2.1		1	19	7	17	1	1											
			1,043	85.81	2	0.2																		
			1,083	83.76	28	2.6		2	6	6	20	1	1											
			429	12.28	2	0.5																		
			414	20.48	8	1.9																		
			219	13.59	1	0.5																		
			198	14.71	2	1.0																		
			3,816	312.82	14	0.4		1	5	2	6	3	1											
			3,883	281.72	83	2.1		3	27	8	1	44	2											
			4,585	347.76	16	0.3		1	6	2	7	6	2											
			5,407	361.67	107	2.0		4	35	9	1	58	15	6										

高等学校

区分 市町村名	学校数	実施学年	貧血検査による受診結果					貧血以外の要受診者と調査表による受診結果					受診結果									
			要受診		要注意		貧血症	異常なし	不明	赤系血球値	異常なし	増多症	経観過察	その他	不明	白血球値	異常なし	減少症	経観過察	その他	不明	
			人数	%	人数	%																人数
熱海市	1		36																			
沼津市	6	1,2,3	722	2.5	18	0.3	2															
三島市	1		35	2	5	5.1	2															
富士宮市	1		227	2	0.9		2															
富士市	6		615	7	1.1																	
裾野市	1		505	26	5.1	15	3.0	4														
駿東郡小山町	2		74	7	9.5	4	5.4	4														
東部計	18		1,688	29	1.7	2	0.1	2														
静岡市	20		1,866	49	2.6	4	0.2	9														
島田市	2		1,686	92	5.5	36	2.3	17														
焼津市	1		356	19	5.3	4	1.1	3														
藤枝市	2	1,2,3	206	23	11.2	10	4.9	2														
中部計	25		2,594	95	3.7	12	0.5	8														
浜松市	25	1,2,3	2,978	104	3.5	7	0.2	2														
磐田市	6	1,2,3	545	23	4.2	1	0.2	1														
掛川市	4		433	10	2.3	3	0.7	5														
袋井市	2		351	20	5.7	11	3.1	5														
御前崎市	1		174	11	6.3	7	4.0	7														
菊川市	2	1,2,3	393	6	1.5	2	0.5	1														
湖西市	3		596	38	6.4	21	3.5	12														
周智郡森町	1		89	4	4.5	3	3.4	1														
西部計	44		4,900	172	3.5	14	0.3	4														
総計	87		9,182	296	3.2	26	0.3	14														

特別支援学校

区分 市町村名	学校数	実施学年	貧血検査										貧血以外の要受診者と調査表による受診結果													
			受検者数		要注意		要受診		検査		貧血		受診結果		赤系血球値		白血球値		増多症		受診結果		貧血		受診結果	
			人数	性別	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
沼津市	3	1,2,3,4	15	男	4	26.7																				
富士宮市	1	1	10	男	1	10.0																				
富士市	1	1,4	35	男	3	8.6	1	2.9																		
御殿場市			18	女	1	5.6																				
函南町	1	1	9	女	1	11.1																				
東部計	6		69	男	9	13.0	1	1.4																		
静岡市	6	1,2,3,5,6	167	男	9	5.4																				
焼津市	1	2	76	女	6	7.9	1	1.3																		
藤枝市	1	2	29	女	6				2	6.9																
中部計	9		208	男	9	4.3	2	1.0																		
浜松市	10	1~6	204	男	14	6.9	4	2.0	1	3																
磐田市	1	1,3	106	女	9	8.5	1	0.9																		
掛川市	1	1,3,5	75	男	3	4.0	2	2.7																		
袋井市	1	1,5	49	女	2	7.4	2	7.4																		
御前崎市	1	1,3	22	女	3	13.6	1	4.5																		
湖西市	1	1,4	19	男	1	5.3																				
西部計	14		380	男	22	5.8	6	1.5																		
総計	29		187	男	19	10.2	5	2.7	1	3																
			667	男	40	6.0	9	1.3																		
			331	女	33	10.0	7	2.1	1	4																

施設

区分 市町村名	学校数	実施学年	貧血検査										貧血以外の要受診者と調査表による受診結果													
			受検者数		要注意		要受診		検査		貧血		受診結果		赤系血球値		白血球値		増多症		受診結果		貧血		受診結果	
			人数	性別	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
鳥田市	1	2	5	男	1																					
中部計	1		5	男	1																					
浜松市	1	1,2,3,6	21	男	6	28.6																				
西部計	1		12	男	1	8.3																				
総計	2		26	男	6	23.1																				
			13	女	1	7.7																				

5) 脊柱側彎症検診

〔はじめに〕

脊柱側彎症とは、脊柱（背骨）が左右に曲がっている状態であり、姿勢が悪い事とは根本的に違うものである。早期に発見して適切な治療や経過観察を行うことで重症化を予防できることから、昭和 53 年に学校保健法施行規則の一部が改正され昭和 54 年 4 月より全国規模で検診を実施することとなった。

〔側彎症とは〕

脊柱側彎症の中には、一時的な脊柱（背骨）の曲がり（機能的側彎）と永続的な曲がり（構築性側彎）とがある。

学校保健の中で特に問題になるものは、進行性の構築性側彎症である。これは、進行し悪化すると脊柱の側彎とねじれに伴う胸郭変形のため、体幹の高度変形にとどまらず、肺活量の減少による肺及び心臓への負担から、いろいろな病気を引き起こす原因となる。

構築性側彎症のうち、原因のわからないものが 80～90%あり、これを特発性側彎症という。

この特発性側彎症には、側彎が始まってくる年齢によって三つに区別されている。

(ア) 乳児期側彎症：3 歳以下の乳幼児に発症し、男子に多い。大部分は自然に治るが、急に進行するものがある。

(イ) 学童期側彎症：4 歳から 10 歳（小学 4 年生頃）までに発症し、男女の比率はほぼ同率である。一般に約 8 割が悪化する。

(ウ) 思春期側彎症：小学 5、6 年生頃から思春期に発症するもので、成長が止まるまで進行する。中学生の女子に最も多く（男子の 7 倍）、特発性側彎症の約 80%を占める。自然に治ることはなく、5 割程度が悪化するとされている。

〔検査法〕

(ア) デジタルモアレ法：赤外線 3D センサで体表面の凹凸を等高線画像として表示し、得られた画像を判定する。読影において、主観的な判定になり、側彎症専門医でないと難しい。受診者数が多い検診に適している。

(イ) シルエット法：立位・床から 30cm・20cm・10cm の前屈姿勢を撮影し、専用ソフトから、背面隆起の左右の高低差を求め判定する。客観的な判定ができ、側彎症専門医でなくても読影が可能。受診者数が多い検診に適さない。

当協会では、従来のモアレ法に代わり令和 3 年度よりデジタルモアレ法を導入し、デジタルモアレ法とシルエット法（医師会からの要望がある一部地区のみ実施）の 2 法で検診を実施している。次頁に過去 20 年間の推移をまとめた。

〔まとめ〕

令和 3 年度の小学校・中学校の受診者数は 8,607 人で、昨年度と比べ 568 人増加している。有所見率は、男子においては小学校・中学校ともに上昇している。（小学校 2.5%、中学校 1.8%）女子においては小学校・中学校ともに横ばいである。（小学校 6.3%、中学校 12.0%）

令和 3 年度の高等学校の受診者数は 77 名（女子のみ）で、昨年度と比べ横ばいである。有所見率は、上昇している。（9.1%）

ここ数年、成長期の低年齢化から小学校の女子において重篤な症例が見つかっている。

小学校の検診を行っていない地区もあり、早期発見・治療のために小学校における検診の必要性を感じる。

関係各位におかれては、今後とも油断することなく検診を推進していただく必要がある。

（久保田 絵理子）

表1 過去20年間の推移

年度	性別	小学校			中学校			小・中学校計	総計
		受診者数	有所見者	%	受診者数	有所見者	%		
平成14	男	1,646	25	1.52	2,222	37	1.67	3,868	7,639
	女	1,555	76	4.89	2,216	149	6.72	3,771	
15	男	1,542	25	1.62	2,124	27	1.27	3,666	7,389
	女	1,526	60	3.93	2,197	168	7.65	3,723	
16	男	1,571	27	1.72	2,104	36	1.71	3,675	7,511
	女	1,512	84	5.56	2,324	183	7.87	3,836	
17	男	1,564	18	1.15	1,984	23	1.16	3,548	9,785
	女	1,627	73	4.49	4,610	460	9.98	6,237	
18	男	1,373	29	2.11	2,015	25	1.24	3,388	9,425
	女	1,361	80	5.88	4,676	468	10.01	6,037	
19	男	1,218	21	1.72	2,544	41	1.61	3,762	10,001
	女	1,057	59	5.58	5,182	573	11.06	6,239	
20	男	1,277	37	2.90	2,245	41	1.83	3,522	9,758
	女	1,241	93	7.49	4,995	544	10.89	6,236	
21	男	1,224	27	2.21	2,430	50	2.06	3,654	9,918
	女	1,202	62	5.16	5,062	489	9.66	6,264	
22	男	1,256	32	2.55	2,293	33	1.44	3,549	9,850
	女	1,222	60	4.91	5,079	529	10.42	6,301	
23	男	1,275	21	1.65	2,379	26	1.09	3,654	9,822
	女	1,291	48	3.72	4,877	403	8.26	6,168	
24	男	1,224	35	2.86	2,369	32	1.35	3,593	9,675
	女	1,156	40	3.46	4,926	499	10.13	6,082	
25	男	1,229	27	2.20	2,234	22	0.98	3,463	9,581
	女	1,227	52	4.24	4,891	463	9.47	6,118	
26	男	1,241	9	0.73	2,334	23	0.99	3,575	9,646
	女	1,231	61	4.96	4,840	493	10.19	6,071	
27	男	1,206	18	1.49	2,281	28	1.23	3,487	9,408
	女	1,150	46	4.00	4,771	535	11.21	5,921	
28	男	1,150	10	0.87	2,147	19	0.88	3,297	9,081
	女	1,072	33	3.08	4,712	478	10.14	5,784	
29	男	1,142	29	2.54	2,125	16	0.75	3,267	8,998
	女	1,125	63	5.60	4,606	491	10.66	5,731	
30	男	1,033	18	1.74	2,067	35	1.69	3,100	8,311
	女	979	55	5.62	4,232	515	12.17	5,211	
令和元	男	1,074	12	1.12	2,087	23	1.10	3,161	8,608
	女	1,006	62	6.16	4,441	519	11.69	5,447	
2	男	782	13	1.66	2,039	27	1.32	2,821	8,039
	女	772	49	6.35	4,446	535	12.03	5,218	
3	男	1,173	29	2.47	1,998	36	1.80	3,171	8,607
	女	1,114	70	6.28	4,322	517	11.96	5,436	

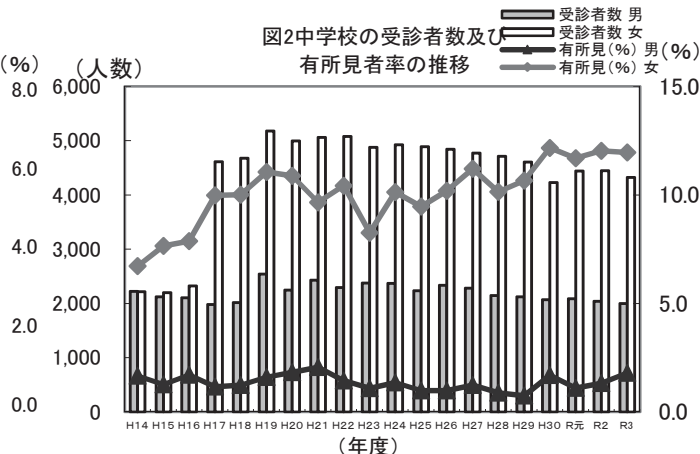
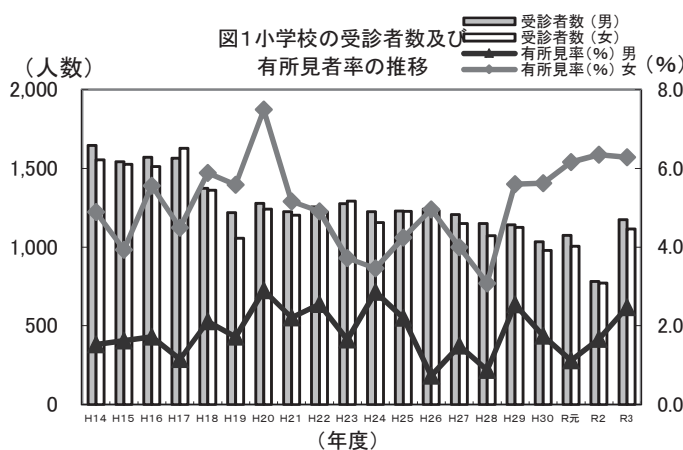


表 2 令和3年度 脊柱側彎症 検診成績表

区分 市町村名	第1次検査(モアレ撮影による)										調査票による精密検査結果										側彎症不明数					
	受診者数					見 者					受診者数					経過観察(10°~20°)						側彎症(21°以上)				
	男	女	計	男	女	%	男	女	計	%	男	女	計	男	女	計	%	男	女	計		%	男	女	計	%
	校数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数		人数	人数	人数	人数	人数
【小学校】																										
伊豆市		0																								
伊豆の国市	6	377	346	723	5	1.33	28	8.09	33	4.56	2	13	15	2	9	11	0		2	0.58	2	0.28	1	0.29		
沼津市	1	35	51	86	3	8.57	4	7.84	7	8.14														1		
沼野市	9	240	213	453	12	5.00	8	3.76	20	4.42	11	8	19	10	6	16	1	0.42	1	0.47	2	0.44	0	0.47		
東部市計	16	652	610	1,262	20	3.07	40	6.56	60	4.75	13	21	34	12	15	27	1	0.15	3	0.49	4	0.32	0	2		
駿東郡清水町	3	261	251	512	7	2.68	20	7.97	27	5.27	6	18	24	2	7	9	2	0.77	7	2.79	9	1.76	0	1		
長泉町	3	238	234	472	2	0.84	10	4.27	12	2.54	1	9	10	1	4	5	0		4	1.71	4	0.85	0	1		
東部市計	6	499	485	984	9	1.80	30	6.19	39	3.96	7	27	34	3	11	14	2	0.40	11	2.27	13	1.32	0	2		
東部市計	22	1,151	1,095	2,246	29	2.52	70	6.39	99	4.41	20	48	68	15	26	41	3	0.26	14	1.28	17	0.76	0	4		
榛原郡川根本町	4	22	19	41	0		0	0	0																	
中部市計	4	22	19	41	0		0	0	0																	
中部市計	16	652	610	1,262	20	3.07	40	6.56	60	4.75	13	21	34	12	15	27	1	0.15	3	0.49	4	0.32	0	2		
郷部市計	10	521	504	1,025	9	1.73	30	5.95	39	3.80	7	27	34	3	11	14	2	0.38	11	2.18	13	1.27	0	2		
小学校合計	26	1,173	1,114	2,287	29	2.47	70	6.28	99	4.33	20	48	68	15	26	41	3	0.26	14	1.26	17	0.74	0	4		
【中学校】																										
沼津市	18	728	718	1,446	13	1.79	48	6.69	61	4.22	11	29	40	7	16	23	3	0.41	11	1.53	14	0.97	0	1		
三島市	7	446	452	898	7	1.57	19	4.20	26	2.90	2	5	7	1	1	2	0		3	0.66	3	0.33	1	0.22		
三野市	6	450	533	983	13	2.89	46	8.63	59	6.00	12	37	49	11	23	34	1	0.22	11	2.06	12	1.22	0	2		
東部市計	31	1,624	1,703	3,327	33	2.03	113	6.64	146	4.39	25	71	96	19	40	59	4	0.25	25	1.47	29	0.87	1	0.06		
駿東郡清水町	2	164	124	288	2	1.22	9	7.26	11	3.82	1	1	2	0	0	0	1	0.61	1	0.81	2	0.69	0	0		
長泉町	2	200	187	387	1	0.50	11	5.88	12	3.10																
東部市計	4	364	311	675	3	0.82	20	6.43	23	3.41	1	1	2	0	0	0	1	0.27	1	0.32	2	0.30	0	0		
東部市計	35	1,988	2,014	4,002	36	1.81	133	6.60	169	4.22	26	72	98	19	40	59	5	0.25	26	1.29	31	0.77	1	0.05		
静岡市	41	0	2,289	2,289	0		383	16.73	383	16.73	0	241	241	0	117	117	0		98	4.28	98	4.28	0	18		
中部市計	41	0	2,289	2,289	0		383	16.73	383	16.73	0	241	241	0	117	117	0		98	4.28	98	4.28	0	18		
榛原郡川根本町	2	10	19	29	0		1	5.26	1	3.45	0	1	1	0	1	1	0		0	0	0	0	0	0		
中部市計	2	10	19	29	0		1	5.26	1	3.45	0	1	1	0	1	1	0		0	0	0	0	0	0		
中部市計	43	10	2,308	2,318	0		384	16.64	384	16.57	0	242	242	0	118	118	0		98	4.25	98	4.23	0	18		
市部市計	72	1,624	3,992	5,616	33	2.03	496	12.42	529	9.42	25	312	337	19	157	176	4	0.25	123	3.08	127	2.26	1	0.06		
郷部市計	6	374	330	704	3	0.80	21	6.36	24	3.41	1	2	3	0	1	1	1	0.27	1	0.30	2	0.28	0	0		
中学校合計	78	1,998	4,322	6,320	36	1.80	517	11.96	553	8.75	26	314	340	19	158	177	5	0.25	124	2.87	129	2.04	1	0.05		
【高等学校】																										
裾野市	1	0	77	77	0		7	9.09	7	9.09	0	5	5	0	0	0	0		4	5.19	4	5.19	0	1		
東部市計	1	0	77	77	0		7	9.09	7	9.09	0	5	5	0	0	0	0		4	5.19	4	5.19	0	1		
高等学校合計	1	0	77	77	0		7	9.09	7	9.09	0	5	5	0	0	0	0		4	5.19	4	5.19	0	1		
総計	105	3,171	5,513	8,684	65	2.05	594	10.77	659	7.59	46	367	413	34	184	218	8	0.25	142	2.56	150	1.73	1	0.03		

※静岡市のみ自動体型撮影器(シルエッター)を使用 () Cobbo角のこと

6) 学校寄生虫卵検査

寄生虫卵の検査は、蟯虫検査と糞便検査を行っている。

蟯虫検査はウスイ式セロファンテープを用い、二日にわたって採卵する二日法で実施している。平成 28 年度より学校保健法の指定がなくなり、受検者数は激減した。令和 3 年度の受検者はいなかった。(表 1)(表 2)

蟯虫は、主に睡眠中に肛門の外に這い出し、その周りに 1 万個もの卵を産むと言われており、その卵が下着や寝具にこぼれ落ち、さらには手から手、手から口へと運ばれ他者へ感染する。そのため、生活を共にする家族、学校などでは感染が拡がりやすいと言われ、集団駆虫が勧められている。

糞便検査は幼保園等を対象にセロファン厚層塗抹法を実施していた。平成 28 年度から検査依頼がなくなっている。(表 3)

寄生虫保有率は年々減少しているが、現在でも輸入野菜や国内産野菜での化学肥料に頼らない栽培や無農薬栽培があるため、今後も十分な注意が必要である。

寄生虫感染症対策には、集団全体での駆除と感染予防に対する衛生教育が重要となってくる。

(倉島 友子)

表 1 寄生虫卵検査成績学校別集計表

蟯虫卵検査（セロファンテープ検肛法【ウスイ式】）

区分 団体名	団体数	受検者数	有卵者数	%	後 検 査		
					団体数	受検者数	有卵者数
幼稚園・保育園	0	0					
小学校	0	0					
中学校	0	0					
特別支援学校	0	0					
施設	0	0					
合計	0	0					

表 2 蟯虫卵検査年次推移 (昭和 50 年度～令和 3 年度)

年度	幼稚園・保育園			小学校			中学校			特別支援学校・施設			計		
	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%
昭和 50	34,774	4,616	13.27	264,790	31,530	11.91	33,607	674	2.01	1,377	88	6.39	334,548	36,908	11.03
51	47,657	6,833	14.34	266,873	31,124	11.66	32,459	613	1.89	1,647	199	12.08	348,636	38,769	11.12
52	61,313	6,461	10.54	316,527	27,702	8.75	40,246	445	1.11	1,838	157	8.54	419,924	34,765	8.28
53	72,123	6,511	9.03	323,640	24,645	7.61	43,060	337	0.78	2,339	156	6.67	441,162	31,649	7.17
54	78,469	6,010	7.66	338,452	21,902	6.47	32,538	182	0.56	2,445	72	2.94	451,904	28,166	6.23
55	82,817	5,163	6.23	323,611	17,846	5.51	32,578	187	0.57	2,931	128	4.37	441,937	23,324	5.28
56	77,365	3,930	5.08	305,833	13,051	4.27	33,053	126	0.38	2,966	127	4.28	419,217	17,234	4.11
57	75,861	3,214	4.24	305,843	11,496	3.76	29,262	90	0.31	2,876	74	2.57	413,842	14,874	3.59
58	72,423	3,157	4.36	308,510	10,877	3.53	36,544	99	0.27	2,975	127	4.27	420,452	14,260	3.39
59	70,002	2,386	3.41	301,290	9,100	3.02	19,542	46	0.24	2,790	86	3.08	393,624	11,618	2.95
60	65,283	2,178	3.34	277,859	8,780	3.16	10,316	22	0.21	3,000	87	2.90	356,458	11,067	3.10
61	64,150	2,073	3.23	256,078	7,877	3.08	8,975	13	0.14	2,892	85	2.94	332,095	10,048	3.03
62	61,937	1,961	3.17	248,015	8,657	3.49	8,328	20	0.24	2,692	75	2.79	320,972	10,713	3.34
63	62,175	2,067	3.32	234,706	6,868	2.93	8,218	12	0.15	2,761	98	3.55	307,860	9,045	2.94
平成元	68,571	1,721	2.51	260,585	6,571	2.52	10,304	18	0.17	2,783	64	2.30	342,243	8,374	2.45
2	67,062	1,454	2.17	259,634	6,318	2.43	7,502	8	0.11	2,753	72	2.62	336,951	7,852	2.33
3	68,046	1,439	2.11	250,600	5,911	2.36	5,022	5	0.10	2,993	76	2.54	326,661	7,431	2.27
4	65,893	1,492	2.26	245,284	6,324	2.58	5,906	9	0.15	2,805	82	2.92	319,888	7,907	2.47
5	63,161	1,095	1.73	235,555	5,141	2.18	4,269	6	0.14	2,740	73	2.66	305,725	6,315	2.07
6	58,709	938	1.60	227,162	4,766	2.10	3,533	2	0.06	3,323	118	3.55	292,727	5,824	1.99
7	56,927	655	1.15	199,110	3,541	1.78	2,951	3	0.10	2,989	70	2.34	261,977	4,269	1.63
8	56,726	634	1.12	181,795	2,541	1.40	2,883	6	0.21	2,462	57	2.32	243,866	3,238	1.33
9	55,521	415	0.75	172,672	2,024	1.17	1,474	1	0.07	2,123	63	2.97	231,790	2,503	1.08
10	59,379	576	0.97	168,641	2,379	1.41	615	0		2,111	60	2.84	230,746	3,015	1.31
11	60,472	464	0.77	161,209	1,673	1.04	639	1	0.16	2,202	49	2.23	224,522	2,187	0.97
12	61,919	327	0.53	156,114	1,300	0.83	12	0		2,364	63	2.66	220,409	1,690	0.77
13	59,472	211	0.35	144,680	1,002	0.69	642	1	0.16	2,290	74	3.23	207,084	1,288	0.62
14	59,836	172	0.29	141,833	848	0.60	583	0		2,446	37	1.51	204,698	1,057	0.52
15	61,974	113	0.18	139,639	592	0.42	12	0		2,415	19	0.79	204,040	724	0.35
16	55,335	81	0.15	112,737	344	0.31	522	0		2,382	15	0.63	171,532	442	0.26
17	51,399	66	0.13	103,023	298	0.29	500	0		2,410	25	1.04	157,332	389	0.25
18	44,996	31	0.07	79,728	215	0.27	7	0		2,254	23	1.02	126,985	269	0.21
19	45,753	26	0.06	79,847	136	0.17				2,252	14	0.62	127,852	176	0.14
20	44,083	23	0.05	80,996	120	0.15				2,337	14	0.60	127,416	157	0.12
21	44,280	17	0.04	96,398	115	0.12				2,323	22	0.95	143,001	154	0.11
22	44,231	13	0.03	94,977	107	0.11				2,012	11	0.55	141,644	131	0.09
23	42,636	14	0.03	93,699	75	0.08				2,035	8	0.39	138,370	97	0.07
24	46,296	8	0.02	71,416	20	0.03				1,811	4	0.22	119,523	32	0.03
25	45,189	5	0.01	68,612	18	0.03				1,973	10	0.51	115,774	33	0.03
26	40,557	4	0.01	65,185	16	0.02				1,835	5	0.27	107,577	25	0.02
27	38,435	9	0.02	65,128	20	0.03				1,668	0		105,231	29	0.03
28	7,872	3	0.04	24,191	12	0.05				325	1	0.31	32,388	16	0.05
29	239	0		5,465	0					21	0		5,725	0	
30	144	0								50	0		194	0	
令和元	147	0								49	0		196	0	
2															
3															

表3 寄生虫卵検査年次推移（昭和50年度～令和3年度 セロファン厚層塗抹法）

年度	幼稚園・保育園			小学校			中学校			高等学校			専門学校			特別支援学校・施設			計		
	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%
昭和50	15,990	108	0.68	121,797	842	0.69	48,950	370	0.76	7,073	93	1.31	0	0	0	1,562	37	2.37	195,372	1,450	0.74
51	13,284	49	0.37	109,094	469	0.43	25,147	169	0.67	6,793	45	0.66	0	0	0	1,773	35	1.97	156,091	767	0.49
52	10,589	50	0.47	66,372	396	0.6	24,374	173	0.71	2,887	25	0.87	0	0	0	1,683	40	2.38	106,176	684	0.64
53	10,442	35	0.34	69,017	254	0.37	18,699	112	0.6	3,139	24	0.76	0	0	0	1,767	31	1.75	103,289	456	0.44
54	7,699	14	0.18	57,323	165	0.29	17,421	67	0.38	582	3	0.52	0	0	0	1,975	39	1.97	85,176	291	0.34
55	7,478	15	0.2	51,500	128	0.25	16,841	42	0.25	1,129	5	0.44	0	0	0	1,951	31	1.59	79,028	221	0.28
56	6,592	11	0.17	51,625	107	0.21	15,962	48	0.3	451	2	0.44	0	0	0	2,282	29	1.27	77,008	197	0.26
57	6,320	8	0.13	39,780	57	0.14	18,329	30	0.16	1,248	2	0.16	0	0	0	2,255	20	0.89	68,010	117	0.17
58	3,838	4	0.1	38,996	58	0.15	10,141	22	0.22	402	2	0.5	0	0	0	2,222	11	0.5	55,710	97	0.17
59	3,108	7	0.23	22,767	19	0.08	8,767	9	0.1	455	1	0.22	0	0	0	1,752	10	0.57	36,993	46	0.12
60	4,734	7	0.15	23,865	38	0.16	12,218	20	0.16	464	4	0.86	0	0	0	1,785	7	0.39	43,203	77	0.18
61	2,819	2	0.07	16,519	21	0.13	6,671	5	0.07	434	1	0.23	0	0	0	1,888	24	1.27	28,487	53	0.19
62	3,088	1	0.03	14,976	6	0.04	6,772	6	0.09	428	0	0	0	0	0	1,419	10	0.7	26,683	23	0.09
63	3,837	0	0	20,953	7	0.03	7,214	16	0.22	0	0	0	0	0	1,225	3	0.24	33,229	26	0.08	
平成元	2,342	2	0.09	13,640	13	0.1	6,204	3	0.05	0	0	0	0	0	1,587	6	0.38	23,773	24	0.1	
2	2,234	1	0.04	7,752	3	0.04	2,635	1	0.04	0	0	0	0	0	1,201	1	0.08	13,822	6	0.04	
3	2,151	0	0	6,315	9	0.14	4,114	8	0.19	0	0	0	0	0	1,319	2	0.15	13,899	19	0.14	
5	1,777	0	0	5,324	5	0.09	1,414	1	0.07	0	0	0	0	0	1,217	1	0.08	9,732	7	0.07	
6	1,628	0	0	4,989	4	0.08	2,028	0	0	0	0	0	0	0	855	0	0	9,500	4	0.04	
7	1,431	0	0	2,445	0	0	567	0	0	0	0	0	0	0	642	2	0.31	5,085	2	0.04	
8	1,356	0	0	2,357	3	0.13	528	2	0.38	0	0	0	0	0	415	0	0	4,656	5	0.11	
9	960	0	0	1,533	0	0	857	10	1.17	0	0	0	0	0	370	0	0	3,720	10	0.27	
10	899	3	0.33	1,412	2	0.14	205	3	1.46	0	0	0	0	0	314	2	0.64	2,830	10	0.35	
11	975	2	0.21	1,157	1	0.09	193	2	1.04	0	0	0	0	0	483	0	0	2,808	5	0.18	
12	1,020	2	0.2	1,013	6	0.59	751	23	3.06	0	0	0	0	0	359	1	0.28	3,143	32	1.02	
13	957	0	0	911	1	0.11	188	0	0	0	0	0	0	0	477	2	0.42	2,533	3	0.12	
14	586	0	0	277	0	0	165	2	1.21	0	0	0	0	0	400	0	0	1,428	2	0.14	
15	888	1	0.11	446	0	0	700	13	1.86	0	0	0	0	0	417	0	0	2,451	14	0.57	
16	893	0	0	379	1	0.26	152	2	1.32	0	0	0	0	0	263	0	0	1,687	3	0.18	
17	689	1	0.15	363	0	0	150	0	0	0	0	0	0	0	198	1	0.51	1,400	2	0.14	
18	675	0	0	292	1	0.34	124	0	0	0	0	0	0	0	234	0	0	1,325	1	0.08	
19	314	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	125	0	0	439	0	0	
20	311	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132	1	0.76	443	1	0.23	
21	344	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	0	0	427	0	0	
22	330	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	365	0	0	
23	356	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	379	0	0	
24	345	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	374	0	0	
25	367	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	404	0	0	
26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	27	0	0	
27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	24	0	0	
28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7) 小児生活習慣病予防健診

〔はじめに〕

わが国は、社会・経済的に大きな発展を遂げ、その食生活や生活環境は豊かで西欧型になってきている。反面、こうした西欧型生活が動脈硬化を中心とした健康障害をもたらすこと、そしてその影響が若い世代に及ぶことが指摘されている。さらにこうした状況に適切に対応することで、健康障害を予防できることも分かっている。

そこで、この生活習慣病予防健診では、危険因子の有無をスクリーニングし、その危険性を本人に自覚させ、食事や運動を中心とした日常生活上の問題点を改善させることにより、若年性の動脈硬化症の発生を予防することを目的として実施している。

〔健診の実施方法〕

対象者全員に「生活習慣予防健診調査票」を配布し、本人の糖尿病の有無、家族歴を調査する。健診では、身長、体重から肥満度を算出、血圧測定、採血による総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロールの測定を行う。その結果から、各健診項目をa、b、c、d、nに5段階判定し（表1、表2）、各項目判定結果の組合せによってI、II、III、IV、Nの5段階総合判定（表3）を行う。

総合判定は、予防医学事業中央会の作成した総合判定に従い、I～Nの5段階の指導区分、コメント（表3）に分類して報告する。

〔健診結果について〕

この健診は、昭和62年より研究調査として始まり、主に小学4年生、中学1年生、高校1年生を対象に行われている。令和3年度は57校3,767人を実施し、昨年度と比べて289人減少した。なお、今年度は高校1年生については実施していない。令和3年度の結果は、以下のとおりであった。

総合判定による指導区分では、小学4年生で要医学的管理（I）2.2%、要経過観察（II）9.1%、要生活指導（III）12.2%となっている。また、中学1年生では要医学的管理（I）2.0%、要経過観察（II）7.4%、要生活指導（III）12.4%

となっている。

つまり、何らかの指導が必要な有所見者は、小学4年生で23.5%、中学1年生で21.8%となる。

項目別にみると、肥満のc区分以上のものは、小学4年生の男子13.3%、女子12.2%、中学1年生の男子14.1%、女子6.4%で、肥満の頻度を学年別にみると、小学生・中学生共に男子が女子を上回っていた。（図1、図2）

また、やせは、小学4年生の男子1.7%、女子2.1%、中学1年生の男子2.2%、女子6.6%であった。

脂質について、c区分以上は、小学4年生の男子10.0%、女子11.9%、中学1年生の男子9.7%、女子15.6%であった。（表9、表11、表13）

血圧について、b区分以上は、小学4年生の男子1.9%、女子1.8%、中学1年生の男子1.0%、女子2.9%であった。（図1、図2）

〔まとめ〕

県内における小児生活習慣病予防健診は、市町の教育委員会の依頼により実施している。この健診の結果、危険因子を持つ子どもたちには食事や運動を軸としたライフスタイルの改善が求められる。その内容を保護者に理解していただき、家庭で実践して子どもたちに反映されることが必須である。子どもたち自身が自分の体の健康について興味と理解を持ち、自分の将来につなげていただけるよう指導を充実させていきたい。

また、例数は少ないが、血圧a区分の子どもたちについては生活習慣の危険因子としてばかりでなく、高血圧をきたす原因疾患の有無についても調べておく必要がある。

（大石 敦美）

表1 項目別判定基準

(平成19年4月1日より)

① 肥満度判定 ※1		④-1 血圧判定 (小学校・男女, 中学校・女子) ※3					
50%以上	a	収縮期圧 (mmHg)	145以上	a			
30~49.9%	b		144~135	b			
20~29.9%	c		134~120	d			
-19.9~19.9%	n		120未満	n			
-20%以上	y ※2	70未満 70~79 80~89 90以上					
		拡張期圧 (mmHg)					
② 血清脂質判定 (総コレステロールとHDLコレステロールによる)		④-2 血圧判定 (中学校・男子, 高校・男女) ※3					
総コレステロール	HDLコレステロール		収縮期圧 (mmHg)	150以上	a		
	40mg/dl以上			149~140	b		
	40mg/dl未満			139~120	d		
	280mg/dl以上	a		a	120未満	n	
	240~279mg/dl	b	a	70未満	70~84	85~94	95以上
	220~239mg/dl	c	b	拡張期圧 (mmHg)			
190~219mg/dl	d	c					
190mg/dl未満	n	d					
③ 血清脂質判定 (LDLコレステロール)		⑤ 家族歴の判定 (調査表による)					
190mg/dl以上	a	所見あり : d (ご家族に生活習慣病の方がみられます)					
160~190mg/dl未満	b	所見なし : n					
140~160mg/dl未満	c	⑥ 糖尿病の判定 (調査表による)					
110~140mg/dl未満	d	所見あり : a (糖尿病です)					
110mg/dl未満	n	所見なし : n					

※1 肥満度の判定は変動の経緯を見ることが大切である。2~3ヶ月の間に肥満度10%以上の増減があった場合は、専門医に相談をすすめる。
 ※2 「肥満」と「やせ」ではその意味合いが異なる。肥満度が-20%を越す「やせ」は、病気が原因のこともあるので、別枠で判定「y」とする。
 ※3 血圧が一定基準を超えた場合に高血圧と判定するため、高血圧 (aおよびb判定) と正常血圧 (dおよびn判定) とする。

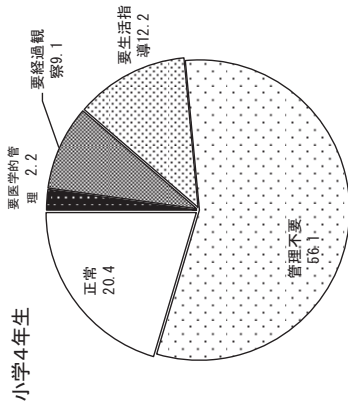
表2 5段階判定・評価内容

判定	判定概念
a	同年齢の基準からかなり大きくかけ離れている状態で病的状態である可能性があるもの
b	同年齢の基準から明らかに乖離しているもので、放置されてその状態が進行すると病的状態に至る危険性があるもの
c	同年齢の基準を超えているものではあるが異常の程度は比較的軽く、指導によって正常化する可能性の高いもの
d	同年齢の基準をやや超えているものの正常範囲とも考えられるもの
n	同年齢の基準域内にあるもの

表3 総合判定と指導区分

総合判定	判定基準	指導区分	指導コメント
I (要医学的管理)	I-1	I	引き続き専門医を受診してください。 専門医に相談してください。
	I-2		
	I-3		
II (要経過観察)	どの項目にも(a)がなく いずれか1項目でも(b)	II	医師や学校の先生、保護者の方などと相談し、バランスのとれた食生活と適度な運動を心がけてください。6ヶ月~1年後には再検査を受けてください。
III (要生活指導)	どの項目にも(a)(b)がなく いずれか1項目でも(c)	III	バランスのとれた食生活と適度な運動を心がけてください。
IV (管理不要)	どの項目にも(a)(b)(c)がなく いずれか1項目でも(d)	IV	今後とも正しい生活習慣を心がけてください。次回健診時にいろいろな検査項目の変化にもよく注意してみましょう。
N (正常)	すべての項目が(n)	N	今回の健診結果では特に異常ありませんでした。現在のよい状態を続けるよう心がけてください。

図1 判定別集計



小学4年生

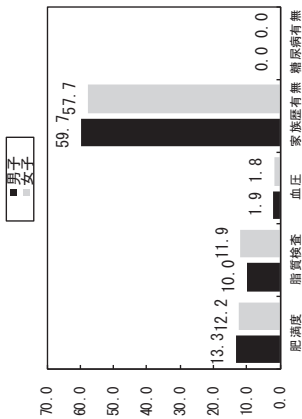
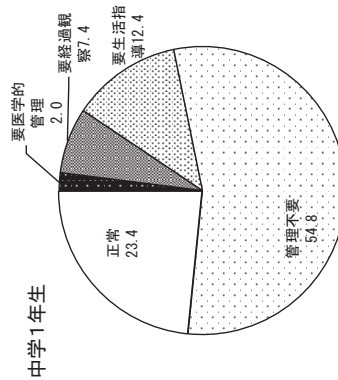
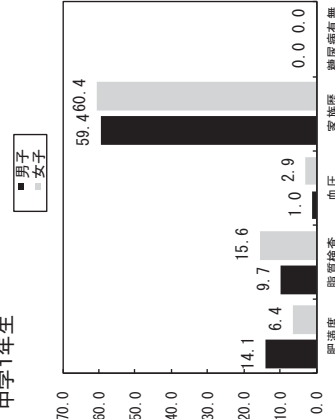


図2 所見別集計



中学1年生



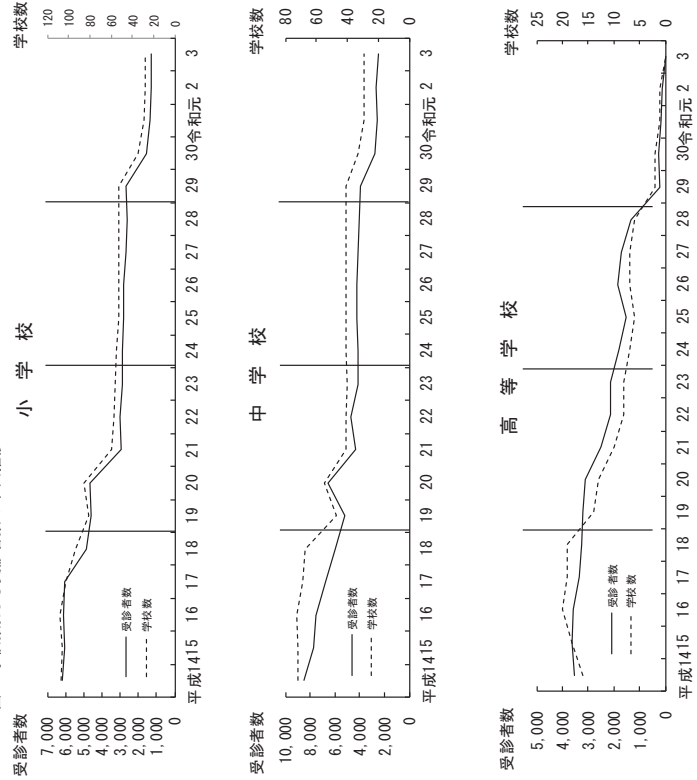
I : 要医学的管理
 II : 要経過観察
 III : 要生活指導
 IV : 管理不要
 N : 正常

小児生活習慣病予防健診実施数の推移

区分	小学校		中学校		高等学校		合計	
	学校数	受診者数	学校数	受診者数	学校数	受診者数	学校数	受診者数
平成14	107	6,188	72	8,480	16	3,528	195	18,196
15	106	6,055	72	7,680	18	3,625	196	17,360
16	108	6,137	73	7,523	20	3,553	201	17,213
17	103	6,072	69	6,719	19	3,354	191	16,145
18	93	4,854	67	5,961	19	3,256	179	14,071
19	81	4,567	47	5,198	14	3,201	142	12,966
20	86	4,674	55	6,597	13	3,092	154	14,363
21	59	2,933	41	4,354	10	2,485	110	9,772
22	57	3,024	41	4,700	8	2,144	106	9,868
23	56	2,905	40	4,155	8	2,115	104	9,175
24	55	2,843	41	4,159	7	1,776	103	8,778
25	53	2,777	41	4,265	6	1,516	100	8,558
26	53	2,787	41	4,187	7	1,852	101	8,539
27	53	2,668	41	4,095	7	1,695	101	8,458
28	53	2,616	41	4,052	6	1,327	100	7,995
29	53	2,652	41	3,919	2	225	96	6,796
30	34	1,559	33	2,724	2	266	69	4,549
令和元	29	1,338	29	2,561	1	153	59	4,052
2	28	1,259	29	2,659	1	134	58	4,052
3	28	1,288	29	2,475	0	0	57	3,763

※特別支援学校を除く

図3 学校数および受診者数の年次推移



受診者数

小学校

受診者数

中学校

受診者数

高等学校

表5 年度別実施市町村

年度	健診実施市町村名
平成14	7市、24町、3村
平成15	7市、24町、3村
平成16	9市、20町、3村
平成17	10市、12町、1村
平成18	10市、7町
平成19	7市、7町
平成20	8市、6町
平成21	8市、4町
平成22	8市、2町
平成23	8市、2町
平成24	8市、2町
平成25	8市、2町
平成26	8市、2町
平成27	8市、2町
平成28	8市、2町
平成29	6市、2町
平成30	4市：富士宮市、伊東市、裾野市、伊豆の国市 2町：川根本町、森町
令和元年	4市：富士宮市、伊東市、裾野市、伊豆の国市 1町：川根本町
令和2	4市：富士宮市、伊東市、裾野市、伊豆の国市 1町：川根本町
令和3	4市：富士宮市、伊東市、裾野市、伊豆の国市 1町：川根本町

表6 学校数と実施人数

区分 市町村名	小学校		中学校		高等学校		合計	
	学校数	実施人数	学校数	実施人数	学校数	実施人数	学校数	実施人数
富士宮市			14	1,227			14	1,227
伊東市	9	347	5	347			14	694
裾野市	9	486	5	449			14	935
伊豆市								
伊豆の国市	6	419	3	421			9	840
川根本町	4	36	2	31			6	67
浜松市								
磐田市								
袋井市								
森町								
合計	28	1,288	29	2,475			57	3,763

※特別支援学校を除く

表7 学年別実施人数

区分 市町村名	小学校				中学校			高等学校		合計
	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	合計		
富士宮市					1,107	93	27	1,227		1,227
伊東市	347			347	347			347		694
裾野市	432	39	15	486	406	36	7	449		935
伊豆市										
伊豆の国市	393	26		419	393	25	3	421		840
川根本町	36			36	28	2	1	31		67
浜松市										
磐田市										
袋井市										
森町										
合計	1,208	65	15	1,288	2,281	156	38	2,475		3,763

※特別支援学校を除く

令和3年度 小児生活習慣病予防健診結果

表8 小学校(全学年)

(1)健診実施数

性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合 計
男				631	35	5	671
女				577	30	10	617
合計				1,208	65	15	1,288

(2)項目別検査実施数

性別	計測(総源度)	血圧測定	総コレステロール	HDLコレステロール	LDLコレステロール	中性脂肪
男	671	671	671	671		
女	617	617	617			
合計	1,288	1,288	1,288			

(3)項目別平均値

性別	身長 cm	体重 kg	肥満度 %	最大血圧 mmHg	最小血圧 mmHg	総コレステロールmg/dl	HDLコレステロールmg/dl	LDLコレステロールmg/dl	中性脂肪mg/dl
男	134.7	32.2	4.1	104.8	60.6	185.2	65.0	184.3	63.3
女	135.5	31.7	3.2	106.2	61.8	184.3			

(4)総合判定結果(指導区分)

性別	I	II	III	IV	N					
男	23	3.4	72	10.7	81	12.1	373	55.6	122	18.2
女	8	1.3	74	12.0	83	13.5	318	51.5	134	21.7
合計	31	2.4	146	11.3	164	12.7	691	53.6	256	19.9

(5)肥満度

性別	a	b	c	d	n					
男	18	2.7	48	7.2	47	7.0	547	81.5	11	1.6
女	4	0.6	39	6.3	50	8.1	512	83.0	12	1.9
合計	22	1.7	87	6.8	97	7.5	1,059	82.2	23	1.8

(6)脂質検査

性別	a	b	c	d	n					
男	1	0.1	24	3.6	52	7.7	217	32.3	377	56.2
女	2	0.3	28	4.5	41	6.6	165	26.7	381	61.8
合計	3	0.2	52	4.0	93	7.2	382	29.7	758	58.9

(7)血圧

性別	a	b	c	d	n			
男	3	0.4	11	1.6	61	9.1	596	88.8
女	1	0.2	12	1.9	69	11.2	535	86.7
合計	4	0.3	23	1.8	130	10.1	1,131	87.8

(8)家族歴

性別	d	n
男	406	60.5
女	354	57.4
合計	760	59.0

(9)糖尿病の有無

性別	a	n
男		67
女		61
合計		1,288

※HDLコレステロールが 100mg/dl 以上 男子：9人 女子：3人

表9 小学校(4年生)

(1)健診実施数

性別	4年生
男	631
女	577
合計	1,208

(2)項目別検査実施数

性別	計測(総源度)	血圧測定	総コレステロール	HDLコレステロール	LDLコレステロール	中性脂肪
男	631	631	631	631		
女	577	577	577			
合計	1,208	1,208	1,208			

(3)項目別平均値

性別	身長 cm	体重 kg	肥満度 %	最大血圧 mmHg	最小血圧 mmHg	総コレステロールmg/dl	HDLコレステロールmg/dl	LDLコレステロールmg/dl	中性脂肪mg/dl
男	134.7	32.2	4.1	104.8	60.5	184.3	65.6	184.3	63.8
女	135.5	31.7	3.2	106.2	61.7	185.4			

(4)総合判定結果(指導区分)

性別	I	II	III	IV	N					
男	19	3.0	53	8.4	71	11.3	368	58.3	120	19.0
女	7	1.2	57	9.9	76	13.2	310	53.7	127	22.0
合計	26	2.2	110	9.1	147	12.2	678	56.1	247	20.4

(5)肥満度

性別	a	b	c	d	n					
男	14	2.2	31	4.9	39	6.2	536	84.9	11	1.7
女	3	0.5	24	4.2	43	7.5	495	85.8	12	2.1
合計	17	1.4	55	4.6	82	6.8	1,031	85.3	23	1.9

(6)脂質検査

性別	a	b	c	d	n					
男	1	0.2	17	2.7	45	7.1	206	32.6	362	57.4
女	2	0.3	26	4.5	41	7.1	159	27.6	349	60.5
合計	3	0.2	43	3.6	86	7.1	365	30.2	711	58.9

(7)血圧

性別	a	b	c	d	n			
男	3	0.5	9	1.4	53	8.4	566	89.7
女	1	0.2	9	1.6	59	10.2	508	88.0
合計	4	0.3	18	1.5	112	9.3	1,074	88.9

(8)家族歴

性別	d	n
男	377	59.7
女	333	57.7
合計	710	58.8

(9)糖尿病の有無

性別	a	n
男		631
女		577
合計		1,208

※HDLコレステロールが 100mg/dl 以上 男子：9人 女子：3人 ※特別支援学校を除く

表10 中学校(全年生)

(1) 健診実施数

性別	1年生	2年生	3年生	合計
男	1,140	88	27	1,255
女	1,141	68	11	1,220
合計	2,281	156	38	2,475

(2) 項目別検査実施数

性別	計測(健康後)	血圧測定	総コレステロール	HDLコレステロール	LDLコレステロール	中性脂肪
男	1,255	1,255	1,255	633	633	
女	1,220	1,220	1,220	594	594	
合計	2,475	2,475	2,475	1,227	1,227	

(3) 項目別平均値

性別	身長 cm	体重 kg	肥満度 %	最大血圧 mmHg	最小血圧 mmHg	総コレステロールmg/dl	HDLコレステロールmg/dl	LDLコレステロールmg/dl	中性脂肪mg/dl
男	155.9	48.3	5.2	109.8	61.3	171.2	58.2	87.9	87.9
女	152.7	45.0	-2.1	108.6	63.4	183.7	63.0	96.6	96.6

(4) 総合判定結果(標準区分)

性別	I			II			III			IV			N		
	人	%		人	%		人	%		人	%		人	%	
男	49	3.9	13	10.4	156	12.4	620	49.4	299	23.8					
女	27	2.2	115	9.4	104	13.4	669	54.8	246	20.1					
合計	76	3.1	246	9.9	320	12.9	1,289	52.1	544	22.0					

(5) 肥満度

性別	a	b	c	d	y					
	人	%	人	%	人					
男	47	3.7	100	8.0	94	7.5	988	78.7	26	2.1
女	10	0.8	44	3.6	48	3.9	1,042	85.4	76	6.2
合計	57	2.3	144	5.8	142	5.7	2,030	82.0	102	4.1

(6) 脂質検査

性別	a	b	c	d	n					
	人	%	人	%	人					
男	3	0.2	31	2.5	109	8.7	205	16.3	907	72.3
女	12	1.0	46	3.8	146	12.0	268	22.0	748	61.3
合計	15	0.6	77	3.1	255	10.3	473	19.1	1,655	66.9

(7) 血圧

性別	a	b	d	n				
	人	%	人	%				
男	1	0.1	24	1.9	186	14.8	1,044	83.2
女	2	0.2	38	3.1	166	13.6	1,014	83.1
合計	3	0.1	62	2.5	352	14.2	2,058	83.2

(8) 家族歴

性別	d	n		
	人	%		
男	762	60.7	493	39.3
女	745	61.1	475	38.9
合計	1,507	60.9	968	39.1

(9) 糖尿病の有無

性別	a	n		
	人	%		
男	0	0.0	1,255	100.0
女	1	0.1	1,219	99.9
合計	1	0.04	2,474	99.96

※HDLコレステロールが 100mg/dl 以上 男子：4人 女子：5人

表11 中学校(1年生)

(1) 健診実施数

性別	1年生
男	1,140
女	1,141
合計	2,281

(2) 項目別検査実施数

性別	計測(健康後)	血圧測定	総コレステロール	HDLコレステロール	LDLコレステロール	中性脂肪
男	1,140	1,140	1,140	563	563	
女	1,141	1,141	1,141	544	544	
合計	2,281	2,281	2,281	1,107	1,107	

(3) 項目別平均値

性別	身長 cm	体重 kg	肥満度 %	最大血圧 mmHg	最小血圧 mmHg	総コレステロールmg/dl	HDLコレステロールmg/dl	LDLコレステロールmg/dl	中性脂肪mg/dl
男	155.1	46.2	2.6	108.8	60.8	169.8	59.0	86.3	86.3
女	152.6	44.3	-3.2	108.3	63.3	183.1	63.2	95.6	95.6

(4) 総合判定結果(標準区分)

性別	I			II			III			IV			N		
	人	%		人	%		人	%		人	%		人	%	
男	27	2.4	87	7.6	129	11.3	604	53.0	293	25.7					
女	19	1.7	82	7.2	153	13.4	645	56.5	242	21.2					
合計	46	2.0	169	7.4	282	12.4	1,249	54.8	535	23.5					

(5) 肥満度

性別	a	b	c	d	y					
	人	%	人	%	人					
男	25	2.2	65	5.7	71	6.2	954	83.7	25	2.2
女	6	0.5	26	2.3	41	3.6	993	87.0	75	6.6
合計	31	1.4	91	4.0	112	4.9	1,947	85.4	100	4.4

(6) 脂質検査

性別	a	b	c	d	n					
	人	%	人	%	人					
男	1	0.1	21	1.8	89	7.8	184	16.1	845	74.1
女	9	0.8	33	2.9	136	11.9	250	21.9	713	62.5
合計	10	0.4	54	2.4	225	9.9	434	19.0	1,558	68.3

(7) 血圧

性別	a	b	d	n				
	人	%	人	%				
男	1	0.1	10	0.9	151	13.2	978	85.8
女	2	0.2	31	2.7	151	13.2	957	83.9
合計	3	0.1	41	1.8	302	13.2	1,935	84.8

(9) 糖尿病の有無

性別	a	n		
	人	%		
男	0	0.0	1,140	100.0
女	0	0.0	1,141	100.0
合計	0	0.0	2,281	100.0

※HDLコレステロールが 100mg/dl 以上 男子：4人 女子：5人

※特別支援学校を除く

第二章 検査・健(検)診事業

2. 地域・職域保健

- 1) 一般健康診断及び生活習慣病健診
- 2) 特殊健康診断
- 3) ストレスチェック
- 4) 喀痰細胞診による肺がん検診
- 5) 婦人科細胞診による子宮頸がん検診
- 6) 血液型検査
- 7) 細菌検査
- 8) 寄生虫卵検査
- 9) 住民健診
- 10) 特定健康診査・特定保健指導
- 11) ワクチン接種

1) 一般健康診断及び生活習慣病健診

表1 労働基準監督署別実施人数.....62
図1 受診者数の推移.....62
表2 基本健診項目実施数.....62
表3 判定別集計.....63
図2 各判定別有所見率.....64
表4 労働基準監督署別判定集計.....65

2) 特殊健康診断

表1-1 代謝物分布表・検査結果.....66
表1-2 代謝物の検査分布表.....66
表1-3 鉛分布表・検査結果.....66
表2 特殊健康診断成績表(労働基準監督署別).....67

3) ストレスチェック

表1 令和3年度契約区分別受診団体.....69
表2 令和3年度男女年代別高ストレス者割合.....69
表3 令和3年度業種別高ストレス者割合.....69

4) 喀痰細胞診による肺がん検診

表1 集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分.....70
表2 令和3年度喀痰細胞診検査成績.....70
表3 年度別 地域における喀痰細胞診成績.....70
表4 年度別 職域における喀痰細胞診成績.....70

5) 婦人科細胞診による子宮頸がん検診

表1 ベセスダシステムに基づく細胞診分類.....71
表2 地域健診結果.....71
表3 職域健診結果.....72
表4 精密検査結果.....72
表5 年齢階層別結果.....72

6) 血液型検査

表1 団体別実数と型別分類.....73
表2 過去の受検者数の推移.....73

7) 細菌検査

表1 腸内細菌(サルモネラ・赤痢菌)等団体別検査概要.....74
表2 腸管出血性大腸菌O157団体別検査概要.....74
表3 食品検査概要.....74

8) 寄生虫卵検査

表1 寄生虫卵検査成績集計表(セロファン厚層塗抹法).....75
表2 蟯虫卵検査成績表(セロファンテープ検肛法【ウスイ式】).....75

9) 住民健診

表1 各検診の対象者.....77
表2 A市、B市のプロセス指標数値.....77
表3 特定健診判定(A市).....78
表4 特定健診判定(B市).....82

10) 特定健診・特定保健指導

表1 令和3年度特定健康診査・メタボリックシンドローム判定結果.....88
表2 令和3年度特定健康診査・階層化結果.....88
表3-1 初回面接実施者特定保健指導支援別実施状況.....88
表3-2 初回分割面接実施者特定保健指導支援別実施状況.....88
表4 健診時と支援終了時の体重の変化.....89
表5 健診時と支援終了時の腹囲の変化.....89

11) ワクチン接種

表1 ワクチン接種 種類・拠点別 集計表.....90

1) 一般健康診断及び生活習慣病健診

[一般健康診断]

令和3年度に実施した一般健康診断では、受診者数は195,435人で昨年度に比べ1,070人(0.5%)増加した。受診者数を労働基準監督署管内別に見ると、浜松管内の1,460人の増加が最高となった。(表1)

総合判定における有所見率は70.4%であり、昨年度に比べ0.8%の増加となった。

検査項目別では、例年、脂質系が最も有所見率が高く、男性52.6%、女性47.4%、合計50.4%であり、昨年度に比べ0.4%の減少となった。

他の検査項目については、有所見率が昨年度と比べ、胸部で2.8%、消火器で1.5%、腎機能で1.8%増加し、肝機能で0.9%、尿酸で1.2%減少した。(表3)

表4には、労働基準監督署管内別の判定集計を示した。

[生活習慣病健診]

生活習慣病は、一次健診のみに留まらず、アフターフォローとして二次検査、精密検査の充実及び管理栄養士による栄養指導、運動指導士による運動指導を積極的に取り入れて実施していく必要がある。

令和3年度の受診者数は、昨年度に比べ腎機能(潜血)で2,547人、糖尿病(HbA1c)で4,878人、血液一般(白血球系)で2,762人増加し、聴力(会話)で1,224人、その他(LAP)で630人減少した。

有所見率では、腎機能(クレアチン)で2.4%、心電図検査1.8%、胸部X線で2.8%増加し、脂質(LDL-コレステロール)で1.2%、尿酸で1.2%減少した。(表2)

[今後の課題]

一般健康診断における有所見者の多くは脂質異常症によるものであり、原因はLDLコレステロール、中性脂肪が高値を示したことであった。

ここ数年同じ傾向で推移していることから、関連資料や学会の動向を意識していく必要があるが、近年実施機会が増加している保健指導の効果にも期待が寄せられる。

また、健診機関としては一次健診から生活改善指導を含めた流れの構築が求められており、健診内容の充実、ハード面の整備、職員の人材育成・確保が必要となる。

(松下 一機)

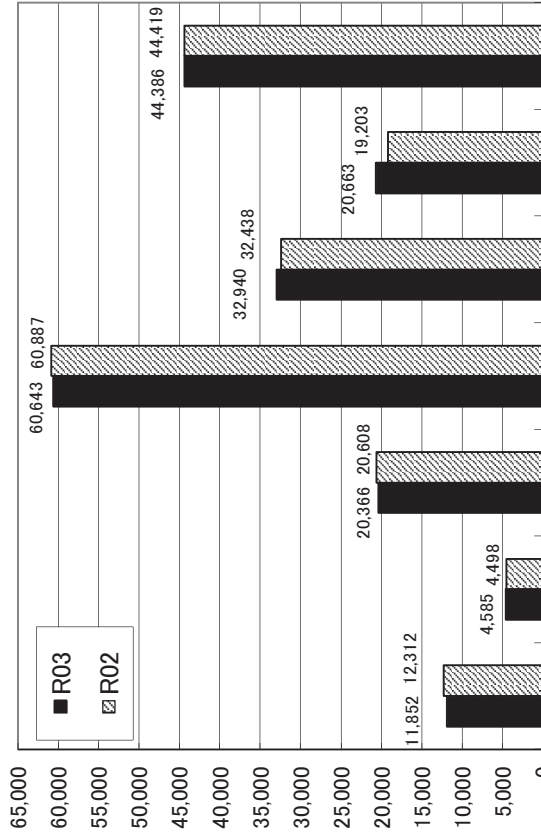
表2 基本健診項目実施数

	受診者数		有 所 見 者		計
	男性	女性	男性	女性	
身体計測	94,139	66,588	42,534	22,216	64,750
腹囲	70,346	49,124	28,725	5,765	34,490
視力	41,974	23,931	-	-	-
裸眼矯正	43,998	32,463	-	-	-
1000Hz聴力	64,914	41,815	2,124	1,206	3,330
4000Hz聴力	64,914	41,815	6,136	916	7,052
会話	22,490	11,141	4	2	6
血圧	94,568	66,493	14,886	6,637	21,523
潜在蛋白	63,746	48,419	1,422	3,650	5,072
尿糖	94,584	66,256	2,120	916	3,036
HbA1c	14,611	5,166	290	118	408
赤血球系	59,036	43,544	6,863	6,324	13,187
白血球系	67,963	48,256	8,510	5,320	13,830
AST	75,208	56,701	7,216	2,124	9,340
ALT	75,683	57,341	14,666	2,899	17,565
γ-GT	74,826	56,147	11,880	2,349	14,229
LDLコレステロール	75,210	56,338	25,459	17,161	42,620
中性脂肪	74,856	55,921	14,113	4,802	18,915
HDLコレステロール	74,782	56,001	5,972	80	11,297
尿酸	56,188	37,817	15,284	1057	16,341
胃部X線	17,665	9,982	2,754	1,945	4,699
便潜血	38,743	31,230	2,598	1,770	4,368
胸部X線	77,949	59,997	11,068	14,2	18,881
LAP	155	66	16	3	19
T-Bil	10,431	10,672	753	336	1,089
ZTT	0	0	0	0	0

表1 労働基準監督署別実施人数

労働基準監督署名	令和3年度		令和2年度		対前年度比	
	事業所数	受診者数	事業所数	受診者数	増減数(団体数)	増減率(%)
沼津	92	11,852	105	12,312	-13	-3.7
三島	70	4,585	67	4,498	3	1.9
富士	108	20,366	105	20,608	3	-1.2
静岡	1,861	60,643	1,865	60,887	-4	-0.4
島田	1,280	32,940	1,246	32,438	34	1.5
浜松	440	20,663	420	19,203	20	7.6
磐田	464	44,386	450	44,419	14	-0.1
計	4,315	195,435	4,258	194,365	57	0.6

図1 受診者数の推移



沼津 三島 富士 静岡 島田 浜松 磐田

表3 判定別集計

検査項目	性	合計		異常なし a		心配なし b		要経過観察 c		要再検査 d		要精密検査 e		要受診 f		要治療継続 g		異常なし (a+b)		有所見 (c+d+e+f+g)	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
総合判定	男性	102,992	20.6	4,687	4.6	32,175	31.2	2,635	2.6	6,205	6.0	26,719	25.9	9,329	9.1	25,929	25.2	77,063	74.8		
	女性	84,369	24.7	8,744	10.4	26,567	31.5	1,224	1.5	4,864	5.8	15,715	18.6	6,394	7.6	29,605	35.1	54,764	64.9		
	計	187,361	22.5	13,431	7.2	58,742	31.4	3,859	2.1	11,069	5.9	42,434	22.6	15,723	8.4	55,534	29.6	131,827	70.4		
聴力	男性	87,268	89.2	0	0.0	9,218	10.6	0	0.0	3	0.0	186	0.2	0	0.0	77,861	89.2	9,407	10.8		
	女性	52,898	95.5	0	0.0	2,322	4.4	0	0.0	0	0.0	58	0.1	0	0.0	50,518	95.5	2,380	4.5		
	計	140,166	91.6	0	0.0	11,540	8.2	0	0.0	3	0.0	244	0.2	0	0.0	128,379	91.6	11,787	8.4		
胸部	男性	77,949	84.6	913	1.2	9,433	12.1	47	0.1	1,336	1.7	165	0.2	87	0.1	66,881	85.8	11,068	14.2		
	女性	59,997	85.5	868	1.4	6,666	11.1	38	0.1	1,007	1.7	37	0.1	65	0.1	52,184	87.0	7,813	13.0		
	計	137,946	85.0	1,781	1.3	16,099	11.7	85	0.1	2,343	1.7	202	0.1	152	0.1	119,065	86.3	18,881	13.7		
循環器	男性	95,296	54.0	14,221	14.9	6,845	7.2	3,379	3.5	1,320	1.4	5,103	5.4	10,416	10.9	68,233	71.6	27,063	28.4		
	女性	67,952	63.8	10,621	15.6	5,263	7.7	1,243	1.8	538	0.8	2,089	3.1	4,867	7.2	53,952	79.4	14,000	20.6		
	計	163,248	59.6	24,842	15.2	12,108	7.4	4,622	2.8	1,858	1.1	7,192	4.4	15,283	9.4	122,185	74.8	41,063	25.2		
消化器	男性	42,561	78.8	1,504	3.5	4,137	9.7	3	0.0	2,887	6.8	485	1.1	10	0.0	35,039	82.3	7,522	17.7		
	女性	33,390	81.1	1,619	4.8	2,515	7.5	2	0.0	1,721	5.2	442	1.3	5	0.0	28,705	86.0	4,685	14.0		
	計	75,951	79.8	3,123	4.1	6,652	8.8	5	0.0	4,608	6.1	927	2.7	15	0.0	63,744	83.9	12,207	16.1		
貧血	男性	75,893	84.1	4,130	5.4	5,597	7.4	1	0.0	114	0.2	2,199	2.9	56	0.1	67,926	89.5	7,967	10.5		
	女性	56,462	75.6	2,243	4.0	8,032	14.2	0	0.0	19	0.0	2,952	5.2	543	1.0	44,916	79.6	11,546	20.4		
	計	132,355	80.4	6,373	4.8	13,629	10.3	1	0.0	133	0.1	5,151	3.9	599	0.5	112,842	85.3	19,513	14.7		
白血球	男性	60,214	93.0	876	1.5	1,942	3.2	0	0.0	65	0.1	1,313	2.2	0	0.0	56,894	94.5	3,320	5.5		
	女性	45,135	92.7	461	1.0	1,827	4.0	0	0.0	79	0.2	924	2.0	0	0.0	42,305	93.7	2,830	6.3		
	計	105,349	92.9	1,337	1.3	3,769	3.6	0	0.0	144	0.1	2,237	2.1	0	0.0	99,199	94.2	6,150	5.8		
肝機能	男性	76,566	65.9	2,192	2.9	12,567	16.4	7	0.0	3,080	4.0	8,295	10.8	0	0.0	52,617	68.7	23,949	31.3		
	女性	58,721	82.3	1,767	3.0	5,014	8.5	0	0.0	633	1.1	2,961	5.0	0	0.0	50,113	85.3	8,608	14.7		
	計	135,287	73.0	3,959	2.9	17,581	13.0	7	0.0	3,713	2.7	11,256	8.3	0	0.0	102,730	75.9	32,557	24.1		
脂質	男性	75,337	40.7	5,072	6.7	22,057	29.3	12	0.0	453	0.6	10,936	14.5	6,142	8.2	35,737	47.4	39,600	52.6		
	女性	56,675	42.6	5,668	10.0	14,060	24.8	1	0.0	276	0.5	7,786	13.7	4,747	8.4	29,805	52.6	26,870	47.4		
	計	132,012	41.5	10,740	8.1	36,117	27.4	13	0.0	729	0.6	18,722	14.2	10,889	8.2	65,542	49.6	66,470	50.4		
糖	男性	95,116	76.8	9,422	9.9	5,442	5.7	288	0.3	884	0.9	2,490	2.6	3,510	3.7	82,502	86.7	12,614	13.3		
	女性	67,863	80.7	6,566	9.7	3,909	5.8	68	0.1	282	0.4	1,109	1.6	1,164	1.7	61,331	90.4	6,532	9.6		
	計	162,979	78.4	15,988	9.8	9,351	5.7	356	0.2	1,166	0.7	3,599	2.2	4,674	2.9	143,833	88.3	19,146	11.7		
腎機能	男性	95,098	86.4	696	0.7	8,964	9.4	984	1.0	1035	1.1	1022	1.1	220	0.2	82,873	87.1	12,225	12.9		
	女性	67,759	82.0	889	1.3	7,904	11.7	803	1.2	1,687	2.5	810	1.2	72	0.1	56,483	83.4	11,276	16.6		
	計	162,857	84.6	1,585	1.0	16,868	10.4	1,787	1.1	2,722	1.7	1832	1.1	292	0.2	139,356	85.6	23,501	14.4		
尿酸	男性	56,188	71.7	613	1.1	9,797	17.4	1	0.0	113	0.2	5,373	9.6	0	0.0	40,904	72.8	15,284	27.2		
	女性	37,817	94.3	1,085	2.9	750	2.0	0	0.0	1	0.0	306	0.8	0	0.0	36,760	97.2	1057	2.8		
	計	94,005	80.8	1,698	1.8	10,547	11.2	1	0.0	114	0.1	5,679	6.0	0	0.0	77,664	82.6	16,341	17.4		

図2 各判定別有所見率

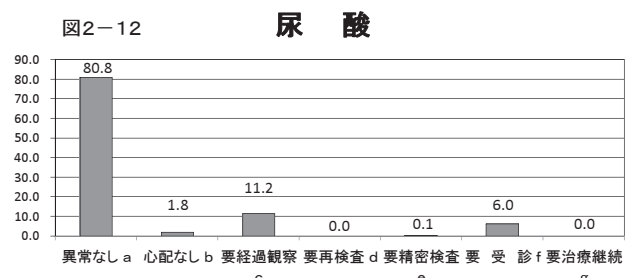
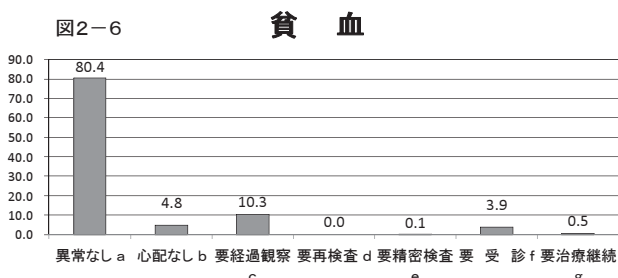
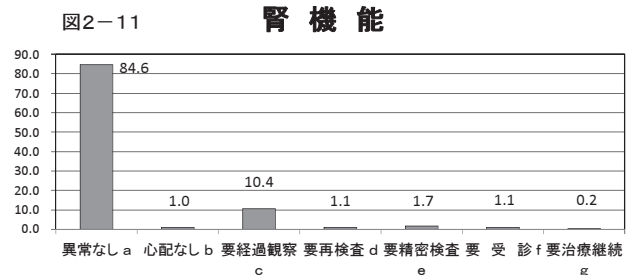
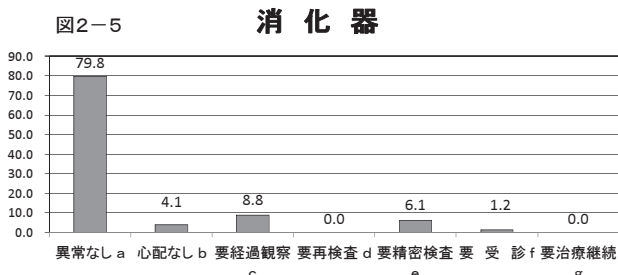
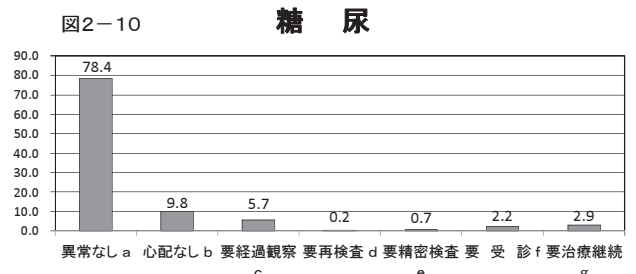
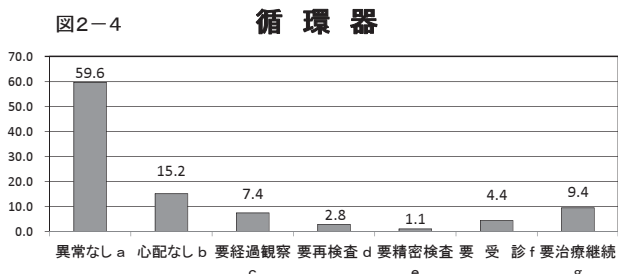
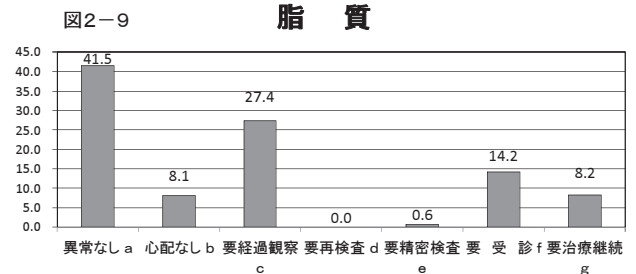
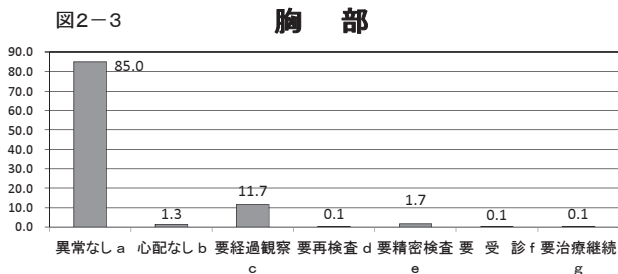
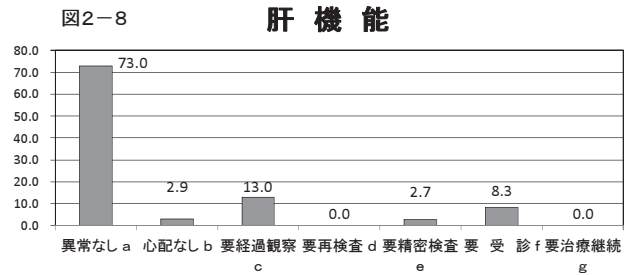
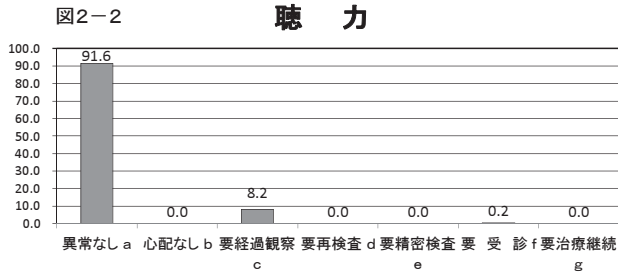
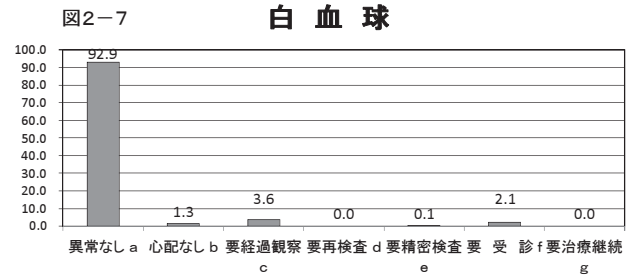
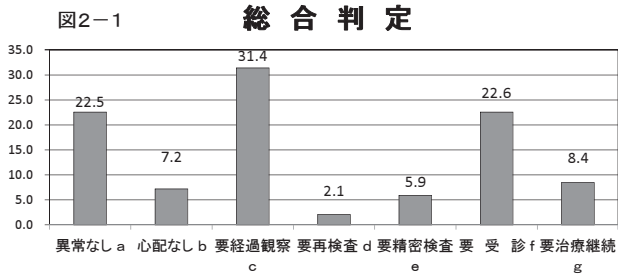


表4 労働基準監督署別判定集計

労働基準監督署名	性	合計	異常なし a		心配なし b		要経過観察 c		要再検査 d		要精密検査 e		要受診 f		要治療継続 g		異常なし (a+b)		有所見 (c+d+e+f+g)	
			人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
沼津	男性	5,835	1,101	18.9	191	3.3	1,725	29.6	158	2.7	129	2.2	1,798	30.8	733	12.6	1,292	22.1	4,543	77.9
	女性	6,017	1,436	23.9	507	8.4	2,145	35.6	103	1.7	212	3.5	1,067	17.7	547	9.1	1,943	32.3	4,074	67.7
	計	11,852	2,537	21.4	698	5.9	3,870	32.7	261	2.2	341	2.9	2,865	24.2	1,280	10.8	3,235	27.3	8,617	72.7
三島	男性	2,160	142	6.6	89	4.1	618	28.6	49	2.3	111	5.1	774	35.8	377	17.5	231	10.7	1,929	89.3
	女性	2,425	291	12.0	278	11.5	714	29.4	60	2.5	176	7.3	539	22.2	367	15.1	569	23.5	1,856	76.5
	計	4,585	433	9.4	367	8.0	1,332	29.1	109	2.4	287	6.3	1,313	28.6	744	16.2	800	17.4	3,785	82.6
富士	男性	13,356	1,765	13.2	412	3.1	4,253	31.8	579	4.3	586	4.4	4,090	30.6	1,671	12.5	2,177	16.3	11,179	83.7
	女性	7,010	963	13.7	1,225	17.5	2,533	36.1	108	1.5	312	4.5	1,121	16.0	748	10.7	2,188	31.2	4,822	68.8
	計	20,366	2,728	13.4	1,637	8.0	6,786	33.3	687	3.4	898	4.4	5,211	25.6	2,419	11.9	4,365	21.4	16,001	78.6
静岡	男性	31,478	6,174	19.6	1,743	5.5	11,341	36.0	598	1.9	2,385	7.6	6,625	21.0	2,612	8.3	7,917	25.2	23,561	74.8
	女性	21,402	5,360	25.0	1,848	8.6	7,358	34.4	349	1.6	1,255	5.9	3,804	17.8	1,428	6.7	7,208	33.7	14,194	66.3
	計	52,880	11,534	21.8	3,591	6.8	18,699	35.4	947	1.8	3,640	6.9	10,429	19.7	4,040	7.6	15,125	28.6	37,755	71.4
島田	男性	20,783	2,831	13.6	1,072	5.2	6,560	31.6	585	2.8	1,348	6.5	6,360	30.6	2,027	9.8	3,903	18.8	16,880	81.2
	女性	12,157	2,060	16.9	992	8.2	4,379	36.0	216	1.8	847	7.0	2,629	21.6	1,034	8.5	3,052	25.1	9,105	74.9
	計	32,940	4,891	14.8	2,064	6.3	10,939	33.2	801	2.4	2,195	6.7	8,989	27.3	3,061	9.3	6,955	21.1	25,985	78.9
浜松	男性	9,536	3,088	32.4	320	3.4	2,407	25.2	162	1.7	496	5.2	2,547	26.7	516	5.4	3,408	35.7	6,128	64.3
	女性	11,127	3,225	29.0	561	5.0	3,057	27.5	148	1.3	620	5.6	2,856	25.7	660	5.9	3,786	34.0	7,341	66.0
	計	20,663	6,313	30.6	881	4.3	5,464	26.4	310	1.5	1,116	5.4	5,403	26.1	1,176	5.7	7,194	34.8	13,469	65.2
磐田	男性	19,865	6,141	30.9	863	4.3	5,278	26.6	504	2.5	1,157	5.8	4,525	22.8	1,397	7.0	7,004	35.3	12,861	64.7
	女性	24,521	7,542	30.8	3,398	13.9	6,465	26.4	244	1.0	1,516	6.2	3,699	15.1	1,657	6.8	10,940	44.6	13,581	55.4
	計	44,386	13,683	30.8	4,261	9.6	11,743	26.5	748	1.7	2,673	6.0	8,224	18.5	3,054	6.9	17,944	40.4	26,442	59.6
合計	男性	103,013	21,242	20.6	4,690	4.6	32,182	31.2	2,635	2.6	6,212	6.0	26,719	25.9	9,333	9.1	25,932	25.2	77,081	74.8
	女性	84,659	20,877	24.7	8,809	10.4	26,651	31.5	1,228	1.5	4,938	5.8	15,715	18.6	6,441	7.6	29,686	35.1	54,973	64.9
	計	187,672	42,119	22.4	13,499	7.2	58,833	31.3	3,863	2.1	11,150	5.9	42,434	22.6	15,774	8.4	55,618	29.6	132,054	70.4

注：判定評価は、表3判定別集計の総合判定を推計しております。

2) 特殊健康診断

特殊健康診断には、実施が義務づけられているじん肺健康診断および有害業務従事者に対する健診（有機溶剤・電離放射線・特定化学物質・鉛・石綿・高気圧）と、指導勧奨による健康診断（騒音・腰痛・情報機器作業・振動）などに分けることができる。

令和3年度に当協会で特殊健康診断を実施した団体数は、昨年度に比べ380団体増加し2,803団体であった。

実施が義務づけられている特殊健診総受診者は22,853人で、昨年度に比べ3,196人（16.3%）増加し、通達により実施の特殊健診総受診者は22,929人で、昨年度に比べ1,090人（4.5%）減少

した。総受診者数においては、昨年度の43,676人から2,106人（4.8%）増加して45,782人となった。

また各健診受診者を比較すると、電離放射線（0.5%）、じん肺（84.8%）、特定化学物質（30.5%）が増加し、有機溶剤（3.0%）、鉛（22.2%）、情報機器作業（20.5%）、頸肩腕（13.2%）、腰痛（0.9%）、振動（21.8%）、その他（0.7%）が減少した。

じん肺健診は84.8%増加したが、これは3年以内毎に1回実施のため、当該年度が増加したと考える。また、特定化学物質の増加は法改正により溶接ヒュームが追加になったためと考える。
(築山 恒貴)

表1-1 代謝物分布表・検査結果

有機溶剤・特定化学物質名	検査項目	分布区分1	分布区分2	分布区分3	総計
トルエン	尿中馬尿酸	2,533	102	16	2,651
キシレン	尿中メチル馬尿酸	2,081	2	0	2,083
フェルバソベン	尿中マンデル酸	621	2	0	623
テトラクロロエチレン	尿中トリクロロ酢酸				
	尿中総三塩化物	22	0	0	22
1・1・1 トリクロロエタン	尿中トリクロロ酢酸				
	尿中総三塩化物	45	0	0	45
トリクロロエチレン	尿中トリクロロ酢酸				
	尿中総三塩化物	14	0	0	14
NNジメチルホルムアミド	尿中N-メチルホルムアミド	513	6	1	520
ノルマルヘキサン	尿中2.5-ヘキサンジオン	1,501	3	0	1,504
スチレン (2020_7月法改正後)	尿中のマンデル酸及びフェニルグリコシル酸の総量	分布報告はありません			239

表1-2 代謝物の検査分布表

有機特化コード	有機溶剤の名称	検査内容コード	検査内容	単位	分布		
					1	2	3
11	キシレン	1	尿中メチル馬尿酸	g / L	0.5 以下	0.5 超 ~ 1.5 以下	1.5 超
30	NNジメチルホルムアミド	1	尿中N-メチルホルムアミド	mg / L	10 以下	10 超 ~ 40 以下	40 超
31・242	スチレン・フェルバソベン	1	尿中マンデル酸	g / L	0.3 以下	0.3 超 ~ 1 以下	1 超
253	テトラクロロエチレン	1	尿中トリクロロ酢酸	mg / L	3 以下	3 超 ~ 10 以下	10 超
		2	尿中総三塩化物	mg / L	3 以下	3 超 ~ 10 以下	10 超
35	1・1・1 トリクロロエタン	1	尿中トリクロロ酢酸	mg / L	3 以下	3 超 ~ 10 以下	10 超
		2	尿中総三塩化物	mg / L	10 以下	10 超 ~ 40 以下	40 超
254	トリクロロエチレン	1	尿中トリクロロ酢酸	mg / L	30 以下	30 超 ~ 100 以下	100 超
		2	尿中総三塩化物	mg / L	100 以下	100 超 ~ 300 以下	300 超
37	トルエン	1	尿中馬尿酸	g / L	1 以下	1 超 ~ 2.5 以下	2.5 超
39	ノルマルヘキサン	1	尿中2.5-ヘキサンジオン	mg / L	2 以下	2 超 ~ 5 以下	5 超
251	スチレン	1	尿中のマンデル酸及びフェニルグリコシル酸の総量	g / L	基準値 0.43 以下		

表1-3 鉛分布表・検査結果

検査内容	単位	分布			健診結果			
		1	2	3	分布1	分布2	分布3	計
血液中の鉛の量	μg / 100ml	20 以下	20 超 40 以下	40 超	334	0	0	334
尿中のデルタアミノレブリン酸の量	mg / l	5 以下	5 超 10 以下	10 超	334	0	0	334

表2 特殊健康診断成績表(労働基準監督署別)

区分	性別	有機溶剤			鉛			電離放射線			じん肺			特定化学物質			情報機器作業			腰痛			運動病			その他							
		事業所数	受検者数	有所見者数	事業所数	受検者数	有所見者数	事業所数	受検者数	有所見者数	事業所数	受検者数	有所見者数	事業所数	受検者数	有所見者数	事業所数	受検者数	有所見者数	事業所数	受検者数	有所見者数	事業所数	受検者数	有所見者数	事業所数	受検者数	有所見者数					
沼津	男	454	16	3.5	6	0	0.0	1027	148	14.4	184	1	0.5	1302	70	5.4	78	3	3.8	83	51	61.4	1688	202	12.0	51	53	9	17.0	12.0	騒音1200 有害光線361 レーザー光線3		
	女	81	8	9.9	4	0	0.0	358	126	35.2	1	0	0.0	25	2	8.0	93	7	7.5	708	411	58.1	5	53	9	17.0	1741	211	12.1	騒音177 有害光線361 レーザー光線3			
	計	535	24	4.5	6	0	0.0	1385	274	19.8	185	1	0.5	1327	72	5.4	171	10	5.8	791	462	58.4	0	106	62	5.8	3368	582	17.3				
三島	男																29	0	0.0	23	11	47.8											
	女	0								0							20	0	0.0	27	10	37.0	0										
	計									0							49	0	0.0	50	21	42.0											
富士	男	344	14	4.1				67	10	14.9	746	3	0.4	1054	26	2.5	114	17	14.9				3187	564	17.7						騒音3368		
	女	44	3	6.8	0					36	36	0	0.0	32	1	3.1	76	5	6.6				0										
	計	388	17	4.4				67	10	14.9	782	3	0.4	1086	27	2.5	190	22	11.6				0										
静岡	男	1263	137	10.8	138	1	0.7	138	39	28.3	584	2	0.3	1364	198	14.5	527	230	43.6	157	47	29.9	102	28	27.5						騒音620 高気圧30		
	女	204	19	9.3	6	0	0.0	4	1	25.0	21	0	0.0	110	15	13.6	241	127	52.7	1070	229	21.4	6									有害光線535 騒音14 有害光線20 騒音48	
	計	1467	156	10.6	144	1	0.7	142	40	28.2	605	2	0.3	1474	213	14.5	768	357	46.5	1227	276	22.5	102	28	27.5							重労働73 歯科172 有害光線1	
島田	男	1749	218	12.5	50	1	2.0	260	64	24.6	526	7	1.3	3277	271	8.3	193	31	16.1	208	112	53.8	23	3	13.0							騒音2718 有害光線72 騒音131	
	女	554	65	11.7	4	0	0.0	20	10	50.0	14	0	0.0	637	106	16.6	155	32	20.6	307	147	47.9	4										有害光線159 重労働1
	計	2303	283	12.3	54	1	1.9	280	74	26.4	540	7	1.3	3914	377	9.6	348	63	18.1	515	259	50.3	23	3	13.0							レーザー光線09 騒音101	
磐田	男	1668	57	3.4	102	0	0.0	38	0	0.0	233	0	0.0	1478	90	6.1	199	31	15.6	311	124	39.9	12	7	58.3							騒音2521	
	女	650	8	1.2	31	0	0.0				30	18	0	0.0	210	5.8	47	5	10.6	791	285	36.0	2									有害光線160	
	計	2318	65	2.8	133	0	0.0	38	0	0.0	251	0	0.0	1825	110	6.0	246	36	14.6	1102	409	37.1	12	7	58.3							レーザー光線56	
浜松	男	553	27	4.9				55	1	1.8	76	4	5.3	522	55	10.5	106	22	20.8	342	201	58.8	71	8	11.3							騒音518	
	女	181	2	1.1				59	3	5.1	2			117	3	2.4	84	21	25.0	1059	638	60.2	6										有害光線29
	計	734	29	4.0				114	4	3.5	78	4	5.1	648	58	9.0	190	43	22.6	1401	839	59.9	71	8	11.3							レーザー光線4 騒音6	
計	男	6031	469	7.8	296	2	0.7	1585	262	16.5	2349	17	0.7	8997	710	7.9	1246	334	26.8	1124	546	48.6	208	46	22.1							騒音10645 騒音56 有害光線101 高気圧30 騒音72	
	女	1714	105	6.1	41	0	0.0	441	140	31.7	92	0	0.0	1186	127	14.7	716	197	27.5	3962	1720	43.4	42										有害光線144 レーザー光線28 重労働21
	計	7745	574	7.4	337	2	0.6	2026	402	19.8	2441	17	0.7	10274	857	8.3	1962	531	27.1	5086	2266	44.6	208	46	22.1							騒音48 重労働73 歯科172 有害光線1	

団体 2803 総計 45782 件

令和3年度

〈特殊健康診断〉

3) ストレスチェック

〔はじめに〕

平成 26 年 6 月公布の労働安全衛生法の改正において、労働者の心理的な負担の程度を把握するための検査（以下「ストレスチェック」という。）及びその結果に基づく面接指導の実施等を内容としたストレスチェック制度が新たに創設され、平成 27 年 12 月に施行された。

本制度の目的は、労働者自身のセルフケアの促進とストレスの原因となる職場環境の改善によってメンタルヘルス不調の一次予防を図ることである。当協会においても、平成 27 年 12 月より本制度による業務を開始した。令和 3 年度のストレスチェックの実施状況をまとめた。

〔ストレスチェック実施状況〕

令和 3 年度のストレスチェック実施状況は、表 1 に示したように、252 団体から申し込みがあり、26,170 人が受診した。すべての団体で、標準的な「職業性ストレス簡易調査票」（57 項目）を採用した。

〔高ストレス者の割合〕

高ストレス者の選定方法は、厚生労働省が作成した「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度マニュアル」で示されている 2 つの選定方法のうち、251 団体が評価基準その 1「合計点数法」を採用し、1 団体が評価基準その 2「素点換算表を使う方法」を採用した。抽出後、実施者本人に結果を報告している。

厚生労働省の基準では受診者の約 10%が高ストレス者となるよう選定基準が設定されている。同基準で行った当協会では 26,170 人中 3,716 人、14.2%が高ストレス者と判定され、概ね厚生労働省の設定どおりの結果となった。

経年変化で見えていくと、平成 30 年度は 13.9%、令和元年度は 14.1%、令和 2 年度は 13.2%、令和 3 年度は 14.2%と過去 5 年は 13~14%で推移している。

男女別にみると男性 14.7%、女性 13.6%で男性の方が高かった。（表 2）

年代別では 20 歳代、30 歳代、40 歳代が全体平均（14.2%）より高かった。中でも 30 歳代が 17.2%と一番高く、次いで 40 歳代が 16.1%という結果であった。（表 2）

業種別に見た高ストレス者割合については表 3 のとおりである。

〔医師面接について〕

高ストレス者と判定された 3,716 人のうち、当協会が医師面接を実施した者は 12 人にとどまった。また、保健師等による相談対応は 4 人であった。（表 1）

〔まとめ〕

ストレスチェックを行うことによって、労働者のストレスの程度を把握し、労働者自身のストレスへの気づきを促すとともに、職場環境改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることによって、労働者がメンタルヘルス不調となることを未然に防ぐことが期待できる。

当協会では、この一次予防の観点から、ストレスチェックを実施した全員の結果にストレスチェックの目的や概要、ストレスへの対処法や相談窓口等を記載したリーフレットを同封している。また、高ストレス者にむけて医師面接や保健師等による相談についての案内を同封し、事後フォローに繋げている。

厚生労働省 令和 3 年労働安全衛生調査（実態調査）によるとストレスチェックを実施した事業所のうち、「集団分析」を実施し、その結果を活用した事業所の割合は 79.9%であった。

当協会では、希望のあった事業所には「集団分析」を実施し、データを提供しているが、結果を活用した事業所の割合や活用方法においては情報がないため、不明確である。引き続き、個人・集団の両側面へのアプローチの必要性を強調し、制度を最大限に生かしていけるよう提案していきたい。

当協会の結果では、高ストレス者の割合が令和 2 年度と比較すると増加している。令和 3 年度は令和 2 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行がみられたため、これによりテレワーク等働き方の変化が影響した可能性も考えられ、中期的観察が必要であると考えられる。

厚生労働省から令和 2 年 11 月に情報通信機器を用いて行う医師面接の留意事項について通達が発出された。医師面接方法の選択肢が広がることで利用者が増えメンタルヘルス不調者の軽減につながることを願う。

厚生労働省 令和 3 年労働安全衛生調査によると、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレスを感じている労働者の割合は 53.3%と、依然として半数を超えている。変化する社会情勢や我が国のメンタルヘルスの動向を基に、時代に沿ったニーズを把握し、対応していく必要があると考える。（加藤 千晶）

表 1 令和 3 年度 契約区分別受診団体

契約区分	団体数	受診者数 (人)	高ストレス (人)	医師面接・相談実施数 (人)
ストレスチェックのみ	217	20,559	2,932	0
相談、保健指導を含む	4	897	134	4
法定の医師面接に対応	31	4,714	650	12
合計	252	26,170	3,716	16

表 2 令和 3 年度 男女年代別高ストレス者割合

年代	男			女			合計		
	受診者数 (人)	高ストレス (人)	高ストレス (%)	受診者数 (人)	高ストレス (人)	高ストレス (%)	受診者数 (人)	高ストレス (人)	高ストレス (%)
10歳代	83	7	8.4	71	3	4.2	154	10	6.5
20歳代	2,229	313	14.0	1,877	313	16.7	4,106	626	15.2
30歳代	3,069	561	18.3	2,075	323	15.6	5,144	884	17.2
40歳代	3,477	607	17.5	2,972	429	14.4	6,449	1,036	16.1
50歳代	3,180	476	15.0	3,024	401	13.3	6,204	877	14.1
60歳代	1,804	116	6.4	1,667	145	8.7	3,471	261	7.5
70歳代	376	14	3.7	257	8	3.1	633	22	3.5
80歳代	8	0	0.0	1	0	0.0	9	0	0.0
総計	14,226	2,094	14.7	11,944	1,622	13.6	26,170	3,716	14.2

表 3 令和 3 年度 業種別高ストレス者割合

業 種	受診者数 (人)	高ストレス (人)	高ストレス (%)
サービス業 (他に分類されないもの)	1,774	231	13.0
その他	535	67	12.5
その他の製造業	1,520	249	16.4
パルプ・紙・紙加工品製造業	593	110	18.5
はん用機械器具製造業	21	8	38.1
プラスチック製品製造業	434	66	15.2
医療、福祉	5,246	740	14.1
印刷・同関連業	1,013	157	15.5
飲料・たばこ・飼料製造業	343	67	19.5
運輸業、郵便業	782	79	10.1
卸業、小売業	603	99	16.4
化学工業	1,075	171	15.9
家具・装備品製造業	120	21	17.5
教育、学習支援業	1,625	209	12.9
業務用機械器具製造業	347	52	15.0
金属製品製造業	638	103	16.1
建設業	177	16	9.0
公務 (他に分類されるものを除く)	4,621	498	10.8
宿泊業、飲食業	224	58	25.9
情報通信業	1	0	0.0
食料品製造業	894	134	15.0
生活関連サービス業、娯楽業	227	33	14.5
生産用機械器具製造業	333	49	14.7
石油製品・石炭製品製造業	52	4	7.7
繊維工業	223	34	15.2
鉄鋼業	46	8	17.4
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0	0.0
電気機械器具製造業	430	55	12.8
電子部品・デバイス・電子回路製造業	73	8	11.0
農業、林業	55	10	18.2
非鉄金属製造業	58	5	8.6
不動産業、物品賃貸業	81	11	13.6
木材・木製品製造業 (家具を除く)	68	15	22.1
輸送用機械器具製造業	1,937	349	18.0
合 計	26,170	3,716	14.2

4) 喀痰細胞診による肺がん検診

肺がんは、発生部位により肺野部肺がんと肺門部肺がんの二つに分けられる。胸部エックス線検査は、肺野部肺がんの早期発見を、喀痰細胞診は、肺門部肺がんの早期発見を主な目的として行われる。当協会では、昭和58年から喀痰細胞診検査による肺がん検診を実施している。(早野 雅代)

表1 集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分 (日本肺癌学会「臨床・病理肺癌取扱い規約第8版」より)

判定区分	細胞所見	指導区分
A	喀痰中に組織球を認めない	材料不適、再検査
B	正常上皮細胞のみ 基底細胞増生	現在異常を認めない 次回定期検査
C	軽度異型扁平上皮細胞 線毛円柱上皮細胞	程度に応じて6ヵ月以内の追加検査と追跡
D	中等度異型扁平上皮細胞 核の増大や濃染を伴う円柱上皮細胞	ただちに精密検査
E	高度(境界)異型扁平上皮細胞または 悪性腫瘍の疑いある細胞を認める 悪性腫瘍細胞を認める	

表2 令和3年度 喀痰細胞診検査成績

* 令和3年度地域の東部・中部地区の受託はなし

区分	地区	受診者	A	(%)	B	(%)	C	(%)	D	(%)	E	(%)
地域	東部	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	中部	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	西部	886	15	1.69	859	96.95	11	1.24	1	0.11	0	0.00
	合計	886	15	1.69	859	96.95	11	1.24	1	0.11	0	0.00
職域	東部	211	10	4.74	199	94.31	2	0.95	0	0.00	0	0.00
	中部	41	3	7.31	38	92.68	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	西部	13	1	7.69	12	92.31	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	合計	265	14	5.28	249	93.96	2	0.75	0	0.00	0	0.00

表3 年度別 地域における喀痰細胞診成績

年度	受診者	A	(%)	B	(%)	C	(%)	D	(%)	E	(%)
平成29	1,161	298	25.66	862	74.25	1	0.09	0	0.00	0	0.00
30	1,133	256	22.59	877	77.41	0	0.00	0	0.00	0	0.00
令和元	1,076	237	22.03	838	77.88	1	0.09	0	0.00	0	0.00
2	870	34	3.91	836	96.09	0	0.00	0	0.00	0	0.00
3	886	15	1.69	859	96.95	11	1.24	1	0.11	0	0.00

表4 年度別 職域における喀痰細胞診成績

年度	受診者	A	(%)	B	(%)	C	(%)	D	(%)	E	(%)
平成29	299	31	10.37	268	89.63	0	0.00	0	0.00	0	0.00
30	305	47	15.41	258	84.59	0	0.00	0	0.00	0	0.00
令和元	284	39	13.73	244	85.92	1	0.35	0	0.00	0	0.00
2	270	44	16.30	226	83.70	0	0.00	0	0.00	0	0.00
3	265	14	5.28	249	93.96	2	0.75	0	0.00	0	0.00

5) 婦人科細胞診による子宮頸がん検診

〔はじめに〕

国立がん研究センターの報告によると、国内の子宮頸がんの年間罹患数は約 11,000 例、年間死亡者数は約 2,900 人である。がんを治すには、早期発見と早期治療が重要である。子宮頸がんは HPV (ヒトパピローマウイルス) の持続的な感染が原因といわれている。定期的な検診で異形成とよばれる前がん状態で発見、治療することによりがんの発症を未然に防ぐことができる。

当協会では、昭和 47 年度から子宮頸がん検診を実施している。

〔検診方法〕

子宮がん検診車による巡回健診と施設内健診を実施している。子宮頸部からサーベックスブラシで擦って細胞を採取し、液状処理 (Sure Path 法) にて標本作製し細胞診検査を行う。細胞診の判定は、原則としてベセスダシステム (表 1) に拠った。

〔成績〕

令和 3 年度の子宮がん検診の受診者数は 14,579 人 (対前年度 964 人減)、要精検者 213 人、要精検率 1.5% であった。

表 2 には、地域健診の結果を示した。令和 3 年度は 6,808 人が受診し、83 人 (1.2%) が要精密検査となった。

表 3 には、職域による結果を示した。7,771 人が受診し、130 人 (1.7%) が要精密検査となった。

要精密検査となった 213 人のうち、追跡調査が可能であった 84 人の結果を表 4 に示した。地域健診の精検受診率は 62.7% (精検受診者 52 人)、職域健診の精検受診率は 24.6% (精検受診者 32 人) であった。

年齢階層別結果を表 5 に示した。

全体では 45~49 歳の受診者が最多で、全体の 15.1% (2,200 人) であった。最少は 29 歳以下の受診者で、全体の 4.3% (625 人) であった。要精検率を年齢別にみると 29 歳以下が 4.6% (29 人)、30~39 歳が 2.1% (42 人)。一方、50 歳以上は 0.8% (64 人) と低く、若い年齢層の要精検率が高い。

〔まとめ〕

全国的に見ても、子宮頸がん及びその前駆病変は 20~40 歳代の罹患率が高く、特に 20 歳代の増加が近年問題となっている。しかし、20~30 歳代の受診率は低い。また若年者に限らず、日本の子宮頸がん検診受診率は約 40% であり、欧米の受診率 70~80% と比較すると極めて低い。がん検診の重要性を啓蒙し、受診者を増加させる広報活動が望まれる。

地域健診では、精検受診状況及び精検受診勧奨状況について市町村へ報告するため、職域健診と比べ精検受診率が高い。しかし、職域健診では個人情報保護法の施行もあり、追跡調査・把握が困難で積極的に行われていない。精検受診率を上げることが今後の課題である。(大畑 みゆき)

表 1 ベセスダシステムに基づく細胞診分類

NILM	陰性
ASC-US	意義不明な異型扁平上皮細胞
ASC-H	HISL を除外できない異型扁平上皮細胞
LSIL	軽度異型扁平上皮内病変
HSIL	高度異型扁平上皮内病変
SCC	扁平上皮癌
AGC	異型腺細胞
AIS	内頸部上皮内腺癌
Adeno ca.	腺癌
Other	その他の悪性腫瘍

表 2 地域健診結果

地区	受診者数	NILM	要精密検査 (合計 83)									検査不適
			ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno	Other	
東部	768	759	1	2	1	5	0	0	0	0	0	0
中部	1,154	1,135	3	7	5	4	0	0	0	0	0	0
西部	4,886	4,831	21	7	15	11	0	1	0	0	0	0
合計	6,808	6,725	25	16	21	20	0	1	0	0	0	0

表 3 職域健診結果

地区	受診者数	NILM	要精密検査 (合計 130)									検査不適
			ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno	Other	
施設健診	5,756	5,658	47	12	25	13	1	0	0	0	0	0
巡回健診	2,015	1,983	15	6	7	4	0	0	0	0	0	0
合計	7,771	7,641	62	18	32	17	1	0	0	0	0	0

表 4 精密検査結果

区分	要精密検査結果 (合計 84)									
	NILM	ASC-US	CIN1	CIN2	CIN3	SCC	AGC	AIS	Adeno ca	Other
地域健診	16	0	18	10	6	0	0	0	2	0
職域健診	8	0	15	6	3	0	0	0	0	0
合計	24	0	33	16	9	0	0	0	2	0

表 5 年齢階層別結果

年齢	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	細胞診検査結果 ベセスダ										
				NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno	Other	不適
～19	10	1	10.0	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	201	9	4.5	192	2	0	7	0	0	0	0	0	0	0
25～29	414	19	4.6	395	9	1	5	4	0	0	0	0	0	0
30～34	756	20	2.6	736	7	2	6	5	0	0	0	0	0	0
35～39	1,233	22	1.8	1,211	6	4	6	6	0	0	0	0	0	0
40～44	1,817	34	1.9	1,783	17	6	7	4	0	0	0	0	0	0
45～49	2,200	44	2.0	2,156	16	5	13	9	1	0	0	0	0	0
50～54	1,978	25	1.3	1,953	14	3	5	2	0	1	0	0	0	0
55～59	1,722	10	0.6	1,712	3	5	1	1	0	0	0	0	0	0
60～64	1,550	13	0.8	1,537	10	1	0	2	0	0	0	0	0	0
65～69	1,223	7	0.6	1,216	1	3	1	2	0	0	0	0	0	0
70～74	957	4	0.4	953	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0
75～79	366	5	1.4	361	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0
80～	152	0	0.0	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14,579	213	1.5	14,366	87	34	53	37	1	1	0	0	0	0

6) 血液型検査

集団検診の血液型検査では、ABO 式血液型及び Rh 式血液型の検査を行っている。

以前は盛んに行われていた学童の血液型検査であるが、近年の受検者は海外留学生や個人希望者などであり、令和3年度は1団体28件であつ

た。

成人では新規受託団体や雇用時健診、危険業務従事者、海外渡航者などが主で、件数は年ごとに増減があり、令和3年度は14団体61件であった。

(高田 雅紀)

表1 団体別実数と型別分類

型別 団体別 (団体数)		A B O 式 と R h 式								
		受検者	A		O		B		AB	
			+	-	+	-	+	-	+	-
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
幼稚園	(0)	0								
小学校	(0)	0								
中学校	(0)	0								
高等学校	(0)	0								
大学・専門学校	(1)	28	5		11		8		4	
特別支援学校・施設	(0)	0								
学校保健計	(1)	28	5	0	11	0	8	0	4	0
一般	事業所	61	18		26		12		5	
	(14)		(29.5)		(42.6)		(19.7)		(8.2)	
	地域	0								
	(0)									
	教職員	0								
(0)										
個人	0									
(0)										
一般計	(14)	61	18	0	26	0	12	0	5	0
			(29.5)		(42.6)		(19.7)		(8.2)	
合計	(15)	89	23	0	37	0	20	0	9	0
			(25.8)		(41.6)		(22.5)		(10.1)	

表2 過去の受検者数の推移

区分	平成 25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
学校保健	1	2	4	0	0	78	34	47	28
一般	55	64	159	106	22	13	11	71	61
合計	56	66	163	106	22	91	45	118	89

7) 細菌検査

〔公衆衛生と腸内細菌〕

本事業は、食品衛生法に基づき、集団給食従事者、食品関係営業従事者、食品関係製造従事者及び水道施設従事者などの保菌者を感染源として経口感染する腸管感染症の発生を事前に防止するために行う検査である。従って、受検者の職業からいえば、食品衛生の分野において重要な検査といえる。

腸内細菌（サルモネラ・赤痢菌）等団体別検査概要を表1に示した。令和3年度の検査件数は38,617件であった。これらの検査は、分離培養した後、各種鑑別培地を用いて確認培養を行い、生化学的性状により同定し、併せて各種腸内細菌診断用血清を用いて血清型別を行い決定する。チフス菌、パラチフス菌、赤痢菌などの第三類感染症原因菌およびサルモネラ菌は検出されなかった。

腸管出血性大腸菌O157 団体別検査概要を表2に示した。令和3年度の検査件数は36,833件であった。腸管出血性大腸菌O157（第三類感染症原因菌）は検出されなかった。

〔食品と細菌汚染〕

この検査は、いずれも食品製造業者からの依頼であり、各社の自主的な製造基準や納品に必要な細菌学的安全性の証明などを目的として行ったものである。検査は、食品衛生検査指針の微生物編等に準拠し、一般生菌数、大腸菌群、サルモネラ、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ、大腸菌、腸管出血性大腸菌O157等を対象とした細菌学的検査を行い、表3のような結果を得た。

（倉島 友子）

表1 腸内細菌（サルモネラ・赤痢菌）等団体別検査概要

区 分	検査件数	陽性者数	サルモネラ陽性者						赤痢菌陽性者					
			O4群	O7群	O8群	O9群	O3,10群	その他	A群	B群	C群	D群		
食品取扱者	食品衛生協会	5,848	0											
	幼稚園・保育園	17,228	0											
	事業所等	12,747	0											
	個人	106	0											
	施設	1,348	0											
	特別支援	18	0											
計	37,295	0												
学生・生徒	大学等	942	0											
	高校生	369	0											
	中学生	11	0											
	計	1,322	0											
合計	38,617	0												

表2 腸管出血性大腸菌O157 団体別検査概要

団体名	食品取扱者							学生生徒児童					合計
	食品衛生協会	私立幼稚園 私立保育園	事業所等	個人	施設	特別支援	計	大学等	高校生	中学生	幼稚園 保育園	計	
検査件数	5,775	16,925	11,344	101	1,348	18	35,511	942	369	11		1,322	36,833
陽性者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0

表3 食品検査概要

検査の組み合わせ	検査件数	陽性数	陽性の内訳											
			A 一般生菌数	B 大腸菌群	C サルモネラ	D 黄色ブドウ球菌	E 腸炎ビブリオ	F 大腸菌	G 腸管出血性大腸菌O157	H 病原性大腸菌	I カンピロバクター	J 赤痢菌	K チフス菌	L セレウス菌
A														
A+B														
A+B+C														
A+B+C+D														
A+B+C+D+E+G	2	1			1									
A+B+C+D+F+G														
A+B+D														
A+B+G														
B														
B+C+G														
G	18	0												
合計	20	1			1									

8) 寄生虫卵検査

糞便検査は、主にセロファン厚層塗抹法を実施している。令和3年度の受検者数は239人で、有卵者数は0人であった。限られた施設からの依頼となっている。

寄生虫保有率は年々減少しているが、現在でも輸入野菜や国内産野菜での化学肥料に頼らない栽培や無農薬栽培があるため、今後も十分な注意が必要である。

蟯虫検査はウスイ式セロファンテープを用い、二日にわたって採卵する二日法で実施している。受検者数は48人で、有卵者数は0人であった。施設と個人の方からの依頼のみであった。

(倉島 友子)

表1 寄生虫卵検査成績集計表 (セロファン厚層塗抹法)

地 域 (事業所)

区分 団体名	受検者数	有卵者数	%	内 訳											
				回虫卵	%	不受精卵	鉤虫卵	%	鞭虫卵	%	蟯虫卵	横吸虫川卵	条虫卵	その他	二種以上
三 島 市	224	0													
富 士 宮 市	15	0													
合 計	239	0													

表2 蟯虫卵検査成績表 (セロファンテープ検肛法【ウスイ式】)

その他 (施設・個人依頼)

区分 郡市名	受検者数	有卵者数	%
静 岡 市			
磐 田 市	48	0	
合 計	48	0	

9) 住民健診

〔特定健診〕

「人生 100 年」時代を迎え、医療政策は近年、これまでの治療を中心とした政策から「予防・健康づくり」に関する政策へと転換している。疾患の早期発見、重症化予防という点で、特定健診は重要性を増してきている。

その中でも生活習慣病は様々な疾患の原因となるものであり、早期発見や予防を行うことは個人のQOLの維持や医療費の抑制という点で大きな意味を持っている。このため政府は、2008年に「特定健康診査」及び「特定保健指導」を開始した。開始以来 15 年近く経過しているが対象者の受診率は伸び悩んでいるのが現状だ。特に国民健康保険の実施率が健康保険に比べて低い実施率であることが実態となっている。

令和 3 年度の国民健康保険加入者の特定健診受診者数は、A 市では 3,145 人（男性 1,306 人、女性 1,839 人）で、昨年度の 3,100 人に比べて 45 人増加している。B 市では 469 人（男性 194 人、女性 275 人）で、昨年度の 444 人に比べて 25 人増加している。

〔がん検診〕

がん検診により死亡率の減少を達成する条件は、科学的な根拠のあるがん検診を適切な精度管理体制の下で行うことであり、これらの条件を満たす多くの海外諸国は、がんの死亡率の減少を達成している。当協会においても住民健診として行政と協力をして取り組みに努めている。

対象者を表 1、受診者数、がん発見率等のプロセス指標を表 2 に示した。

A 市については、肺がん検診受診者数は 9,126 人。昨年と比べて 112 人の減、胃がん検診受診者数は 2,997 人、11 人の増、大腸がん検診受診者数は 7,643 人、26 人の増となった。乳がん検診受診者数は 3,516 人、101 人の増、子宮がん検診受診者数は 3,017 人、316 人の減となった。

B 市については、肺がん検診の受診者数は 2634 人、昨年と比べて 4 人の減、胃がん検診の受診者数は 1,795 人、17 人の減、大腸がん検診の受診者

数は 3,367 人、12 人の減となった。婦人科健診においては、乳がん検診の受診者数は 1,574 人、82 人の増（乳腺エコー含まない）、子宮がん検診の受診者数は 1,749 人、47 人の減となった。

〔胃がんリスク検診〕

平成 25 年度より胃がんリスク検診を実施している。

A 市の胃がんリスク検診総受診者数は 368 人で、昨年度と比べて 2 人の減となった。このうち、胃がん検診との併用者は 142 人、胃がんリスク検診のみの者は 226 人であった。

B 市の胃がんリスク検診総受診者数は 14 人で、5 人の増という結果となった。

A 市受診者の男女比は、男性が 27.7%、女性は 72.3%と例年同様に女性が圧倒的に多いことがわかった。

また、胃がんリスク検診結果が要精密となった受診者の除菌率は、A 市は 70%であった。

〔まとめ〕

ピロリ菌は、慢性胃炎の原因ですが、もっと重要なのは胃がんの原因であるということです。ピロリ菌を除菌することで胃がんの発生が抑制されることが報告されています。検査への積極的な呼び込みや対象年齢の拡大等、将来の胃がん罹患率を減少させるために新たな取り組みへ向けて検討をおこなっていきたいです。

特定健診では、受診者数の増加がみられたものの新型コロナウイルス感染症への感染の懸念から、がん検診では健診の受診控えが続いているのではないのでしょうか。

日本人が一生のうちにがんと診断される確率は 2 人に 1 人とされています。がんの初期段階を見逃さないためにも、検診の機会が奪われることがないように、感染対策をしつつ健康を見つめなおしている今だからこそ積極的に受診できる体制を整えていきたいと思います。

(加藤 詩穂)

表1 各検診の対象者（全額自己負担を含まない）

A市

検診項目	対 象
肺がん検診	40歳以上
胃がん検診	40歳以上
大腸がん検診	40歳以上
前立腺がん検診	50歳以上
乳がん検診	40歳以上の偶数年齢
子宮がん検診	20歳以上の偶数年齢
胃がんリスク検診	40・45・50・55・60・65・70歳(この内過去未受診の者)
乳房エコー検診	20～38歳 偶数年齢
骨密度検診	40・45・50・55・60・65・70歳

※年齢起算日 3月31日

B市

検診項目	対 象
肺がん検診	40歳以上
胃がん検診	40歳以上
大腸がん検診	40歳以上
前立腺がん検診	50歳以上
乳がん検診	40歳以上で前年度未受診の者
子宮がん検診	20歳以上で前年度未受診の者
胃がんリスク検診	40歳以上で胃がん検診とセットで受診する者
骨密度検診	40・45・50・55・60・65・70歳
乳房エコー検診	20～39歳で、子宮がん検診を受診する者

※年齢起算日 4月1日

表2 A市, B市のプロセス指標数値

令和4年9月30日現在

A市

検査項目	受診者数 (人)	要精密 検査以上 (人)	がん 発見者数 (人)	要精密 検査率 (%)	精密検査 受診率 (%)	がん 発見率 (%)	陽性反応 的中率 (%)
肺がん	9,126	320	5	3.5	84.1	0.05	1.56
胃がん	2,997	173	2	5.8	90.0	0.07	1.16
大腸がん	7,643	537	11	7.0	78.8	0.14	2.05
前立腺がん	1,481	112	5	7.6	74.1	0.34	4.46
乳がん	3,516	121	10	3.4	98.3	0.28	8.26
子宮がん	3,017	39	0	1.3	89.8		
骨密度	712	113					

※子宮がん検診は細胞診のE判定のみ計上する

B市

検査項目	受診者数 (人)	要精密 検査以上 (人)	がん 発見者数 (人)	要精密 検査率 (%)	精密検査 受診率 (%)	がん 発見率 (%)	陽性反応 的中率 (%)
肺がん	2,634	68	1	2.6	76.5	0.04	1.47
胃がん	1,795	73	1	4.1	78.1	0.06	1.37
大腸がん	3,367	215	5	6.4	67.4	0.15	2.33
前立腺がん	1,049	57	0	5.4	64.9	0.00	0.00
乳がん	1,574	50	6	3.2	82.0	0.38	12.00
子宮がん	1,749	12	0	0.7	83.3	0.00	0.00
骨密度	232	36					

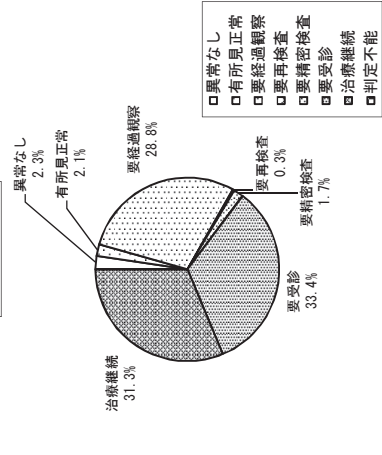
※子宮がん検診は細胞診のE判定のみ計上する

表3 A市
特定健診(A市)

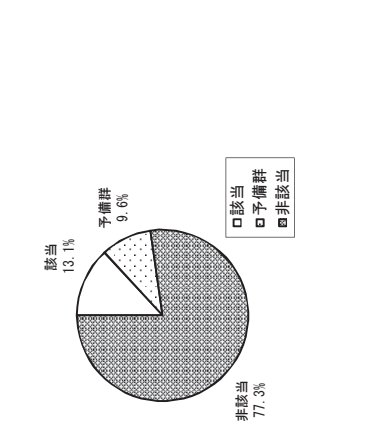
特定健診判定

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	40~44	50	3	2	23	21			1	
	45~49	65	1	5	19	1	36	4		
	50~54	52	1	4	18	1	19	9		
	55~59	62	3	3	23	1	23	9		
	60~64	93	1	1	25	2	45	19		
	65~69	408	5	2	113	2	154	125		
	70~74	576	7	5	102	3	238	214		
75~										
年齢不明										
合計	(%)	1,306	20	22	323	5	19	536	381	
異常なし	(%)	1.5	1.7	24.7	0.4	1.5	41.0	29.2		
女性	40~44	58	7	8	30	2	9	2		
	45~49	77	12	6	38	1	16	3		
	50~54	85	5	4	45	1	24	6		
	55~59	89	4	3	35	1	29	17		
	60~64	291	4	7	94	3	77	66		
	65~69	553	13	10	161	2	174	179		
	70~74	726	8	5	180	1	15	186	331	
75~										
年齢不明										
合計	(%)	1,839	53	43	583	6	35	515	604	
異常なし	(%)	2.9	2.3	31.7	0.3	1.9	28.0	32.8		
総合計	(%)	3,145	73	65	906	11	54	1,051	985	
異常なし	(%)	2.3	2.1	28.8	0.3	1.7	33.4	31.3		

特定健診判定



メタボリックシンドローム判定



肺がん (A市)

判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	40~44	3,295	2,324	6	826		139			
	45~49		70.5	0.2	25.1		4.2			
	50~54	5,831	4,391	2	1,257		181			
	55~59		75.3	0.0	21.6		3.1			
合計	(%)	9,126	6,715	8	2,083		320			
異常なし	(%)	73.6	0.1	22.8		3.5				

検査内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	40~44	3,295	2,330		826		139			
	45~49		70.7		25.1		4.2			
	50~54	5,831	4,393		1,257		181			
	55~59		75.3		21.6		3.1			
合計	(%)	9,126	6,723		2,083		320			
異常なし	(%)	73.7		22.8		3.5				
女性	40~44	151	140	8						3
	45~49		92.7	5.3						2.0
	50~54	32	27	3						2
	55~59		84.4	9.4						6.3
合計	(%)	183	167	11						5
異常なし	(%)	91.3	6.0							2.7

男女年齢層別判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	20~24	1	1							
	25~29									
	30~34									
	35~39									
	40~44	123	110	9		4				
	45~49		118	103	12		2			
	50~54	139	118	16		4				
	55~59	107	92	14		1				
	60~64	191	155	29		6				
	65~69	543	422	106		15				
	70~74	768	545	184		37				
	75~79	541	367	152		22				
80~	764	411	304		48					
年齢不明										
合計	(%)	3,295	2,324	6	826		139			
異常なし	(%)									
女性	20~24									
	25~29	1	1							
	30~34									
	35~39									
	40~44	401	372	20		8				
	45~49	466	432	30		4				
	50~54	431	376	50		4				
	55~59	389	313	67		9				
	60~64	625	480	139		6				
	65~69	880	629	226		25				
	70~74	1,124	811	269		44				
	75~79	687	470	188		31				
80~	827	507	270		50					
年齢不明										
合計	(%)	5,831	4,391	2	1,257		181			
異常なし	(%)									
総合計	(%)	9,126	6,715	8	2,083		320			

胃がん (A市)

判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	20~24	1,242	762	113	265		102			
	(%)		61.4	9.1	21.3		8.2			
	25~29	1,981	1,249	334	251		147			
	(%)		63.0	16.9	12.7	7.4				
	合計	3,223	2,011	447	516	249	7.7			
(%)		62.4	13.9	16.0						

検査内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
胃がんのみ	20~24	1,140	693	107	263		77			
	(%)		60.8	9.4	23.1		6.8			
	25~29	1,715	1,062	320	248		85			
	(%)		61.9	18.7	14.5	5.0				
	合計	2,855	1,755	427	511	162				
(%)		61.5	15.0	17.9	5.7					
胃がん×検 ABC検診併用	20~24	52	30	6	2		14			
	(%)		57.7	11.5	3.8	26.9				
	25~29	90	49	14	3	24				
	(%)		54.4	15.6	3.3	26.7				
	合計	142	79	20	5	38				
(%)		55.6	14.1	3.5	26.8					
ABC検診のみ	20~24	50	39				11			
	(%)		78.0			22.0				
	25~29	176	138			38				
	(%)		78.4			21.6				
	合計	226	177			49				
(%)		78.3			21.7					

大腸がん (A市)

判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	20~24	2,648	2,400					248		
	(%)		90.6					9.4		
	25~29	4,995	4,706					289		
	(%)		94.2					5.8		
	合計	7,643	7,106					537		
(%)		93.0					7.0			

男女年齢別判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	20~24	1	1							
	25~29									
	30~34									
	35~39									
	40~44	96	93					3		
	45~49	103	96					7		
	50~54	110	104					6		
	55~59	88	82					6		
	60~64	173	159					14		
	65~69	478	426					52		
	70~74	679	616					63		
	75~79	429	396					33		
	80~	491	427					64		
年齢不明										
合計	2,648	2,400					248			
性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
女性	20~24	1	1							
	25~29									
	30~34									
	35~39	1	1							
	40~44	358	344					14		
	45~49	427	404					23		
	50~54	405	385					20		
	55~59	389	372					17		
	60~64	622	581					41		
	65~69	814	762					52		
	70~74	997	943					54		
	75~79	540	509					31		
	80~	441	404					37		
年齢不明										
合計	4,995	4,706					289			
総合計	7,643	7,106					537			

前立腺がん (A市)

判定内訳	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
	1,481	1,369					112		
(%)		92.4					7.6		

年齢階層別判定内訳

年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
～19									
20～24	1	1							
25～29									
30～34									
35～39									
40～44	5	5							
45～49	5	5							
50～54	101	99					2		
55～59	78	75					3		
60～64	159	150					9		
65～69	359	331					28		
70～74	457	417					40		
75～79	143	131					12		
80～	173	155					18		
年齢不明									
合計	1,481	1,369					112		

乳がん (A市)

判定内訳	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
	3,885	3,397	292	64	1.6	3.4	0.0		
(%)		87.4	7.5						

検査別内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
視触診									
乳房X線1方向	2,612	2,336	188	28		59	1		
乳房X線2方向	904	89.4	7.2	1.1		2.3	0.0		
乳房エコー	369	296	46	16		11			
(%)		80.2	12.5	4.3		3.0			

年齢階層別判定内訳

年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
～19									
20～24	42	36	5			1			
25～29	53	39	9	4					
30～34	146	116	19	6		5			
35～39	131	106	15	6		4			
40～44	496	419	33	9		35			
45～49	405	345	23	11		26			
50～54	462	412	29	6		15			
55～59	303	275	18	6		3	1		
60～64	518	463	33	5		17			
65～69	435	380	42	6		7			
70～74	582	524	45	4		9			
75～79	169	153	10	6		6			
80～	143	129	11	1		2			
年齢不明									
合計	3,885	3,397	292	64		131	1		

子宮がん (A市)

判定内訳	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
	3,017	655	2,088	83	2.8	3.4	103		
(%)		21.7	69.2						

検査別内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
内診	3,017	2,619	156	86			103		
(%)		86.8	5.2	2.9			3.4		
頸部細胞診	3,017	719	2,258			39			1
(%)		23.8	74.8			1.3			0.0

年齢階層別判定内訳

年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
～19									
20～24	25	3	20			1			
25～29	26	5	18	1					
30～34	98	8	83	1		2			1
35～39	110	12	83	3					3
40～44	286	31	216	10		8			7
45～49	325	40	233	18		6			11
50～54	382	53	273	10		3			17
55～59	249	56	173	8		2			6
60～64	451	123	306	9		3			4
65～69	361	91	243	11		3			2
70～74	463	149	298	9		1			5
75～79	132	38	85	1		4			3
80～	109	46	57	2		1			3
年齢不明									
合計	3,017	655	2,088	83		34	103		54

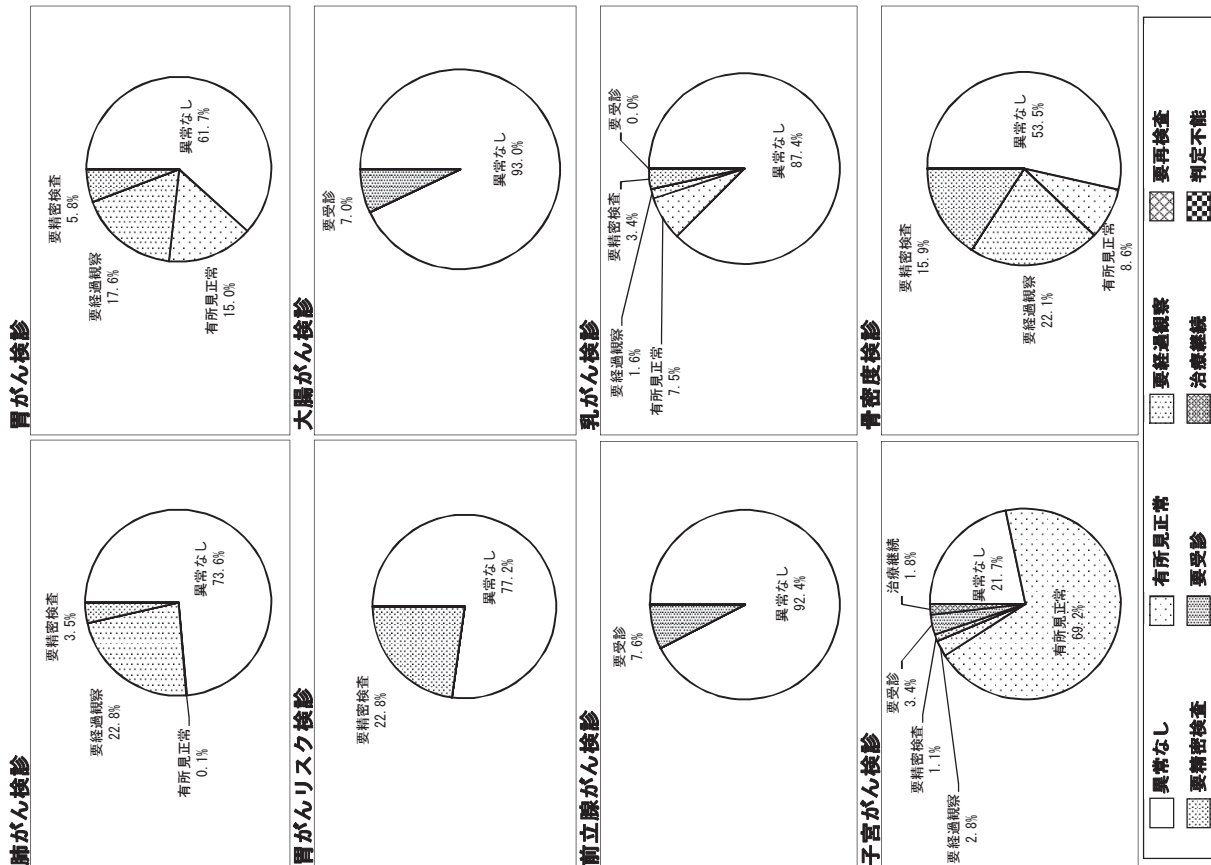
骨密度 (A市)

判定内訳	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
	712	381	61	157		113			
(%)		53.5	8.6	22.1		15.9			

年齢階層別判定内訳

年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
～19									
20～24									
25～29									
30～34									
35～39									
40～44	55	55							
45～49	55	55							
50～54	118	109	3	6					
55～59	55	38	9	6		2			
60～64	140	65	14	38		23			
65～69	108	28	12	41		27			
70～74	167	30	21	61		55			
75～79	9	1	2	3		3			
80～	5			2		3			
年齢不明									
合計	712	381	61	157		113			

各検診判定 (A市)

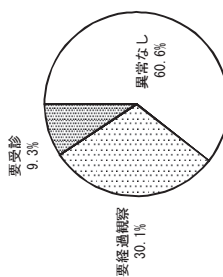


推算糸球体濾過量 (A市)

男女年齢階層別判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	40~44	50	46		4					
	45~49	65	55		9			1		
	50~54	52	42		10					
	55~59	42	42		14			6		
	60~64	93	63		29					
	65~69	408	235		127			46		
	70~74	576	299		205			112		
75~										
年齢不明										
合計		1,306	742		398			166		
(%)			56.8		30.5			12.7		
女性	40~44	58	54		3			1		
	45~49	77	67		9					
	50~54	85	67		16			2		
	55~59	89	61		27					
	60~64	251	182		58			11		
	65~69	553	344		173			36		
	70~74	726	388		264			74		
75~										
年齢不明										
合計		1,839	1,163		550			126		
(%)			63.2		29.9			6.9		
総合計		3,145	1,905		948			292		
(%)			60.6		30.1			9.3		

推算糸球体濾過量



- 異常なし
- 有所見正常
- 要経過観察
- 要再検査
- 要精密検査
- 要受診
- 治療継続
- 判定不能

表4 B市
特定健診(B市)

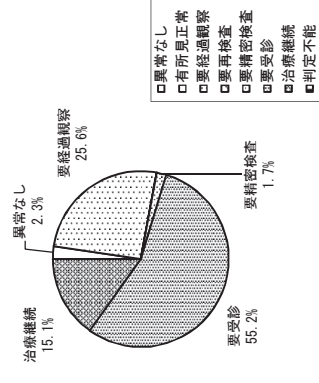
特定健診判定

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	40~44	6	2		1	1		2	1	
	45~49	17	1		3			12	1	
	50~54	15			7			7	1	
	55~59	10	1		3		1	8	4	
	60~64	16			10		1	46	11	
65~69	69	1		12		33	33	11		
70~74	56			1			2	2		
75~	5									
年齢不明										
合計	(%)	194	5	37	19.1	2	1.0	61.3	16.0	
女性	40~44	22	3		13		1	5		
	45~49	24	1		11			12		
	50~54	13			4			9	2	
	55~59	16			4			10	2	
	60~64	49	1		14		1	24	9	
	65~69	100	1		25		2	56	16	
	70~74	49			12		1	23	13	
	75~	2					1	1		
	年齢不明									
	合計	(%)	275	6	83	30.2	2.2	50.9	14.5	
総合計	(%)	469	11	120	25.6	1.7	55.2	15.1		

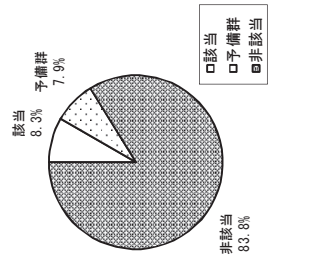
メタボリックシンドローム判定

性別	受診者数	該当	予備群	非該当
男性	194	28	28	138
女性	275	14.4	14.4	71.1
(%)		4.0	3.3	92.7
合計	469	39	37	393
(%)		8.3	7.9	83.8

特定健診判定



メタボリックシンドローム判定



肺がん (B市)

判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	702	994	702		251		31			
	(%)		71.3		25.5		3.2			
	女性	1,650	1,287	326	37	2.2				
	(%)		78.0		19.8					
合計	(%)	2,634	1,989	577	21.9	2.6				

検査別内訳

検査別	性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
胸部X線	男性	702	984	702		251		31			
		(%)		71.3		25.5		3.2			
	女性	1,650	1,287	326	37	2.2					
		(%)		78.0		19.8					
喀痰細胞診	男性	75.5	2,634	1,989	577	68					
		(%)		75.5		21.9		2.6			
	女性	100.0	2								
		(%)		100.0							
合計	(%)	2	100.0								

男女年齢階層別判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	20~24									
	25~29									
	30~34									
	35~39									
	40~44	28	24		4					
	45~49	37	32		4		1			
	50~54	43	37		5					
	55~59	42	32		8		2			
	60~64	76	65		11					
	65~69	255	181		67		7			
70~74	255	189		59		7				
75~79	147	90		49		8				
80~	101	52		44		5				
年齢不明										
合計	(%)	984	702	251	31					
女性	20~24									
	25~29									
	30~34									
	35~39									
	40~44	165	157		6		2			
	45~49	117	104		10		1			
	50~54	116	106		10		2			
	55~59	117	93		22		3			
	60~64	232	175		54		8			
	65~69	382	282		75		10			
70~74	296	211		97		5				
75~79	130	62		27		6				
80~	95									
年齢不明										
合計	(%)	1,650	1,287	326	37	2.2				
総合計	(%)	2,634	1,989	577	68					

胃がん (B市)

判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	～19	722	461	56	163	1	41	1		
	(%)		63.9	7.8	22.6	0.1	5.7	0.1		
	20～24	1,073	666	170	205	1	31	1		
	(%)		62.1	15.8	19.1	0.1	2.9	0.1		
	合計	1,795	1,127	226	368	2	72	4.0	0.1	
(%)		62.8	12.6	20.5						

検査別内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
胃部X線のみ	男性	713	456	54	162		40	1		
	(%)		64.0	7.6	22.7		5.6	0.1		
	女性	1,068	664	167	205	1	31	1		
	(%)		62.2	15.6	19.2	0.1	2.9	0.1		
	合計	1,781	1,120	221	367	2	71	2		
胃部X線 ABC検査併用	男性	9	5	2	1		1			
	(%)		55.6	22.2	11.1		11.1			
	女性	5	2	3						
	(%)		40.0	60.0						
	合計	14	7	5	1		1			
(%)		50.0	35.7	7.1		7.1				

男女年齢階層別判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	～19									
	20～24									
	25～29									
	30～34									
	35～39									
	40～44	29	23	3	3		2			
	45～49	38	30	3	3					
	50～54	41	32	6	2		1			
	55～59	43	34	6	6		1			
	60～64	70	51	2	10		3			
	65～69	193	121	17	46		9			
	70～74	189	112	11	49		16	1		
	75～79	73	35	5	27		6			
80～	46	23	3	17		3				
年齢不明										
合計	722	461	56	163		41	1			
女性	～19									
	20～24									
	25～29									
	30～34									
	35～39									
	40～44	138	99	25	10		4			
	45～49	111	82	20	8		1			
	50～54	89	58	19	10		2			
	55～59	94	57	12	12		3			
	60～64	163	92	32	32		6	1		
	65～69	224	140	28	49		7			
	70～74	167	95	20	47		5			
	75～79	61	32	3	24		2			
80～	26	11	1	13		1				
年齢不明										
合計	1,073	666	170	205		31	1			
総合計	1,795	1,127	226	368		72	2			

大腸がん (B市)

判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	～19	1,192	1,094					98		
	(%)		91.8					8.2		
	20～24	2,175	2,068					117		
	(%)		94.6					5.4		
	合計	3,367	3,152					215		
(%)		93.6					6.4			

男女年齢階層別判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	～19									
	20～24									
	25～29									
	30～34									
	35～39									
	40～44	34	33					1		
	45～49	47	45					2		
	50～54	51	50					1		
	55～59	61	58					3		
	60～64	101	93					8		
	65～69	292	270					22		
	70～74	295	270					25		
	75～79	181	165					16		
80～	130	110					20			
年齢不明										
合計	1,192	1,094						98		
女性	～19									
	20～24									
	25～29									
	30～34									
	35～39									
	40～44	202	191					11		
	45～49	150	145					5		
	50～54	148	142					6		
	55～59	161	156					5		
	60～64	317	297					20		
	65～69	484	467					17		
	70～74	411	384					27		
	75～79	186	172					14		
80～	116	104					12			
年齢不明										
合計	2,175	2,068						117		
総合計	3,367	3,152						215		

前立腺がん (B市)

判定内訳		受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
		1,049	992	94.6				57		
	(%)							5.4		

年齢階層別判定内訳

年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
～19									
20～24									
25～29							7		
30～34							14		
35～39							13		
40～44	3	3					10		
45～49	4	4							
50～54	57	57							
55～59	64	64							
60～64	120	113							
65～69	305	291							
70～74	261	248							
75～79	147	134							
80～	88	78							
年齢不明									
合計	1,049	992					57		

乳がん (B市)

判定内訳		受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
		2,076	1,721	209	89	57				
	(%)		82.9	10.1	4.3	2.7				

検査別内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
視触診									
乳房X線 1方向	1,154	1,039	81	8		26			
乳房X線 2方向	420	355	37	4		24			
乳房エコー	524	346	92	77		9			
		66.0	17.6	14.7		1.7			

年齢階層別判定内訳

年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
～19									
20～24	19	15	2	2					
25～29	31	24	5	1					
30～34	128	84	26	15	3				
35～39	137	86	29	22					
40～44	287	225	29	17					
45～49	202	161	19	13					
50～54	190	166	16	5					
55～59	138	125	8	2					
60～64	240	210	4	4					
65～69	298	255	26	4					
70～74	213	252	18	2					
75～79	88	77	8	2					
80～	45	41	2	1					
年齢不明									
合計	2,076	1,721	209	89		57			

子宮がん (B市)

判定内訳		受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
		1,749	389	1,235	34	12		43		
	(%)		22.2	70.6	1.9	0.7		2.5		

検査別内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
内診	1,749	1,551	84	35			43		
		88.7	4.8	2.0			2.5		
頸部細胞診	1,749	414	1,233				12		
		23.7	70.6				0.7		

年齢階層別判定内訳

年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
～19									
20～24	26	4	19	1			1		
25～29	36	6	28						
30～34	150	18	119	2			5		
35～39	155	15	122	3			7		
40～44	191	25	145	7			6		
45～49	150	20	111	6			6		
50～54	159	23	114	3			8		
55～59	127	34	90	1			2		
60～64	193	55	127	6			3		
65～69	245	76	162	2			3		
70～74	217	78	134	2			2		
75～79	70	26	43	1					
80～	30	9	21						
年齢不明									
合計	1,749	389	1,235	34		12	43		36

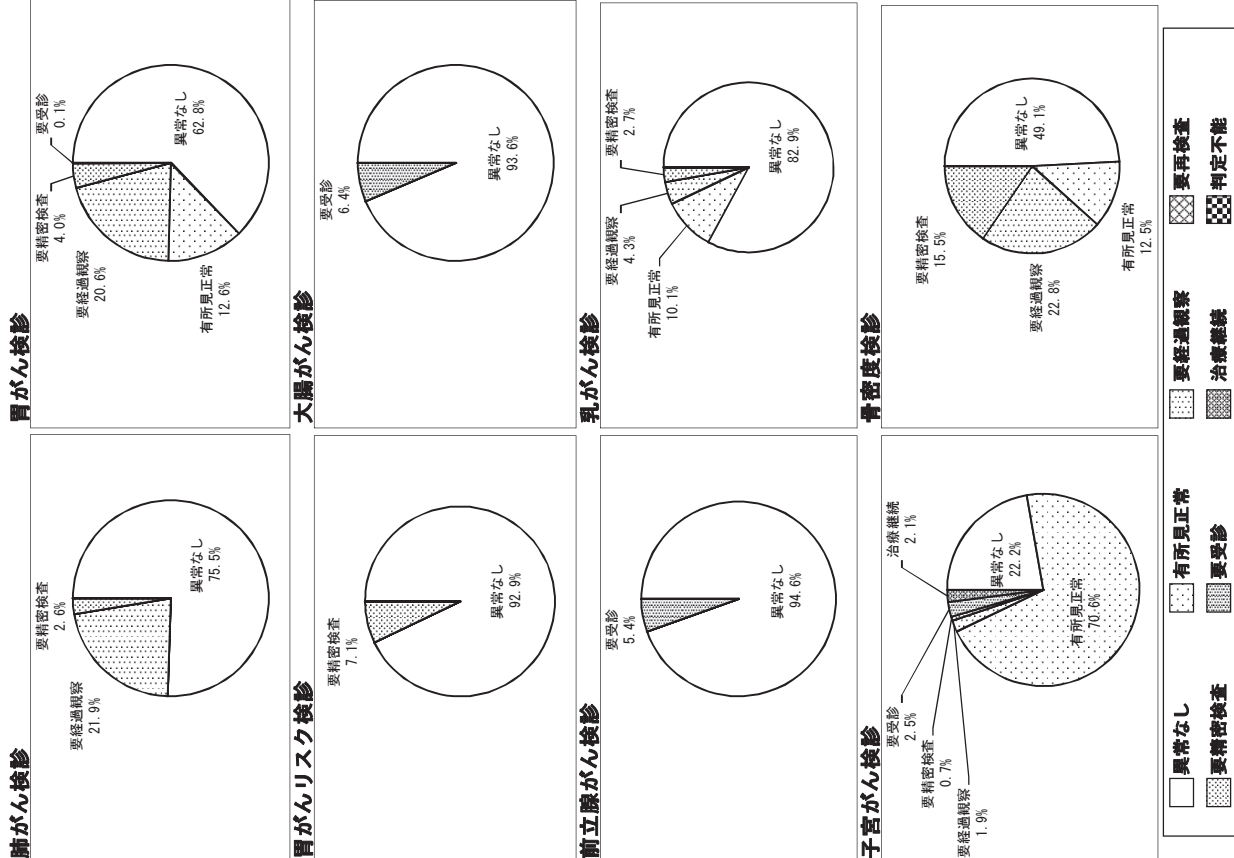
骨密度 (B市)

判定内訳		受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
		232	114	29	53		36			
	(%)		49.1	12.5	22.8		15.5			

年齢階層別判定内訳

年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
～19									
20～24									
25～29									
30～34									
35～39	1	1							
40～44	47	46	1						
45～49	9	9							
50～54	15	14	1						
55～59	12	8	2				2		
60～64	78	28	19	25			6		
65～69	41	7	4	16			14		
70～74	28	1	4	10			13		
75～79									
80～	1						1		
年齢不明									
合計	232	114	29	53		36			

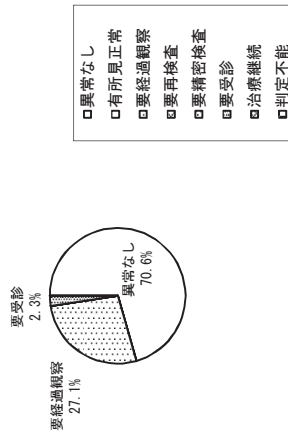
各検診判定 (B市)



推算糸球体濾過量 (B市)

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	40~44	6								
	45~49	17								
	50~54	15			3					
	55~59	10			3					
	60~64	16			4		2			
	65~69	69	47		21			1		
	70~74	56	29		22			5		
75~	5									
年齢不明										
合計		194	133		53		8			
(%)			68.6		27.3		4.1			
女性	40~44	22	21		1					
	45~49	24	20		4					
	50~54	13	12		1					
	55~59	16	13		3					
	60~64	49	37		11		1			
	65~69	100	65		35			2		
	70~74	49	29		18			2		
75~	2	1		1						
年齢不明										
合計		275	198		74		3			
(%)			72.0		26.9		1.1			
総合計		469	331		127		11			
(%)			70.6		27.1		2.3			

推算糸球体濾過量



10) 特定健診・特定保健指導

【はじめに】

メタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導は今年度で14年目を迎えた。当協会における令和3年度の特定健診・特定保健指導の実施状況をまとめたので報告する。

【特定健診】

令和3年度の特定健康診査の実施者数は87,269人であった。そのうち、メタボリックシンドロームと判定された人は11,818人(13.5%)で、予備軍と判定された人は10,276人(11.8%)であった。(表1)

また、「標準的な健診・保健指導に関するプログラム」に基づき階層化を行った結果、積極的支援に該当した者は7,491人(9.9%)、動機付け支援に該当した者は5,275人(7.0%)であった。(表2)

【特定保健指導】

平成30年度より第3期特定保健指導の開始に伴い、以下3点の変更されたルールに配慮し、それぞれの契約保険者との契約により実施した。

- ① 特定健診当日に結果が揃わなくても、初回面接の分割実施を可能とする。
- ② 特定保健指導の実施評価時期を3ヶ月以上の継続支援実施後とする。(以前は6ヶ月以上の継続支援実施後であった。)
- ③ 2年連続して積極的支援に該当した場合、1年目に比べ、2年目の状態が改善していれば、2年目の特定保健指導は動機付け支援相当で可能とする。

特定保健指導の実施者数は819人(積極的支援352人、動機付け支援464人、動機付け支援相当3人)であり、昨年度に比べて42人増加した。

そのうち、支援が終了した者は令和4年9月末時点で721人(88.0%)であった。支援別にみると、積極的支援が286人(81.3%)、動機付け支援が432人(93.1%)、動機付け支援相当は3人(100.0%)であった。途中脱落者は98人(12.0%)と昨年度より2.9%増加した。(表3-1)

導入されて4年目となる初回分割面接の実施者は149人(積極的支援36人、動機付け支援113人、動機付け支援相当0人)であった。終了した者は令和4年

9月末時点で110人(73.8%)であった。支援別にみると、積極的支援が20人(55.6%)、動機付け支援が90人(79.6%)であった。(表3-2)

特定保健指導支援終了者のうち、体重が1kg以上減少した人は3ヶ月での支援では333人(52.7%)、6ヶ月での支援では47人(52.8%)であった。増減1kg未満の人は3ヶ月での支援では259人(41.0%)、6ヶ月での支援では28人(31.5%)、1kg以上増加した人は3ヶ月での支援では40人(6.3%)、6ヶ月での支援では14人(15.7%)であった。(表4)

また、腹囲が1cm以上減少した人は3ヶ月での支援では334人(52.8%)、6ヶ月での支援では46人(51.7%)であった。増減1cm未満の人は3ヶ月での支援では220人(34.8%)、6ヶ月での支援では30人(33.7%)、1cm以上増加した人は3ヶ月での支援では78人(12.3%)、6ヶ月での支援では13人(14.6%)であった。(表5)

支援別に比較すると、1kg以上の体重の減少者は、積極的支援の人が172人(60.1%)、動機付け支援の人(動機付け支援相当を含む)が208人(47.8%)であった。1cm以上の腹囲の減少者は、積極的支援の人が162人(56.6%)、動機付け支援の人(動機付け支援相当を含む)が218人(50.1%)であった。

【まとめ】

厚生労働省の発表によると、令和2年度の特定健康診査の実施率は55.4%、特定健康診査を受けた者のうち特定保健指導の対象になった者は5,225,668人であり、受診者全体の18.1%となっている。特定保健指導対象者のうち特定保健指導を終了した者(途中脱落者は含まない)は1,186,047人であり、特定保健指導対象者全体の22.7%となっている。

特定保健指導対象者数は令和元年度の5,200,519人に対し、令和2年度は25,149人増加している。一方で特定保健指導実施率は令和元年度の特定保健指導実施率(23.2%)より0.5%減少した。このことから対象者は増加しているが、実施率は低迷している結果となったことがわかる。

当協会における特定保健指導実施者数は、昨年度に比べて42人増加した。これは昨年より契約保険者数が数件増加したことに加え、新型コロナウイルス感染

症拡大による影響で減少していた特定健康診査の受診者数が、例年通りに回復していることが要因と考えられる。特定保健指導の実施者数のうち、支援が終了した者は721人（88.0%）であり、初回分割面接実施者は110人（73.8%）であった。前年度は支援が終了した者は705人（90.7%）であり、初回分割面接実施者は117人（83.6%）であった。支援終了率を比較すると、全数では昨年度より2.7%減少している。全体の支援終了率を下げた要因として考えられるのは、初回面接を分割で実施した者の分割2回目の面接や継続支援が円滑に進まなかったことである。初回面接の分割実施は、健診当日に抽出条件となる全ての結果が揃わないままに初回面接を実施する。健診当日に指導の案内ができるため、特定保健指導対象者の初回面接実施率が向上するメリットがある。一方で対象者の全体像が把握しにくく、データに合わせた適切な指導を一度に実施できない、分割となるため2回目面接までの期間が空いてしまい、連絡が取れなくなってしまうことがあるといったデメリットもある。今回はこのデメリットが大きく影響したのではないかと考える。契約保険者の中には特定保健指導実施率向上のために健診当日に初回面接実施まで繋げてほしいといった意見もあり、初回面接の分割実施は必要がある支援方法であることは否定できない。しかし、本人の生活習慣改善の意志が全くない状況で初回面接を行うこともあり、意識改善や行動変容に結びつかない指導となってしまうことは課題である。第4期特定保健指導の見直し時には、この課題をクリアできるような制度となることを望む。

特定保健指導の効果は、体重・腹囲ともに全体の約半数にみられた。支援別に比較すると体重・腹囲ともに積極的支援で効果がみられているため、積極的な介入が改善につながったと思われる。また、支援期間別にみると、積極的支援では6ヶ月支援のほうが1kg以上の体重・腹囲減少があった者の割合が高い。一方、動機づけ支援では3ヶ月支援のほうが1kg以上の体重・腹囲減少があった者の割合が高い。しかし、3ヶ月支援の対象者が大幅に増加したことで支援期間ごとの対象者数が大きく異なるため、単に割合で評価することはできないと考える。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から出張による指導を控え、情報通信技術（Zoom）を活用した遠隔面接を主流に実施した。厚生労働省は令和2年にビデオ通話が可能な情報通信技術を活用した初回面接におけるグループ支援の実施を可能とするとともに、情報通信技術を活用した継続支援について、対面で行う場合と同等のポイントを算定すると通知した。このような時代に即した制度の見直しにより、特定保健指導の支援方法が多様化している。しかし、当協会では遠隔面接はすべて個別で対応することとし、また、継続支援での遠隔面接は導入していない。これは遠隔でのグループ面接を実施した場合、対象者がどう受け止めているかという認識を掴むことが難しい、タイムラグが生じることにより時間が多く必要となるといった遠隔面接のデメリットがより顕著に現れてしまうと考えたためである。また、継続支援での遠隔面接は時間や場所を確保しての実施となるため、顧客側の負担が大きくなる他、指導者側も準備に時間や労力がかかるため効率的でないと判断したため採用していない。当協会では今後も制度の見直し等による変化を逃さないよう情報収集をしつつ、顧客側にも協会側にもベストな方法を検討し、選択していく必要があると考える。

厚生労働省では現在、第4期特定保健指導にむけての検討会が複数回実施されている。現状報告されている中では、指導効果に焦点を当てた評価方法（アウトカム評価）の導入が挙げられている。この大きな見直しに際し、今までの実施率向上に向けた取り組みだけでなく、効果を得られる指導がますます必要とされているといえる。そのため、当協会では今後もより多くの方に特定健診と特定保健指導について理解していただき、生活習慣の問題に自ら気づき、意欲的に生活習慣の改善に取り組めるような保健指導の提供に努めていきたい。

（平野 由佳梨）

表1 令和3年度 特定健康診査・メタボリックシンドローム判定結果

区分	受診者数		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		
	40-64歳 65-74歳	計	% [*]	40-64歳 65-74歳	% [*]	計	% [*]	40-64歳 65-74歳	% [*]	計	% [*]
男性	42,827 6,328	9,849	20.0	8,098 1,751	18.9 27.7	8,288	16.9	27,165 3,575	63.4 56.5	30,740	62.5
女性	33,049 5,065	1,969	5.2	1,512 457	4.6 9.0	1,988	5.2	29,738 4,335	90.0 85.6	34,073	89.4
合計	75,876 11,393	11,818	13.5	9,610 2,208	12.7 19.4	10,276	11.8	56,903 7,910	75.0 69.4	64,813	74.3

* 年齢起算日は、令和4年3月31日付けで算出した。

1：受診者合計に対するそれぞれの該当群合計の割合

2：対象年齢群合計に対する該当群の割合

表2 令和3年度 特定健康診査・階層化結果

区分	積極的支援		動機付け支援		情報提供		判定不能	
	該当者数	%	該当者数	%	該当者数	%	該当者数	%
男性	42,827	15.4	3,368	7.9	32,766	76.5	113	0.3
女性	33,049	2.8	1,907	5.8	30,207	91.4	24	0.1
合計	75,876	9.9	5,275	7.0	62,973	83.0	137	0.2

* 年齢起算日は、令和4年3月31日付けで算出した。 正規の階層化がされる受診者（40～64歳）に対し計上した。

○初回面接分割実施について

腹囲・体重・血圧・喫煙歴の結果から健診当日に対象者を抽出し、特定保健指導初回面接を健診当日に実施。後日すべての健診結果を踏まえ、決定した支援レベルや方法を電話等で本人に報告する。報告電話を初回面接②と位置付けているため初回面接分割実施とされている。

○動機付け支援相当について

2年連続で積極的支援と該当された場合、BMI30未満であれば腹囲1cm以上かつ体重1kg以上、BMI30以上であれば、腹囲2cm以上かつ体重2kg以上と昨年度のデータより改善が見られた場合、動機付け支援と同等の支援方法で支援を実施するとわれている。

表3-1 初回面接実施者 特定保健指導支援別実施状況

区分	初回面接実施者数 (初回分割面接実施者を含めない人数)		支援終了		途中脱落		継続支援中	
	人	%	人	%	人	%	人	%
積極的支援	352 (316)		286 (266)	81.3 (84.2)	66 (50)	18.8 (15.8)	0 (0)	0.0 (0.0)
動機付け支援	464 (351)		432 (342)	93.1 (97.4)	32 (9)	6.9 (2.6)	0 (0)	0.0 (0.0)
動機付け支援相当	3 (3)		3 (3)	100.0 (100.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)
総計	819 (670)		721 (611)	88.0 (91.2)	98 (59)	12.0 (8.8)	0 (0)	0.0 (0.0)

* すべてのデータは令和4年9月30日現在

* () 内は初回分割面接実施者を含めない人数

表3-2 初回分割面接実施者 特定保健指導支援別実施状況

区分	初回分割面接実施者数		支援終了		途中脱落		継続支援中	
	人	%	人	%	人	%	人	%
積極的支援	36	20	55.6	16	44.4	0	0.0	
動機付け支援	113	90	79.6	23	20.4	0	0.0	
動機付け支援相当	0	0	0	0	0	0		
総計	149	110	73.8	39	26.2	0	0.0	

* すべてのデータは令和4年9月30日現在

表4 健診時と支援終了時の体重の変化

区分	積極的支援				動機付け支援				動機付け支援相当				計			
	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	%	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	%	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	%	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	%
1kg以上の 体重減少	143	59.1	29	65.9	189	48.8	18	40.0	1	33.3	0	0	333	52.7	47	52.8
1kg未満の 体重増減	85	35.1	10	22.7	172	44.4	18	40.0	2	66.7	0	0	259	41.0	28	31.5
1kg以上の 体重増加	14	5.8	5	11.4	26	6.7	9	20.0	0	0.0	0	0	40	6.3	14	15.7
合計	242	100.0	44	100.0	387	100.0	45	100.0	3	100.0	0	0	632	100.0	89	100.0

* 令和4年9月30日現在での支援終了者のみを対象とした

* 初回分割面接実施者を含む

* 継続支援を実施していない対象者（初回面談のみ実施した対象者）は除外

表5 健診時と支援終了時の腹囲の変化

区分	積極的支援				動機付け支援				動機付け支援相当				計			
	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	%	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	%	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	%	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	%
1cm以上の 腹囲減少	133	55.0	29	65.9	201	51.9	17	37.8	0	0.0	0	0	334	52.8	46	51.7
1cm未満の 腹囲増減	76	31.4	10	22.7	141	36.4	20	44.4	3	100.0	0	0	220	34.8	30	33.7
1cm以上の 腹囲増加	33	13.6	5	11.4	45	11.6	8	17.8	0	0.0	0	0	78	12.3	13	14.6
合計	242	100.0	44	100.0	387	100.0	45	100.0	3	100.0	0	0	632	100.0	89	100.0

* 令和4年9月30日未現在での支援終了者のみを対象とした

* 初回分割面接実施者を含む

* 継続支援を実施していない対象者（初回面談のみ実施した対象者）は除外

1 1) ワクチン接種

【はじめに】

「ワクチン」とは、「主に感染症を防ぐ目的で人や動物に投与される、免疫を不活化するための無害化された病原体などの物質を含む医薬品」である。

ワクチンは、免疫系が病原体の抗原に対する抗体を作るように促すため、ワクチンを接種しておくことで、実際に病原体にさらされた時に重症化しない効果がある。

【インフルエンザワクチン】

現行のインフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかからない、というものではない。しかし、インフルエンザの発病を予防することや、発病後の重症化や死亡を予防することに関しては、一定の効果があるとされている。

【B型肝炎ワクチン】

B型肝炎ワクチンを接種することにより、B型肝炎ウイルスの抗体（免疫）を獲得することができ、ウイルスにさらされても感染や発症をしにくくなる。抗体を獲得するには、4 か月～6 か月の間に3回接種することが望ましく、その効果は長い方で20年以上続くと言われている。

【新型コロナウイルスワクチン】

新型コロナウイルスワクチンとして、日本国内での接種が始まったのは「m（メッセンジャー）RNA ワクチン」である。

mRNA ワクチンは、新型コロナウイルスの表面

上に突き出した突起状のたんぱく質の設計図が書き込まれた mRNA が、脂質の膜でくるまれて入っている。接種したワクチン内の mRNA は、体内で細胞の中に入り込み、細胞内にある「たんぱく質製造工場」で、設計図に書いてある突起状のたんぱく質をつくり出す。このたんぱく質が、新型コロナウイルスの特徴的な目印（抗原）の役目をします。「異物」をみつけた体内の免疫システムが動き出し、新型コロナウイルスの目印めがけて攻撃をする抗体が作り出されます。

令和4年9月から接種が始まっているオミクロン対応2価ワクチンは、従来株の mRNA に加え、オミクロン型に共通するスパイクタンパク質の mRNA が含まれており、今後の変異株に対してもより有効であることが期待されている。

【まとめ】

新型コロナウイルスワクチンについては、2019年12月中国湖北省武漢市で新型コロナウイルス感染症 COVID-19 の発生が報道されてから3年を経とうとしている。当会は新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、地域住民の生命及び健康を守るため職域、施設接種に取り組んできた。

4回目、5回目の接種も始まっているが、今冬は新型コロナウイルスの「第8波」と季節性インフルエンザとの「同時流行」が懸念される中、当会が掲げる「みんなの健康を守る」という理念に基づき、今後もワクチン接種事業を推進していく。

（滝浪 聡之）

表1 ワクチン接種 種類・拠点別 集計表

ワクチン種類	藤枝健診センター		ヘルスポート		浜松健診センター		合 算	
	巡回	所内	巡回	所内	巡回	所内	巡回	所内
インフルエンザ ワクチン	8,945	300		88	6,303	451	15,248	839
B型肝炎 ワクチン	1,523	26		11	100	6	1,623	43
コロナ ワクチン	37,288	910		1,292	7,490	4,672	44,778	6,874
その他 (感染症等)	12	3		0	0	0	12	3
合 計	47,768	1,239		1,391	13,893	5,129	61,661	7,759

※その他（感染症等）・・・麻疹・風疹・水痘・耳下腺炎・百日咳・破傷風のワクチン接種が含まれます。

第二章 検査・健(検)診事業

3. 人間ドック

1) 人間ドック

1) 人間ドック

表1 受診者数の推移……………92

図1 受診者数の推移……………92

表2 コース別受診者数……………92

表3 年齢階層別人間ドック受診者数……………93

図2 年齢階層別人間ドック受診者数……………93

表4 年齢階層別における人間ドック受診者の推移……………94

図3 年齢階層別人間ドック受診者の推移……………94

表5 人間ドック受診者数における発見がん数……………95

表6 人間ドック健診結果一覧表……………96

図4 人間ドック有所見率(要経過観察以上)……………97

表7 人間ドック年齢別・判定割合……………97

図5 人間ドック年齢別・判定割合……………98

図6 人間ドックオプション実績……………98

表8 人間ドック受診者におけるオプション実績の推移……………99

図7 人間ドック受診者におけるオプション実績の推移……………99

1) 人間ドック

〔はじめに〕

平成 9 年藤枝市に、人間ドックの健診施設として総合健診センター・ヘルスポートを開設、平成 24 年 1 月には新棟が落成し、以来受診者や企業等の要望に応えながら健診の充実を図ってきている。また、日本総合健診医学会の優良総合健診施設の認定を受け精度向上の維持に努めている。

健診コースは、基本ドックを始め、婦人科検診、脳ドック、骨ドック、二次検査等を実施しているが、健康保険組合等の希望する専用のコースにも対応している。

ものわすれドックでは、認知症のリスクを知り、予防に努めるものとして注目が高まっている。

胃部検査においては、希望により胃部内視鏡検査を実施している。同検査での経鼻法は好評を得ている。また、がん関連検査として胸部CT、大腸CT、マンモグラフィ、乳房超音波検査など、動脈硬化検査として血圧脈波検査、頸動脈エコーなどのオプション検査も充実させた。さらに、腸内環境が健康に密接に関係していることから、令和元年度から腸内フローラ検査をオプションに加わえた。

〔受診者数の推移〕

令和 3 年度は総受診者数 24,357 人、人間ドック(基本ドック)受診者数は昨年度に比べ 495 人増加の 13,602 人と、当初計画した目標人数に到達した。

〔令和 3 年度健診実施状況〕

総受診者数は 24,357 人(男性 10,522 人、女性 13,835 人)であった。このうち、人間ドック(基本ドック)は 13,602 人(男性 7,970 人、女性 5,632 人)、婦人科 6,336 人、脳ドック(A・B)1,818 人、その他健診 1,314 人、二次検査 1,287 人でピロリ菌の除菌が減った。

〔年齢階層別 ドック受診者〕

ドック受診者の年齢階層をみると、50 歳代が最も多く 4,709 人(34.6%)、次いで 40 歳代が 4,325 人(31.8%)となり、この年代で全体の約 7 割を占めている。

〔ドック受診者(オプション項目含む)判定結果〕

検査項目別では、頸動脈超音波 60.6%、脂質 52.8%、腹部超音波 49.1%、循環器 43.8%、眼底・眼圧 42.2%、肝・膵 39.4%、血液一般 31.2%、消化器 30.1%と高い有所見率となっている。

特に、頸動脈超音波、脂質、腹部超音波で、男性、女性ともに高い有所見率が示されている。

〔人間ドック受診者数における発見がん数〕

表 5 の項目で検査を実施した数のうち、紹介状等で追跡調査できた確定がん発見者数は 36 人であった。

〔まとめ〕

有所見率を見ると、生活習慣病の指標となる脂質、肝機能の検査で異常を示す割合が多い。人間ドックでは保健指導や栄養指導を同時に受けられるので、生活習慣を見直す良い機会として、今後も保健師・栄養士から積極的なアプローチを行っていく。

平成 28 年 9 月から、従来のものわすれドックに血液検査のMC I スクリーニング検査を加え、アルツハイマー病の原因物質であるアミロイドベータペプチドを排出したり防御する働きのある 3 種類の血液中のタンパク質の量を調べている。

結果は脳神経外科の専門医から受けられるので、今後受診者が増えていくことが予測される。

二次検査では、循環器の専門医による心臓超音波検査・負荷心電図、ホルター心電図、消化器の専門医による胃部内視鏡検査なども積極的に行っている。

胃部内視鏡検査の申込み増加にともない、木・金曜日と第 2、4 の月曜日の午後の実施に加え、月に 2 回ほど水曜日の午後にも実施できる体制をとった。

(小林 辰雄)

表1 受診者数の推移

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比
基本ドック	12,215	12,617	12,938	13,107	13,602	495
婦人科	6,121	6,351	6,551	6,353	6,336	-17
脳ドック	1,995	1,950	1,903	1,749	1,818	69
その他健診	1,086	1,113	1,068	1,112	1,314	202
二次検査	1,922	1,948	1,637	1,386	1,287	-99
健診合計	23,339	23,979	24,097	23,707	24,357	650

※基本ドック：基本ドックと脳ドック A コースの合計人数

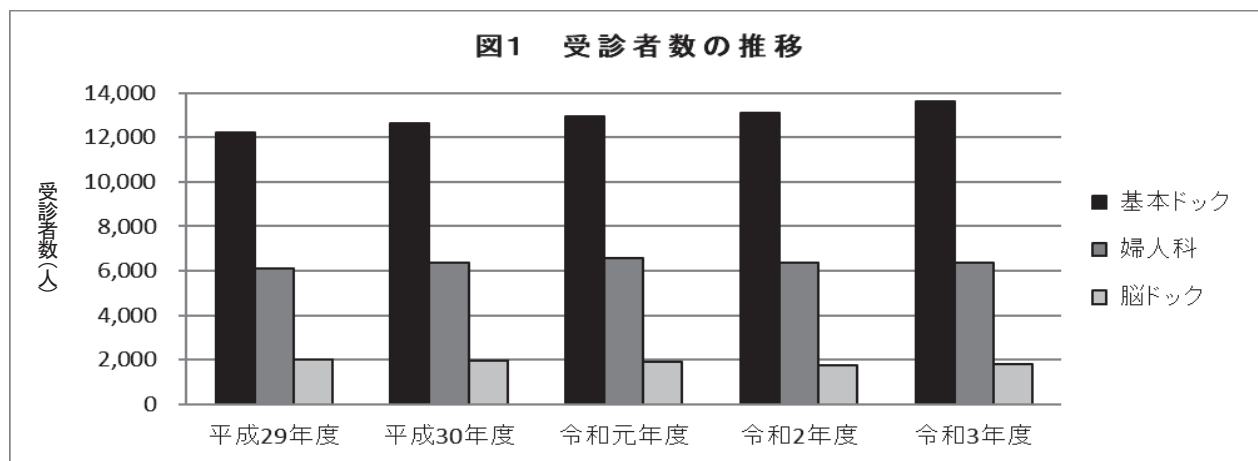


表2 コース別 受診者数

区分	基本ドック	婦人科	脳ドック	骨密度検査	その他健診	二次検査	合計
男性	7,970	0	1,098	86	661	793	10,608
女性	5,632	6,336	720	446	653	494	14,281
計	13,602	6,336	1,818	532	1,314	1,287	24,889

表3 年齢階層別 人間ドック受診者数

基本ドック	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
男性	64	634	2,430	2,798	1,570	453	21	7,970
女性	43	487	1,895	1,911	1,073	212	11	5,632
計	107	1,121	4,325	4,709	2,643	665	32	13,602

図2 年齢階層別 人間ドック受診者数

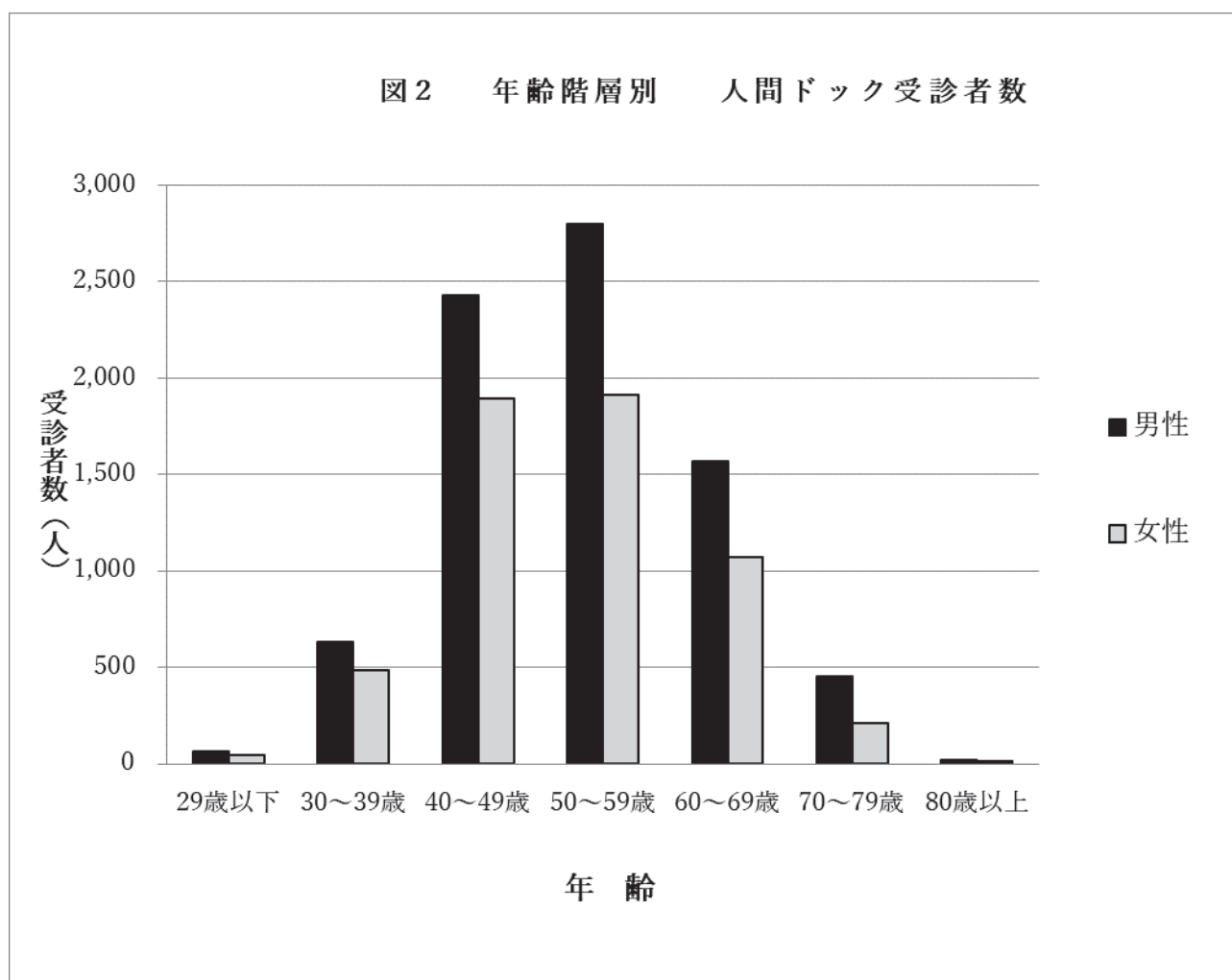


表4 年齢階層別における人間ドック受診者数の推移

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
29歳以下 男性	27	39	54	59	64
29歳以下 女性	44	45	45	51	43
30～39歳 男性	646	610	603	637	634
30～39歳 女性	543	498	496	516	487
40～49歳 男性	2,393	2,408	2,439	2,419	2,430
40～49歳 女性	1,753	1,842	1,829	1,895	1,895
50～59歳 男性	2,697	2,771	2,761	2,763	2,798
50～59歳 女性	1,651	1,665	1,741	1,801	1,911
60～69歳 男性	1,317	1,392	1,422	1,475	1,570
60～69歳 女性	806	909	981	967	1,073
70～79歳 男性	218	286	371	350	453
70～79歳 女性	94	127	164	152	212
80歳以上 男性	15	20	21	16	21
80歳以上 女性	11	5	11	6	11

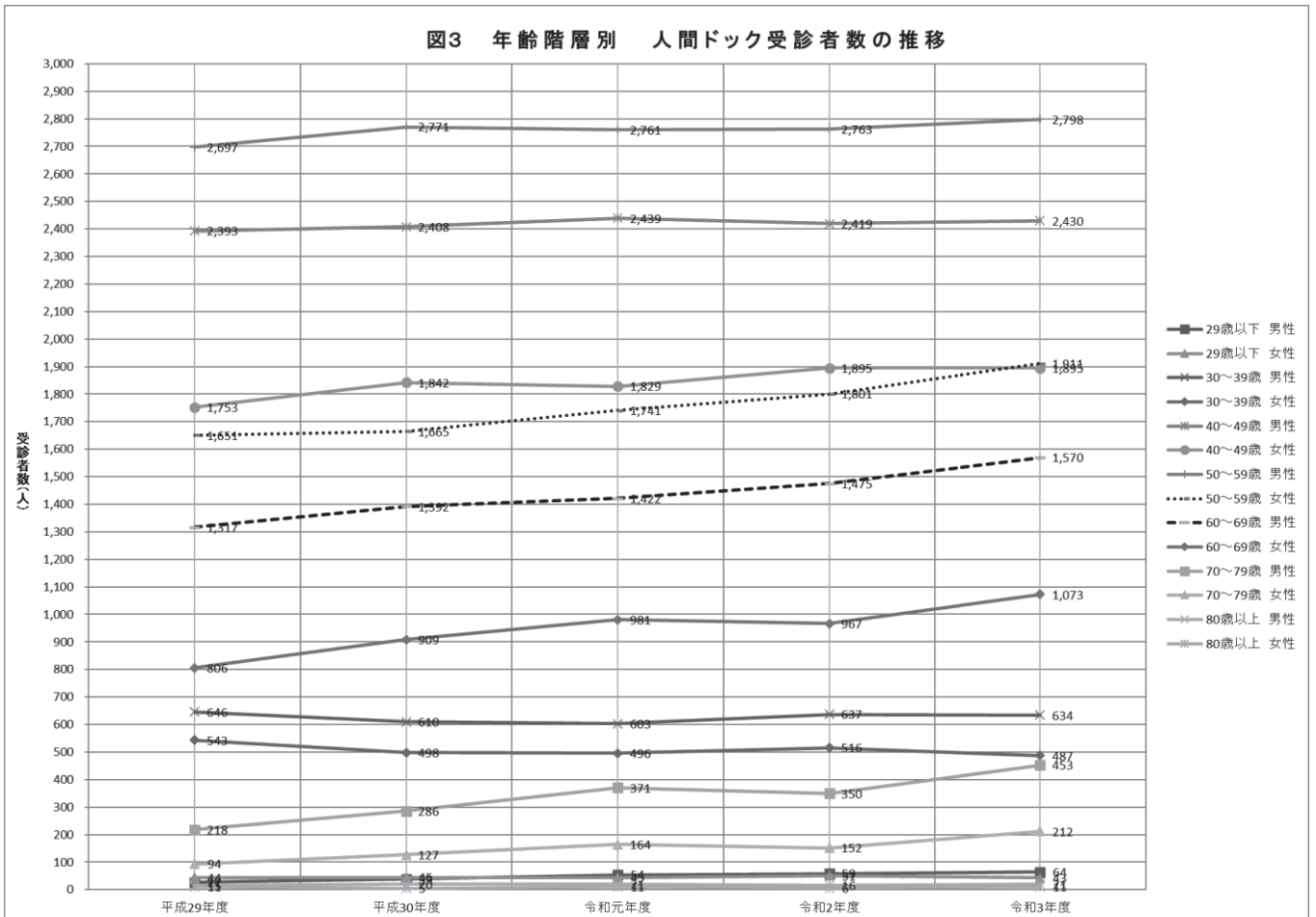


表5 人間ドック受診者数における発見がん数

検査	検査実施者数	発見がん数 (疑い含む)	確定発見がん数
肺がん	13,520	33	2
食道がん	12,188	9	1
胃がん	12,188	15	4
肝臓がん	13,558	0	0
胆のうがん	13,558	3	0
膵臓がん	13,558	5	2
腎臓がん	13,558	2	0
大腸がん	13,400	70	11
前立腺がん	2,003	8	4
乳がん	3,870	7	6
子宮頸がん	3,395	13	2
子宮体がん	0	0	0
卵巣がん	274	1	1
血液がん	13,601	3	3
その他	13,603	0	0
合計		169	36

表6 人間ドック健診結果一覧表

区 分	受診者数	異常なし %	有所見正常 %	要経過観察 %	要再検査 %	要精密検査 %	要受診 %	要治療継続 %	
総合判定	男性	7,970	23 0.3	111 1.4	2,208 27.7	651 8.2	589 7.4	3,044 38.2	1,344 16.9
	女性	5,632	13 0.2	119 2.1	2,199 39.0	325 5.8	422 7.5	1,754 31.1	800 14.2
	計	13,602	36 0.3	230 1.7	4,407 32.4	976 7.2	1,011 7.4	4,798 35.3	2,144 15.8
基本	男性	7,968	3,408 42.8	0 0.0	4,557 57.2	0 0.0	0 0.0	3 0.0	0 0.0
	女性	5,632	3,365 59.7	0 0.0	2,243 39.8	0 0.0	0 0.0	22 0.4	2 0.0
	計	13,600	6,773 49.8	0 0.0	6,800 50.0	0 0.0	0 0.0	25 0.2	2 0.0
呼吸器	男性	7,968	5,989 75.2	860 10.8	928 11.6	18 0.2	114 1.4	17 0.2	42 0.5
	女性	5,631	4,297 76.3	711 12.6	465 8.3	7 0.1	107 1.9	14 0.2	30 0.5
	計	13,599	10,286 75.6	1,571 11.6	1,393 10.2	25 0.2	221 1.6	31 0.2	72 0.5
循環器	男性	7,970	3,122 39.2	902 11.3	1,425 17.9	399 5.0	89 1.1	337 4.2	1,696 21.3
	女性	5,632	2,968 52.7	651 11.6	1,081 19.2	167 3.0	43 0.8	140 2.5	582 10.3
	計	13,602	6,090 44.8	1,553 11.4	2,506 18.4	566 4.2	132 1.0	477 3.5	2,278 16.7
眼底・眼圧	男性	7,948	4,061 51.1	298 3.7	2,358 29.7	0 0.0	2 0.0	754 9.5	475 6.0
	女性	5,600	3,283 58.6	185 3.3	1,462 26.1	2 0.0	3 0.1	378 6.8	287 5.1
	計	13,548	7,344 54.2	483 3.6	3,820 28.2	2 0.0	5 0.0	1,132 8.4	762 5.6
消化器	男性	7,932	3,253 41.0	1,948 24.6	1,770 22.3	14 0.2	672 8.5	57 0.7	218 2.7
	女性	5,580	2,472 44.3	1,766 31.6	927 16.6	12 0.2	322 5.8	17 0.3	64 1.1
	計	13,512	5,725 42.4	3,714 27.5	2,697 20.0	26 0.2	994 7.4	74 0.5	282 2.1
腹部超音波	男性	7,944	2,413 30.4	1,023 12.9	4,381 55.1	13 0.2	82 1.0	22 0.3	10 0.1
	女性	5,614	2,649 47.2	817 14.6	2,084 37.1	7 0.1	48 0.9	3 0.1	6 0.1
	計	13,558	5,062 37.3	1,840 13.6	6,465 47.7	20 0.1	130 1.0	25 0.2	16 0.1
血液一般	男性	7,969	5,399 67.8	455 5.7	1,903 23.9	50 0.6	1 0.0	149 1.9	12 0.2
	女性	5,632	3,300 58.6	203 3.6	1,761 31.3	33 0.6	1 0.0	235 4.2	99 1.8
	計	13,601	8,699 64.0	658 4.8	3,664 26.9	83 0.6	2 0.0	384 2.8	111 0.8
糖尿病	男性	7,969	2,687 33.7	3,296 41.4	1,160 14.6	30 0.4	9 0.1	278 3.5	509 6.4
	女性	5,632	2,233 39.6	2,457 43.6	711 12.6	6 0.1	2 0.0	98 1.7	125 2.2
	計	13,601	4,920 36.2	5,753 42.3	1,871 13.8	36 0.3	11 0.1	376 2.8	634 4.7
脂質	男性	7,969	3,131 39.3	413 5.2	1,745 21.9	573 7.2	0 0.0	918 11.5	1,189 14.9
	女性	5,632	2,110 37.5	767 13.6	1,487 26.4	168 3.0	0 0.0	401 7.1	699 12.4
	計	13,601	5,241 38.5	1,180 8.7	3,232 23.8	741 5.4	0 0.0	1,319 9.7	1,888 13.9
尿酸	男性	7,949	5,691 71.6	37 0.5	1,022 12.9	11 0.1	0 0.0	394 5.0	794 10.0
	女性	5,619	5,266 93.7	244 4.3	76 1.4	0 0.0	0 0.0	14 0.2	19 0.3
	計	13,568	10,957 80.8	281 2.1	1,098 8.1	11 0.1	0 0.0	408 3.0	813 6.0
肝・臓	男性	7,969	3,943 49.5	289 3.6	2,665 33.4	65 0.8	0 0.0	989 12.4	18 0.2
	女性	5,632	3,646 64.7	363 6.4	1,323 23.5	14 0.2	0 0.0	274 4.9	12 0.2
	計	13,601	7,589 55.8	652 4.8	3,988 29.3	79 0.6	0 0.0	1,263 9.3	30 0.2
腎機能	男性	7,969	6,038 75.8	73 0.9	1,468 18.4	93 1.2	48 0.6	191 2.4	58 0.7
	女性	5,632	4,046 71.8	248 4.4	965 17.1	86 1.5	35 0.6	233 4.1	19 0.3
	計	13,601	10,084 74.1	321 2.4	2,433 17.9	179 1.3	83 0.6	424 3.1	77 0.6
梅毒・炎症	男性	7,949	7,175 90.3	0 0.0	698 8.8	50 0.6	0 0.0	25 0.3	1 0.0
	女性	5,618	5,135 91.4	0 0.0	450 8.0	28 0.5	0 0.0	4 0.1	1 0.0
	計	13,567	12,310 90.7	0 0.0	1,148 8.5	78 0.6	0 0.0	29 0.2	2 0.0
リウマチ	男性	7,474	6,952 93.0	27 0.4	421 5.6	0 0.0	0 0.0	49 0.7	25 0.3
	女性	5,298	4,800 90.6	24 0.5	388 7.3	0 0.0	0 0.0	37 0.7	49 0.9
	計	12,772	11,752 92.0	51 0.4	809 6.3	0 0.0	0 0.0	86 0.7	74 0.6
腫瘍マーカー	男性	6,501	6,167 94.9	0 0.0	119 1.8	59 0.9	71 1.1	79 1.2	6 0.1
	女性	4,805	4,701 97.8	0 0.0	44 0.9	28 0.6	23 0.5	9 0.2	0 0.0
	計	11,306	10,868 96.1	0 0.0	163 1.4	87 0.8	94 0.8	88 0.8	6 0.1
婦人科	女性	3,397	467 13.7	2,217 65.3	482 14.2	28 0.8	65 1.9	79 2.3	59 1.7
乳房	女性	3,870	2,528 65.3	447 11.6	731 18.9	2 0.1	1 0.0	159 4.1	2 0.1
喀痰	男性	124	120 96.8	3 2.4	0 0.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性	67	64 95.5	3 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	計	191	184 96.3	6 3.1	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
骨密度	男性	74	60 81.1	8 10.8	5 6.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4
	女性	353	215 60.9	42 11.9	56 15.9	0 0.0	34 9.6	0 0.0	6 1.7
	計	427	275 64.4	50 11.7	61 14.3	0 0.0	34 8.0	0 0.0	7 1.6
MRI	男性	1,051	474 45.1	345 32.8	211 20.1	0 0.0	10 1.0	11 1.0	0 0.0
	女性	647	304 47.0	224 34.6	108 16.7	0 0.0	3 0.5	8 1.2	0 0.0
	計	1,698	778 45.8	569 33.5	319 18.8	0 0.0	13 0.8	19 1.1	0 0.0
頸動脈超音波	男性	436	131 30.0	0 0.0	290 66.5	0 0.0	0 0.0	9 2.1	6 1.4
	女性	377	189 50.1	0 0.0	187 49.6	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0
	計	813	320 39.4	0 0.0	477 58.7	0 0.0	0 0.0	10 1.2	6 0.7
胸部CT	男性	450	46 10.2	329 73.1	70 15.6	4 0.9	1 0.2	0 0.0	0 0.0
	女性	134	15 11.2	82 61.2	33 24.6	2 1.5	2 1.5	0 0.0	0 0.0
	計	584	61 10.4	411 70.4	103 17.6	6 1.0	3 0.5	0 0.0	0 0.0
その他	男性	131	125 95.4	0 0.0	2 1.5	0 0.0	3 2.3	0 0.0	1 0.8
	女性	68	38 55.9	0 0.0	9 13.2	0 0.0	9 13.2	1 1.5	11 16.2
	計	199	163 81.9	0 0.0	11 5.5	0 0.0	12 6.0	1 0.5	12 6.0

図4 人間ドック 有所見率(要経過観察以上)

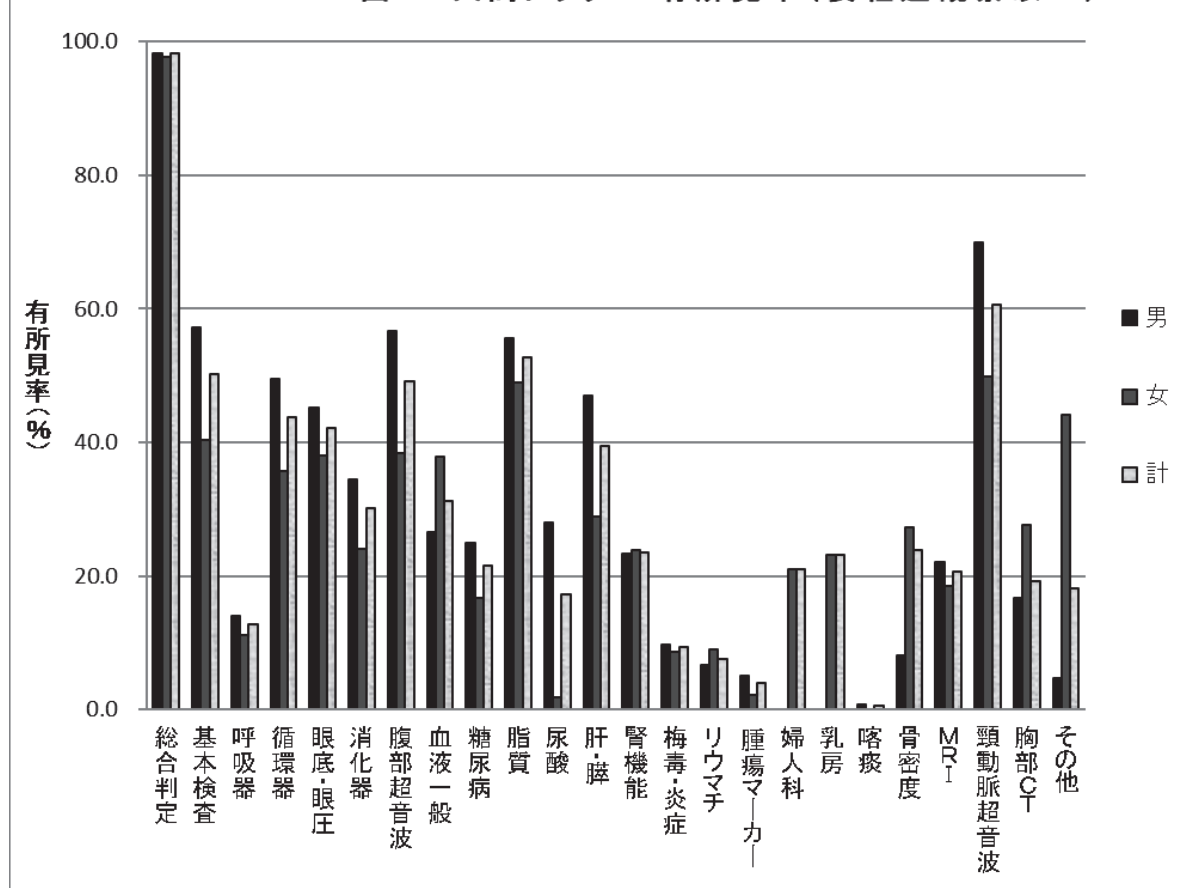


表7 人間ドック年齢別・判定割合

区分	受診者数	A (異常なし)	B (心配なし)	C (要経過観察)	D (要再検査)	E (要精密検査)	F (要受診)	G (要治療継続)	
男性	29歳以下	64	1	8	30	4	3	18	0
	30-39歳	634	10	25	295	44	31	213	16
	40-49歳	2,430	8	58	861	224	127	930	222
	50-59歳	2,798	4	16	744	213	209	1,080	532
	60-69歳	1,570	0	4	241	129	158	611	427
	70-79歳	453	0	0	37	32	59	181	144
	80歳以上	21	0	0	0	5	2	11	3
	男性合計	7,970	23	111	2,208	651	589	3,044	1,344
女性	29歳以下	43	1	4	17	4	3	13	1
	30-39歳	487	7	28	271	19	34	118	10
	40-49歳	1,895	5	55	908	106	109	578	134
	50-59歳	1,911	0	27	689	118	146	640	291
	60-69歳	1,073	0	5	272	64	99	341	292
	70-79歳	212	0	0	40	14	29	61	68
	80歳以上	11	0	0	2	0	2	3	4
	女性合計	5,632	13	119	2,199	325	422	1,754	800
全体	29歳以下	107	2	12	47	8	6	31	1
	30-39歳	1,121	17	53	566	63	65	331	26
	40-49歳	4,325	13	113	1,769	330	236	1,508	356
	50-59歳	4,709	4	43	1,433	331	355	1,720	823
	60-69歳	2,643	0	9	513	193	257	952	719
	70-79歳	665	0	0	77	46	88	242	212
	80歳以上	32	0	0	2	5	4	14	7
	全体計	13,602	36	230	4,407	976	1,011	4,798	2,144

図5 人間ドック 年齢別・判定割合

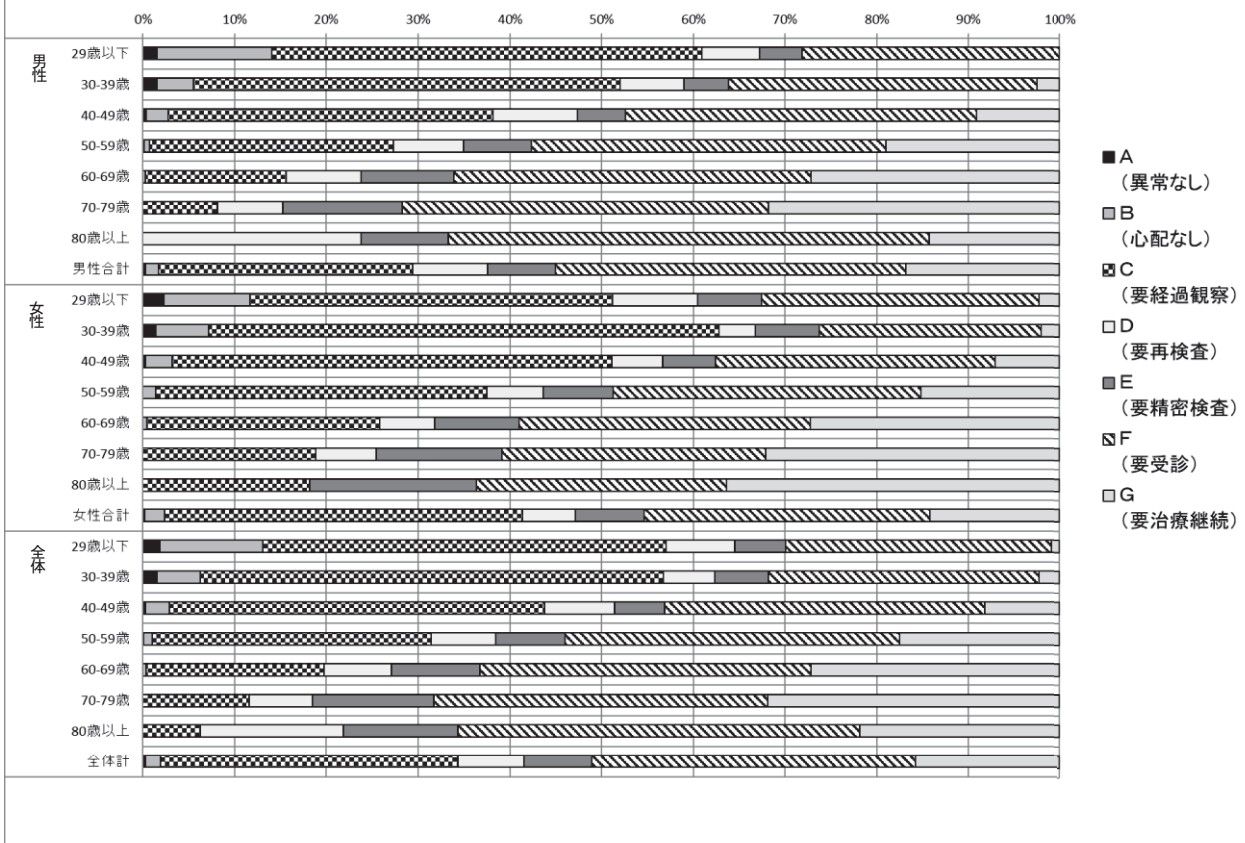


図6 人間ドック オプション実績

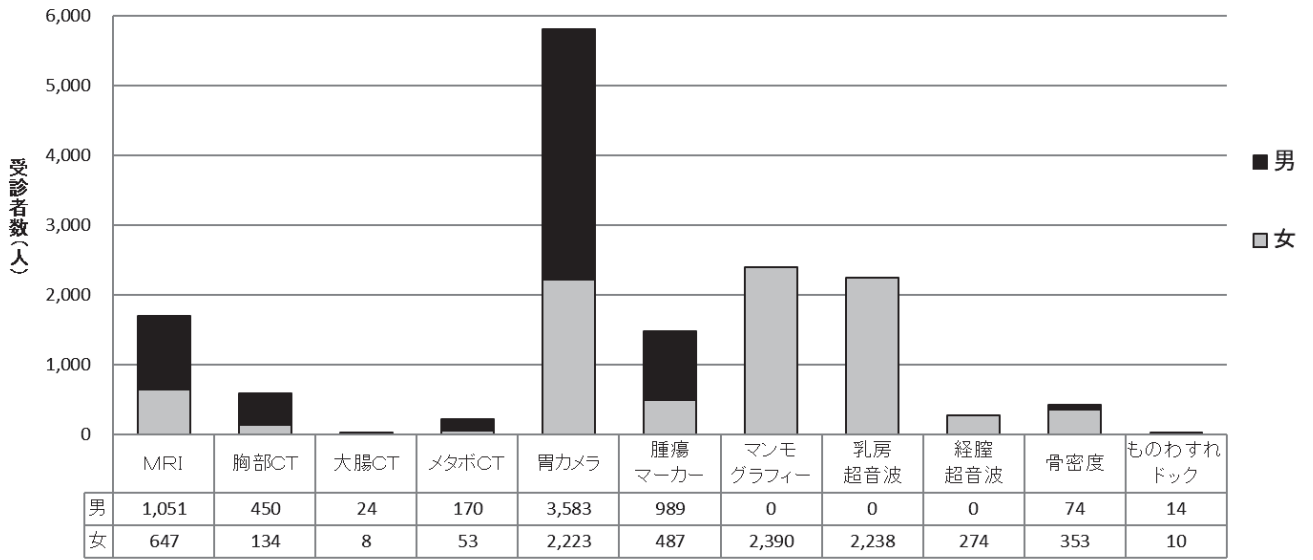
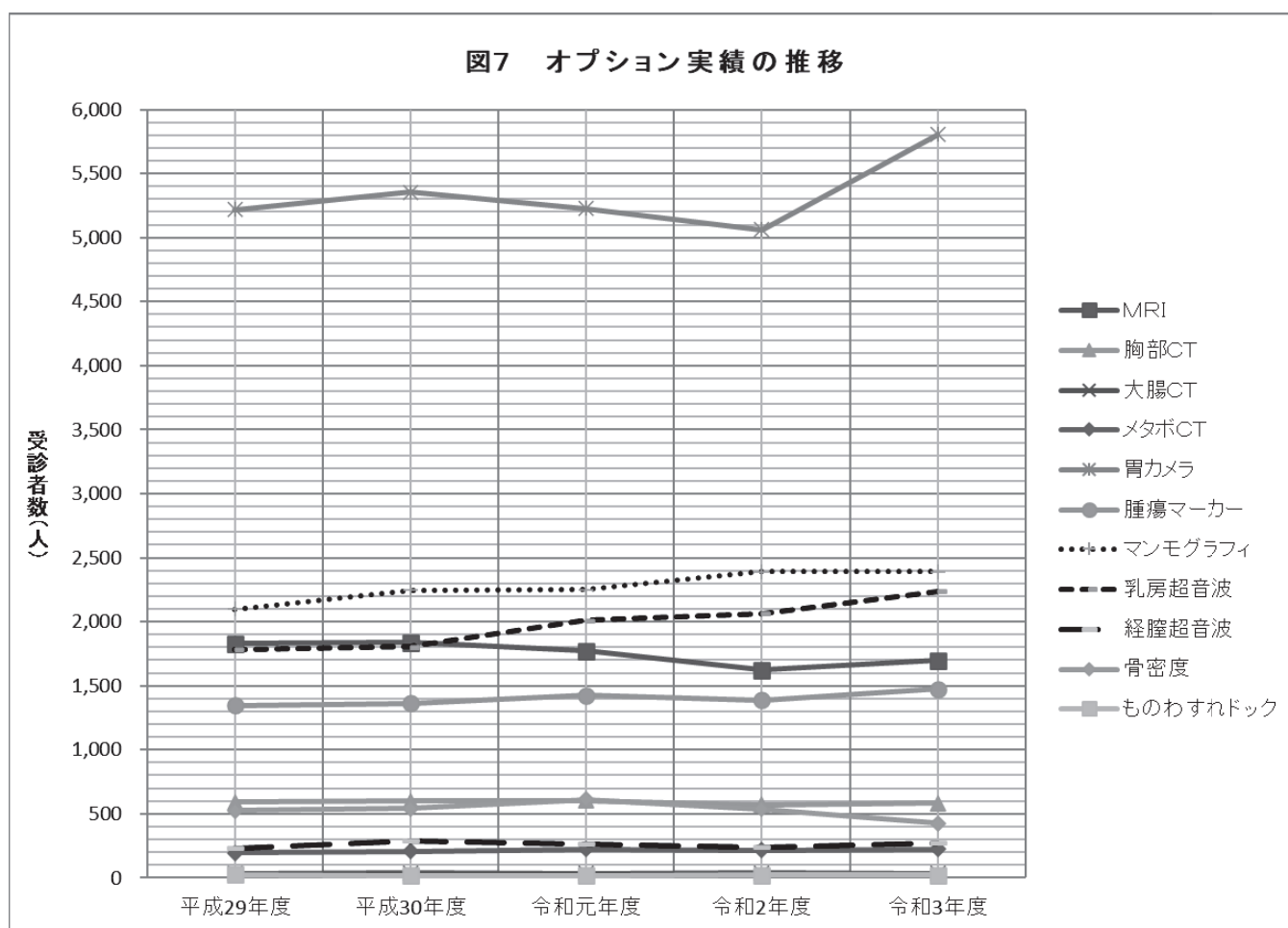


表8 人間ドック受診者におけるオプション実績の推移

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
MR I	1,828	1,836	1,770	1,621	1,699
胸部CT	589	600	605	572	584
大腸CT	32	36	34	38	32
メタボCT	193	208	225	217	223
胃カメラ	5,219	5,354	5,227	5,061	5,806
腫瘍マーカー	1,347	1,364	1,425	1,386	1,476
マンモグラフィ	2,097	2,247	2,249	2,392	2,390
乳房超音波	1,782	1,804	2,009	2,065	2,238
経膈超音波	231	291	264	241	274
骨密度	527	541	613	537	427
ものわすれドック	24	16	19	21	22

図7 オプション実績の推移



第二章 検査・健(検)診事業

4. 母子保健

1) 先天性代謝異常症等検査

1) 先天性代謝異常症等検査

表1 先天性代謝異常症等の症状、検査方法・・・102

図1 先天性代謝異常症等検査システム・・・103

表2 令和3年度先天性代謝異常症等検査の月別実施状況・・・103

表3 令和3年度先天性代謝異常症等検査の年度別患児発見数・・・104

1) 先天性代謝異常症等検査

〔はじめに〕

先天性代謝異常症や内分泌の病気の中には、発症前に発見し治療を開始すれば障害の予防または軽減を期待できる病気がある。このような病気に対して出生後すぐに検査を行い、早期発見・治療することにより障害を防ごうとする事を「新生児マススクリーニング」という。

〔新生児マススクリーニングの歴史〕

静岡県における先天性代謝異常スクリーニングは、厚生省母子保健事業の一環として、新生児を対象に、昭和 53 年 1 月より開始された。

当初は、フェニルケトン尿症、メープルシロップ尿症、ホモシスチン尿症、ヒスチジン血症、ガラクトース血症の 5 疾患が対象であったが、昭和 54 年 11 月から先天性甲状腺機能低下症、昭和 64 年 1 月から先天性副腎過形成症が加えられた。

その後、ヒスチジン血症については、厚生省心身障害研究班及び社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター特殊ミルク共同安全開発委員会の報告に基づき、平成 4 年 9 月よりスクリーニング対象疾患から除外された。

平成 23 年 3 月に出された厚生労働省の通達を受け、静岡県下でも平成 25 年 10 月より「アミノ酸代謝異常症」及び「有機酸代謝異常症」、「脂肪酸代謝異常症」のタンデムマススクリーニングが導入され、対象疾患が 20 疾患となった。

さらに、平成 27 年 10 月よりカルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ 2 欠損症が追加され、対象疾患は 21 疾患となっている。新生児マススクリーニングの対象疾患及び主な症状を表 1 に示した。

静岡県では、スクリーニング開始当初から昭和 55 年 3 月までは静岡県衛生研究所（現静岡県環境衛生科学研究所）において検査が行われていたが、同年 4 月以降は当協会が委託を受けている。現在では、政令指定都市である静岡市、浜松市、それ以外の地域の静岡県から委託を受け、引き続き静岡県全域の検査を行っている。

〔検査方法の変遷〕

アミノ酸代謝異常症検査法は、開始から平成 10 年度までガスリー法で行った。平成 11 年度にマイクロプレート酵素法、平成 13 年度にはアミノ酸分析計も導入し検査精度が飛躍的に向上した。平成 19 年度からはタンデムマススペクトル（誘導体化）法を用いて検査を行った。平成 25

年 10 月のタンデムマススクリーニング導入と同時に、誘導体化法から非誘導体化法に変更した。

先天性甲状腺機能低下症及び先天性副腎過形成症検査は、ELISA 法で行っている。先天性副腎過形成症検査は平成 13 年度に 3 位抗体試薬が 7 位抗体に変更されたため、検査精度が向上した。

〔検査システム〕

新生児マススクリーニング検査システムを図 1 に示した。新生児に対して、生後 4～5 日目（哺乳開始 4 日目以降）に各採血医療機関において採血が行われる。採血した血液は特殊なる紙にしみこませ、乾燥し、検体とする。検体は郵送で検査機関（当協会）に集められ、しみこんでいる血液中の成分が測定される。

検査の結果、疾患が疑われる場合には、当協会が直ちに電話及び FAX にて出産病院に報告後、精密検査の手続きを行う。平成 25 年 10 月より開始されたタンデムマススクリーニング対象疾患は稀少疾患であり、小児科専門医といえどもなじみのない疾患が多い。しかし、どこで発見されても障害発生予防のための一定レベルの適切な対応が取れる体制を作る必要がある。そのため、タンデムマススクリーニングの精密検査は、自治体指定の 6 病院で行っている。

事業評価は、先天性代謝異常等検査事業連絡会にて新生児マススクリーニングに関連する機関によって行われる。

また、外部精度管理機関マススクリーニング研究室から定期的に試験用検体が送付され、その測定値を報告するとともに評価を受けている。このことにより、全国レベルでの精度管理がなされ、精度の維持、向上に大きな役割を果たしている。

〔検査実施数と患児発見数〕

令和 3 年度の初回検体数は 22,886 人であり、そのうち 54 人に対して精密検査依頼を行った。（表 2）

令和 3 年度の精密検査の結果、フェニルケトン尿症 1 人、プロピオン酸血症 1 人、先天性甲状腺機能低下症 10 人を早期発見、早期治療できた。（表 3）

また、対象疾患以外の疾患が見つかる場合もあるが、令和 3 年度は発見がなかった。

疾患の確定には数年かかる場合があり、当協会では 2 年後まで追跡調査を行っている。患児数は昨年度年報の数と異なる場合がある。

[まとめ]

当協会の取り組みとして、先天性代謝異常症等検査事業連絡会にて、検査実績報告と基準値等の見直しを行った。

マスキング学会や研修会に参加し、検査技術の向上や対象疾患に対する見識を高めている。学会で得られた情報は、自治体、精密検査病院、採血医療機関等に配信し情報の共有を図っている。

検査精度維持のために採血医療機関へ採血要領を配布し、採血状態の良い検体が提出されるように啓蒙活動を行っている。

これからも、新生児マスキングの精度向上のため、情報提供や啓蒙活動を行ってきたい。

(池ヶ谷 やす代)

[委託元]

- ① 静岡県の委託元
健康福祉部こども未来局こども家庭課
- ② 静岡市の委託元
子ども未来局子ども家庭課
- ③ 浜松市の委託元
健康福祉部健康増進課

表 1 先天性代謝異常症等の症状、検査方法

疾患名		主な症状	検査方法
アミノ酸代謝異常症	フェニルケトン尿症	発達遅延、けいれん	タンデムマス法 (非誘導体化法)
	メープルシロップ尿症	発達遅延、酸血症	
	ホモシスチン尿症	発達遅延、水晶体脱臼、血栓症	
	シトルリン血症1型	高アンモニア血症、昏睡、発達遅延	
	アルギニノコハク酸尿症	高アンモニア血症、昏睡、発達遅延	
有機酸代謝異常症	メチルマロン酸血症	酸血症、腎不全、発達遅延	タンデムマス法 (非誘導体化法)
	プロピオン酸血症	酸血症、腎不全、発達遅延、嘔吐発作	
	イソ吉草酸血症	高アンモニア血症昏睡、異臭、嘔吐発作	
	メチルクロトニルグリシン尿症	酸血症、嘔吐発作、昏睡	
	ヒドロキシメチルグルタル酸血症	低血糖昏睡、酸血症、嘔吐発作	
	複合カルボキシラーゼ欠損症	高乳酸血症昏睡、湿疹、運動失調	
	グルタル酸血症1型	頭囲拡大、不随意運動の急性発症	
脂肪酸代謝異常症	中鎖アシル-CoA脱水素酵素欠損症	乳幼児期突然死、急性脳症	タンデムマス法 (非誘導体化法)
	極長鎖アシル-CoA脱水素酵素欠損症	乳幼児期突然死、急性脳症、筋症状	
	三頭酵素/長鎖3-ヒドロキシアシル-CoA脱水素酵素欠損症	乳幼児期突然死、急性脳症、筋症状	
	カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ1欠損症	急性脳症、肝障害	
	カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ2欠損症	乳幼児期突然死、急性脳症、筋症状	
全身性カルニチン欠乏症	乳幼児期突然死、急性脳症、筋症状		
糖質代謝異常症	ガラクトース血症	発達遅延、肝障害、白内障	ポイトラー法、 脱水素酵素マイクロプレート法
内分泌疾患	先天性甲状腺機能低下症	発達遅延、特有な顔付き、小人症	ELISA法
	先天性副腎過形成症	男性化症状、皮膚色素沈着、脱水ショック	ELISA法

図 1 先天性代謝異常症等検査システム

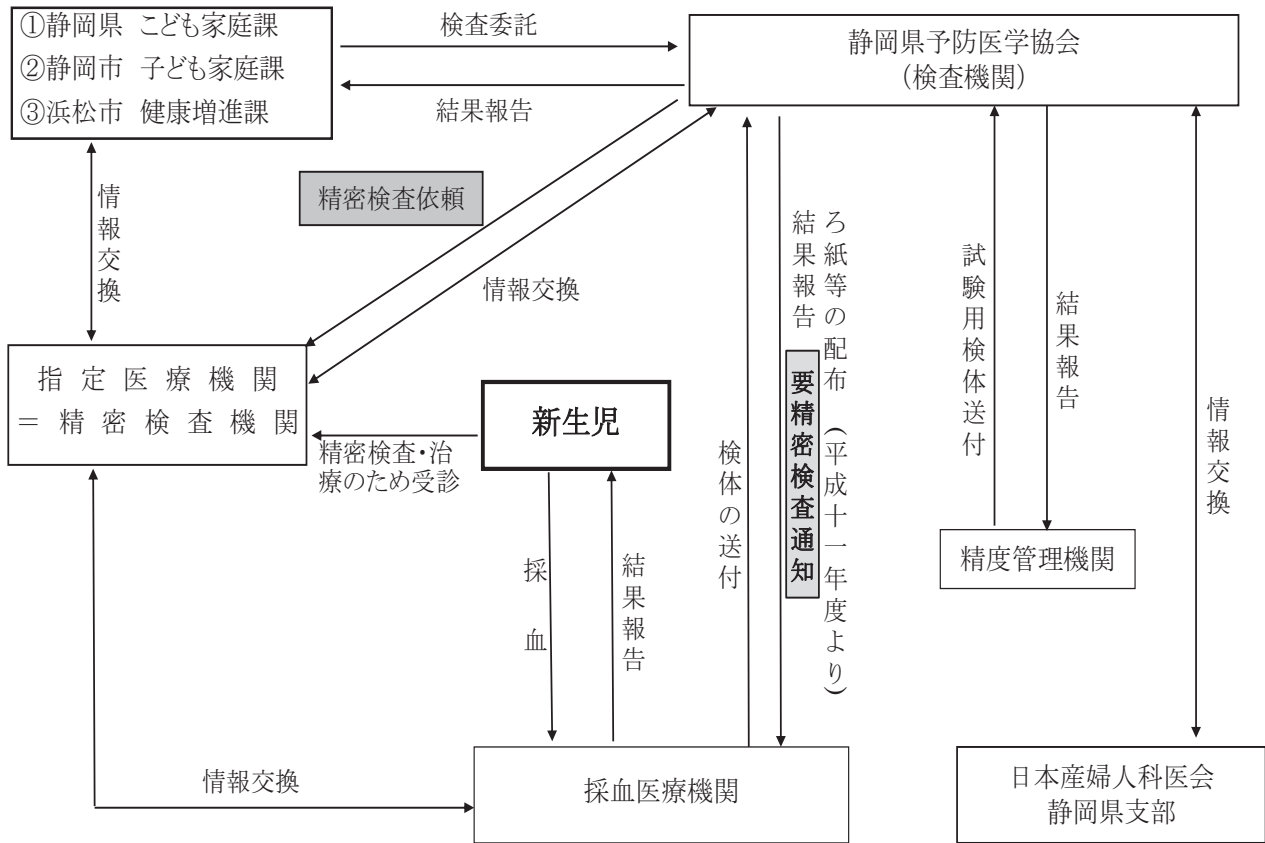


表 2 令和 3 年度 先天性代謝異常症等検査の月別実施状況

項目 月	初回 検体数	再採血依頼数						精密検査依頼数					
		アミノ酸代謝 異常症疑	有機酸代謝 異常症疑	脂肪酸代謝 異常症疑	ガラクトース 血症疑	先天性 甲状腺機能 低下症疑	先天性副腎 過形成症疑	アミノ酸代謝 異常症疑	有機酸代謝 異常症疑	脂肪酸代謝 異常症疑	ガラクトース 血症疑	先天性 甲状腺機能 低下症疑	先天性副腎 過形成症疑
4	1,796	0	3	4	4	43	24	0	0	0	0	1	0
5	1,914	0	0	6	3	34	23	0	0	1	0	1	1
6	1,979	0	0	5	1	31	23	1	1	2	0	4	1
7	1,889	3	4	1	1	29	20	1	0	0	0	3	0
8	2,071	0	2	8	2	16	16	0	0	0	0	2	1
9	1,983	0	5	3	5	19	18	0	0	0	0	3	0
10	2,026	1	5	1	3	17	26	0	0	0	1	5	2
11	2,115	1	3	4	3	26	27	0	1	0	0	6	1
12	1,785	0	2	1	6	19	19	0	0	0	0	3	1
1	1,823	0	6	5	6	27	32	0	0	0	0	3	0
2	1,662	0	2	2	10	36	19	1	0	0	1	2	1
3	1,843	1	2	2	11	36	20	1	0	0	0	0	2
合計	22,886	6	34	42	55	333	267	4	2	3	2	33	10

表3 令和3年度 先天性代謝異常症等検査の年度別患児発見数

疾患名	年度 受検者数(人)	昭和53	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	合計	発見率	全国での 発見率 *10	
		~平成28									
アミノ酸代謝異常症	フェニルケトン尿症	14	1	2	0	0	1	18	1/89,400	1/67,200	
	メープルシロップ尿症	0	0	0	0	0	0	0	未発見	1/529,800	
	ホモシスチン尿症	3	0	0	0	0	0	3	1/536,700	1/233,900	
	シトルリン血症1型	*1	1	0	0	0	0	1	1/230,800	1/265,100	
	アルギニノコハク酸尿症	*1	0	0	0	0	0	0	未発見	1/1,212,000	
有機酸代謝異常症	メチルマロン酸血症	*1	0	1	1	0	0	2	1/115,400	1/117,800	
	プロピオン酸血症	*1	1	1	0	1	1	4	1/57,700	1/48,800	
	イソ吉草酸血症	*1	0	0	0	0	0	0	未発見	1/848,400	
	メチルクロトニルグリシン尿症	*1	0	1	0	0	0	1	1/230,800	1/188,500	
	ヒドロキシメチルグルタル酸血症	*1	0	0	0	0	0	0	未発見	未発見	
	複合カルボキシルーゼ欠損症	*1	0	0	0	0	0	0	未発見	1/942,700	
	グルタル酸血症1型	*1	0	0	1	0	0	1	1/230,800	1/530,300	
	その他の疾患		2*5	2*6	1*7	1*8	0	0	6		
脂肪酸代謝異常症	中鎖アシル-CoA脱水素酵素欠損症	*1	1	1	0	0	0	2	1/115,400	1/113,100	
	極長鎖アシル-CoA脱水素酵素欠損症	*1	4	1	0	1	0	6	1/38,500	1/83,200	
	三頭酵素/長鎖3-ヒドロキシアシル-CoA脱水素酵素欠損症	*1	0	0	0	0	0	0	未発見	1/2,121,000	
	カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ1欠損症	*1	0	0	0	0	0	0	未発見	1/707,000	
	カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ2欠損症	*2	0	0	0	0	0	0	未発見	1/148,300	
	全身性カルニチン欠乏症	*1	0	0	0	0	1	0	1	1/230,800	
糖質代謝異常症	ガラクトース血症		30	0	0	0	0	1	31	1/51,900*9	1/37,500
内分泌疾患	先天性甲状腺機能低下症	*3	596	17	14	11	15	10	663	1/2,300	1/2,600
	先天性副腎過形成症	*4	64	1	2	1	0	0	68	1/11,500	1/16,500

- * 1 平成25年10月開始 受検者数= 207,938 (人)
- * 2 平成27年10月開始 受検者数= 146,590 (人)
- * 3 昭和54年11月に開始 受検者数= 1,506,372 (人)
- * 4 平成元年に開始 受検者数= 759,040 (人)
- * 5 メチオニリアデノシルトランスフェラーゼ欠損症
- * 6 シリン欠損症
- * 7 シリン欠損症:1、ピオチン欠乏:1
- * 8 新生児ヘモクロマトーシス
- * 9 劇症型のI型は未発見
- * 10 特殊ミルク共同安全開発事業広報誌「特殊ミルク情報(2021年)」より

第三章 健康啓発、会議、人事等

1. 健康啓発
2. 全国大会等への参加
(会議、研修会、研究会等)
3. 行事・会議
4. 人事
5. 総合健診センター

1. 健康啓発

県民の健康保持増進を目指して、各種の健康教育・広報活動を展開している。令和3年度は、広報紙「けんこう静岡」及び「事業年報」の発行、啓発資料の配布など疾病予防・健康づくりのための啓蒙普及活動を行った。

1) 健康教育事業

例年開催している「学校保健セミナー」及び「産業保健セミナー」については、3年度は新型コロナウイルス感染予防対策の一環として中止した。

2) 広報・普及啓蒙事業

(ア) 広報紙の発行

当協会の事業内容と活動状況を伝えるとともに、生活習慣病等の健康に関する正しい知識の普及啓発のため、広報紙「けんこう静岡」を発行した。

- 第145号～148号
(令和3年4月、7月、10月、令和4年1月発行)
14,000部

【配布先】県、市町、教育委員会、幼稚園、保育園、幼保園、小学校、中学校、高等学校
県内大学、各種団体、健診事業所等

(イ) 事業年報の発行

- 「令和2年度(2020年度)事業年報」の発行
1,000部

(ウ) 啓発資料の配布

- 予防医学ジャーナル
(公財) 予防医学事業中央会 864部

2. 全国大会等への参加 (会議、研修会、研究会等)

1) 各種会議、研修会等

新型コロナウイルス感染拡大により、各種会議・研修会ともに大半が中止となったが、一部WEB形式で開催されたものについては、参加した。

- 令和3年度第1回全国運営会議
(WEB 令和3年7月7日)
- 第38回全国情報統計研修会

(WEB 令和3年8月27日)

- 第66回予防医学事業推進全国大会
(WEB配信 令和3年11月5日)
- 先天性代謝異常検査システム共同使用にかかる管理会議
(WEB 令和3年12月3日)

2) 学会

- 第73回日本産婦人科学会学術講演会
(新潟市 令和3年4月22日～25日)
- 第94回日本産業衛生学会
(松本市 令和3年5月18日～21日)
- 第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会
(WEB 令和3年5月12日～15日)
- 第62回日本人間ドック学会学術大会
(WEB 令和3年9月10日～24日)
- 第29回日本消化器関連学会
(神戸市 令和3年11月4日～7日)
- 日本総合健診医学会第50回大会
(WEB 令和4年1月28日)
- 第86回日本循環器学会学術集会
(WEB 令和4年3月11日～13日)

3. 行事・会議

1) 理事会等

第1回理事会(令和3年6月10日)では、令和2年度事業報告・収支決算、資産取得資金の新規保有および積み立て計画の変更について、理事の選任候補者について、令和3年度定時評議員会の開催が決議された。

第2回理事会(令和4年3月15日)では、令和4年度事業計画案、令和4年度収支予算案、資金調達及び設備投資の見込みについて決議された。

なお、令和3年5月19日小柳津監事及び田中監事による監査が行われた。

2) 評議員会等

定時評議員会については、令和3年6月28日、書面評決により、令和2年度事業報告、収支決算、理事1名の選任が決議された。

3) 運営会議

毎月1回（月末の月曜日）専務理事、常務理事の外、幹部職員が出席し、定例会を開催した。常務理事兼事務局長からの指示事項、事業の運営方法及び経営上の諸問題等各種案件について、検討、協議した。

4) 渉外担当者会議

渉外担当者会議は、新型コロナウイルス感染拡大により開催を中止した。

5) 職員研修

管理職及びそれに準ずる職員を対象とした研修を毎月WEB形式にて開催し、資質の向上を図った。

また、個人情報保護の徹底を図るため、監査員研修、正職員を対象にした紙面による個人情報保護に関する研修及び理解度テストを実施した。

4. 人 事

1) 理事

令和3年6月28日に開催された定時評議員会において、増田国春理事の辞任に伴い、以下1名の理事を選任した。

（理事） 原田 雅文 氏

5. 総合健診センター

毎月1回実施していた優良認定顧客部会、また、毎週水曜日に開催していたヘルスポート会議は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止された。

検討事項にあたっては、都度、関係者で協議し上層部の承認後に決定事項を遅滞なく職員に周知した。

第四章 研究業績

第 55 回予防医学技術研究会は、新型コロナウイルスの感染拡大のため参加を取りやめ、口頭発表は実施しなかった。

付録 協会案内

1. (公財)静岡県予防医学協会の沿革
2. (公財)静岡県予防医学協会役員名簿
3. (公財)静岡県予防医学協会組織図
4. 協会の健(検)診・検査業務内容
5. 協会案内図

1 公益財団法人 静岡県予防医学協会の沿革

- 昭和34年 「静岡県寄生虫予防協会」(任意団体) (設立 昭和34年4月1日)
事務所を静岡市追手町9-6 静岡県衛生部予防課内に置く
- 昭和36年 静岡県内3箇所において実施していた検査所を統合
- 昭和38年 協会事務所を静岡市羽鳥829番地に移転
プレハブ平屋建(90㎡)の事務所を設置
財団法人 日本寄生虫予防会に加入し「静岡県支部」となる
- 昭和42年 「財団法人 静岡県寄生虫予防協会」設立 (県知事認可 昭和42年5月18日)
- 昭和43年 協会事務所新築落成 (鉄筋コンクリート2階建延330㎡)(落成 昭和43年3月31日)
第13回寄生虫予防全国大会を静岡市で開催 (昭和43年8月8日～9日)
- 昭和47年 「財団法人 静岡県衛生検査協会」と改称 (県知事認可 昭和47年9月11日)
臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律に基づく「衛生検査所」として登録
寄生虫検査以外の諸検査を開始
財団法人予防医学事業中央会「静岡県支部」となる (承認 昭和47年11月7日)
- 昭和48年 県内最初の血液検査機器:コールターカウンターモデルS整備(昭和48年7月)
- 昭和52年 「附属診療所」併設 (認可 昭和52年7月1日)
- 昭和53年 社団法人 全国労働衛生団体連合会(全衛連)の会員となる (承認 昭和53年4月1日)
- 昭和55年 協会事務所増築(鉄筋コンクリート3階建 延916.32㎡)(落成 昭和55年3月15日)
- 昭和57年 西部検査所 登録検査所として認可 (認可 昭和57年8月19日)
- 昭和58年 「財団法人 静岡県予防医学協会」と改称 (県知事認可 昭和58年8月29日)
- 昭和60年 機関紙「けんこう静岡」創刊号発行 (昭和60年4月1日)
- 昭和61年 「中小企業共同安全衛生改善事業助成制度に係る健康診断機関」となる
「全衛連鉛検査機関名簿登録機関」となる (承認 昭和61年5月1日)
- 昭和62年 協会として最初のレントゲン車(胸部、骨粗しょう症用) 日本自転車振興会の助成により配備
西部検査所 附属診療所併設 (認可 昭和62年4月10日)
- 昭和63年 「全衛連総合精度管理事業参加機関」となる (昭和63年12月20日)
- 平成元年 第33回予防医学事業推進全国大会を静岡市で開催(平成元年9月20日～21日)
- 平成3年 第44回技術研修会(尿沈渣)を開催 (平成3年2月26日～28日)
- 平成5年 全国統計実務研修大会を浜松市で開催 (平成5年9月2日～3日)
- 平成7年 第1回学校保健セミナーを静岡市で開催(平成7年2月17日)
- 平成8年 総合健診センター「ヘルスポート」(藤枝市)を日本自転車振興会の助成により着工 (平成8年6月20日)
第31回予防医学技術研究集会を浜松市で開催 (平成9年1月22日～24日)
- 平成9年 総合健診センター「ヘルスポート」開設 (開所式 平成9年4月5日)
(レントゲン車(胸部検診用)を配備 (平成9年6月23日))
法人格取得30周年記念事業として講演会を開催(静岡市) (平成10年3月30日)

- 平成10年 西部検査所を浜松市小池町に移転（平成10年8月7日）
第1回産業保健セミナーを静岡市で開催（平成11年3月15日）
- 平成12年 レントゲン車(胃部検診用)を配備（平成12年5月16日）
住居表示が静岡市葵区建穂1-3-43となる
- 平成13年 レントゲン車(胸部検診用)を配備（平成13年4月6日）
総合健診センター「ヘルスポート」労災保険二次健診等給付医療機関指定(平成13年7月1日)
- 平成14年 レントゲン車(胃部検診用)を配備（平成14年5月16日）
- 平成15年 レントゲン車(胃部検診用)を配備（平成16年1月16日）
- 平成17年 協会として最初の乳房検診用レントゲン車を配備（平成18年3月30日）
- 平成19年 西部検査所を浜松市東区下石田町に移転（平成20年2月1日）
第42回予防医学技術研究集会を静岡市で開催（平成20年2月29日～3月31日）
- 平成20年 協会として最初のデジタルレントゲン車(胸部検診用)を配備（平成20年5月30日）
協会として最初のデジタルレントゲン車(胃部検診用)を配備（平成20年8月29日）
デジタルレントゲン車(胸部・胃部検診用)を配備（平成20年10月29日）
- 平成21年 予防医学事業推進全国大会を静岡市で開催(平成21年9月30日～10月1日)
PACS装置(医用画像装置)一式を購入
東部事務所を沼津市西沢田に移転(平成22年1月1日)
- 平成22年 公益財団法人移行認定に向けて、知事より「最初の評議員の選任に関する理事の定め」の認可」を受ける。(平成22年7月2日認可)
・臨時理事会及び評議員会で定款の変更の案を議決（平成23年9月30日）。公益財団法人への移行認定申請書を知事
- 平成23年 事あて提出（平成23年10月17日）。知事より公益財団法人として認定を受ける。(平成24年3月23日)
・総合健診センターヘルスポート新築移転。落成祝賀会(平成24年1月14日)業務開始(平成24年1月16日)
・ヘルスポートにMRI(核磁気共鳴画像診断装置)、X線CTスキャナ、マンモグラフィー(デジタル乳房X線撮影装置)、医用画像観察装置、大腸CT等を整備(平成24年2月)
・ヘルスポート既存施設を改修し、静岡センター機能の一部を移転し、新たに藤枝健診センターとして業務を開始(平成24年3月)
・協会として最初のマンモグラフィー車(婦人科検診車)を配備(平成24年3月18日)
- 平成24年 ・公益財団法人に移行。公益財団法人静岡県予防医学協会に名称変更(平成24年4月1日移行登記)
・デジタルレントゲン車(胸部検診用)を配備(平成24年9月)
・全国業務会議を静岡市で開催(平成25年2月21日～22日)
・デジタルレントゲン車(胸部・胃部検診用)を配備(平成25年3月7日)
- 平成25年 ・デジタルレントゲン車(乳房検診用)を配備(平成25年8月23日)
・西部検査所 北側新棟完成(平成25年9月17日)
・デジタルレントゲン車(胃部検診用)を配備(平成25年11月28日)
- 平成26年 ・デジタルレントゲン車(胸部検診用)を配備（平成26年7月8日）
- 平成27年 ・新総合健診検査システムを導入(平成27年4月1日)
・東部事務所を沼津市岡宮に移転(平成27年10月28日)

- 平成 28 年 ・PACS装置(医用画像装置)を購入(更新)
・尿自動分析装置を導入
- 平成 29 年 ・デジタルレントゲン車(胸部検診用:車いす対応)を配備(平成29年9月13日)
- 平成 30 年 ・デジタルレントゲン車(胸部・胃部検診用)を配備(平成30年6月29日)
- 令和 元 年 ・令和元年度 予防医学事業推進近畿・東海・北陸地区会議を静岡市で開催(令和元年11月28日～29日)
- 令和 2 年 ・健診システムサーバー一式更新
- 令和 3 年 ・ワクチン接種車両を2台配備(令和3年11月9日)

2 公益財団法人 静岡県予防医学協会 役員名簿

R. 3. 7. 1 作成

○評議員

役員名	氏 名	職業・役職名
評議員	天野 一	静岡県議会議員
〃	中谷 多加二	静岡県議会議員
〃	三間屋 純一	医療法人財団 百葉の会 理事 介護老人保健施設 星のしずく施設長
〃	青木 一雄	(一社)静岡県医師会 裁定委員、青木医院院長
〃	杉谷 正東	静岡県医師健康保険組合 常務理事
〃	松村 龍夫	医療法人社団 凜和会 理事
〃	秋山 欣三	(公社)静岡県薬剤師会 副会長
〃	中村 孟	元 スズキ(株) 常任監査役
〃	佐藤 栄作	医療法人社団 栄成会理事長、おおや整形外科クリニック院長
〃	仲田 晃弘	静岡県私学協会 副会長
〃	大内 仁之	(一社)静岡県歯科医師会 専務理事
計	11名	

○役員（理事）

役員	氏 名	職業・役職名
理事長	横田 通夫	医療法人社団綾和会理事長駿河西病院長
専務理事	田川 隆介	(公財)静岡県予防医学協会総合健診センター所長
常務理事	加藤 吉隆	(公財)静岡県予防医学協会事務局長
理 事	篠原 彰	篠原医院院長、(一社)静岡県医師会顧問
〃	渡邊 憲治	医療法人社団わたなベクリニック理事長
〃	靱木 茂	医療法人社団 岡崎会 有玉病院 副院長
〃	北條 罔生	元 静岡市衛生研究所長
〃	三橋 寛	元 社会保険浜松病院 放射線科部長
〃	原田 雅文	静岡県市町村共済組合 事務局長
計	9名	

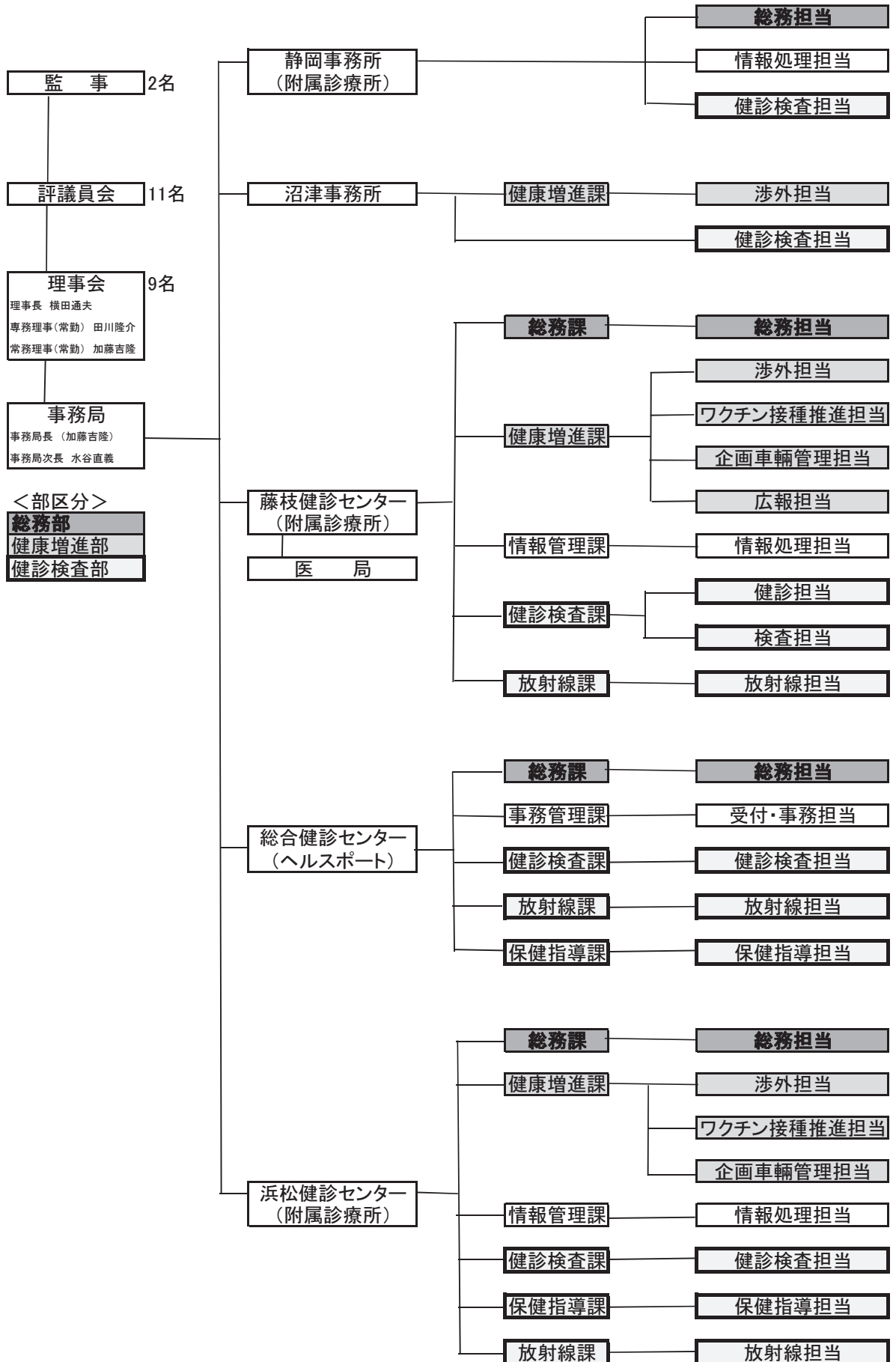
○役員（監事）

監 事	小柳津 隆弘	元 静岡新聞社 取締役編集局長
〃	田中 潤	静岡県校長会 事務局長
計	2名	

○総計

総 計	22名	
-----	-----	--

3 公益財団法人 静岡県予防医学協会 組織図



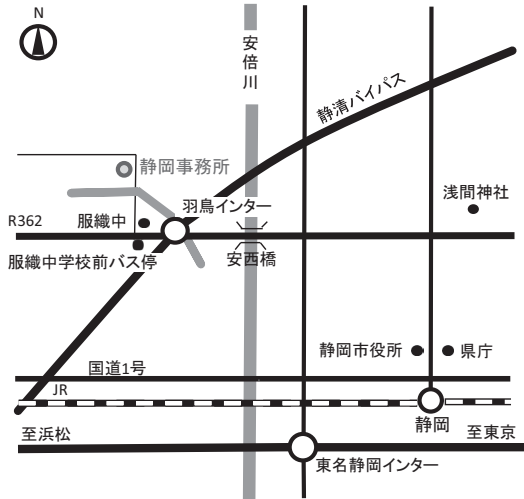
4 静岡県予防医学協会の健（検）診・検査業務内容

検	区分	職域・地域健診	がん検診	学校保健 腎臓病検診 糖尿病検診 心臓病検診 貧血検査	母子保健	その他	ヘルスポート(藤枝)				健康 教育	備考			
							トック	脳 トック	婦 人 科	肺 が ん					
検	寄生虫卵検査	定期健診											<ul style="list-style-type: none"> ・ 主なX線検査区分は、胸部(財)結核予防会静岡支店とタイアップ実施 ・ けんこう静岡発行 ・ 講演会/研修会の開催 ・ 予防医学ジャーナル等の配布 		
	ぎょう虫卵検査	生活習慣病 健診	○												
	尿検査	特殊健康 診断			○										
	血液学的検査	がん検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	生	生化学検査	定期健診	○											
		血清学的検査	生活習慣病 健診	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
		細菌学的検査	特殊健康 診断												
		病理学的検査	がん検診	○											
	体	代謝異常症等検査	定期健診												
		その他の検査	生活習慣病 健診	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
胸部X線検査		特殊健康 診断													
胃部X線検査		がん検診													
血圧測定		定期健診	○												
聴力検査		生活習慣病 健診	○												
眼底検査		特殊健康 診断													
心臓病検査		がん検診	○												
脊柱側彎症検査		生活習慣病 健診	○												
眼圧検査		特殊健康 診断													
体	肺機能検査	がん検診													
	MRI	生活習慣病 健診													
	ヘリカルCT	特殊健康 診断													
	マンモグラフィ	がん検診													
診察(問診)	定期健診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

5 案内図

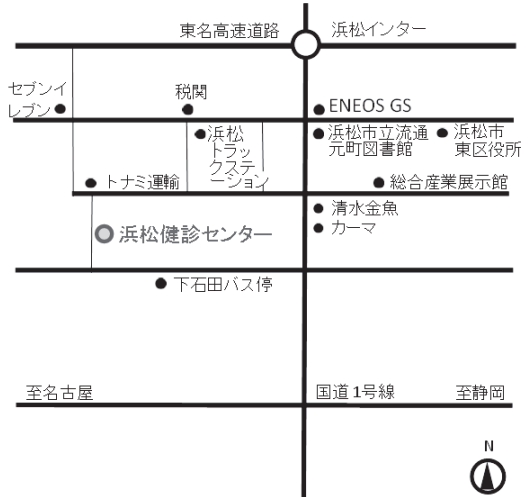
●静岡事務所

〒421-1292 静岡市葵区建^{たきょう}穂 1-3-43
電話(054) 278-7716 (代)



●浜松健診センター

〒435-0006 浜松市東区下石田町 951
電話(053) 422-7800 (代)



●総合健診センター・ヘルスポート

〒426-8638 藤枝市善左衛門 2-19-8
電話(054) 636-6460 (代)

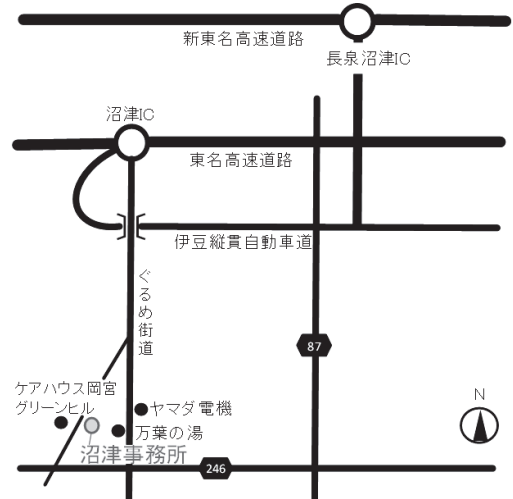
●藤枝健診センター

〒426-0053 藤枝市善左衛門 2-11-5
電話(054) 636-6461 (代)



●沼津事務所

〒410-0011 沼津市岡宮 1210-1
電話(055) 921-1934 (代)



公益財団法人 静岡県予防医学協会

●附属診療所・登録衛生検査所

中小企業共同安全衛生改善事業助成制度健康診断機関

(公財)予防医学事業中央会静岡県支部

全国労働衛生団体連合会会員

全衛連総合精度管理事業参加機関

労災保険特別加入健康診断実施機関

●総合健診センター・ヘルスポート

日本総合健診医学会優良総合健診施設

(公社)日本人間ドック学会会員

全国健康保険組合連合会自動化健診施設

労災保険二次健診等給付指定医療機関

●事務所

静岡事務所	〒421-1292 静岡市葵区建穂1丁目3-43	電話	(054) 278-7716(代)
	E-mail shizuoka-yobo@shsa.net	FAX	(054) 278-7717
藤枝健診センター	〒426-0053 藤枝市善左衛門2-11-5	電話	(054) 636-6461(代)
	E-mail shizuoka-yobo@shsa.net	FAX	(054) 636-6462
総合健診センター・ヘルスポート	〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8	電話	(054) 636-6460(代)
	E-mail healthport@shsa.net	フリーダイヤル	0120-39-6460
		FAX	(054) 636-6465
浜松健診センター	〒435-0006 浜松市東区下石田町951	電話	(053) 422-7800(代)
	E-mail syobo-seibu@shsa.net	FAX	(053) 422-7801
沼津事務所	〒410-0007 沼津市岡宮1210-1	電話	(055) 921-1934(代)
	E-mail syobo-tobu@shsa.net	FAX	(055) 921-1588

令和3年度(2021年度)事業年報

通巻第50号

令和5年(2023年)3月発行

発行人	横田 通夫
製作・編集	健康増進部および関係各部署
発行所	公益財団法人 静岡県予防医学協会 〒421-1292 静岡市葵区建穂1丁目3番43号 https://www.shsa.net/
印刷所	池田屋印刷株式会社

